

H A R E M X H A R E M

4



ハーレムXハーレム

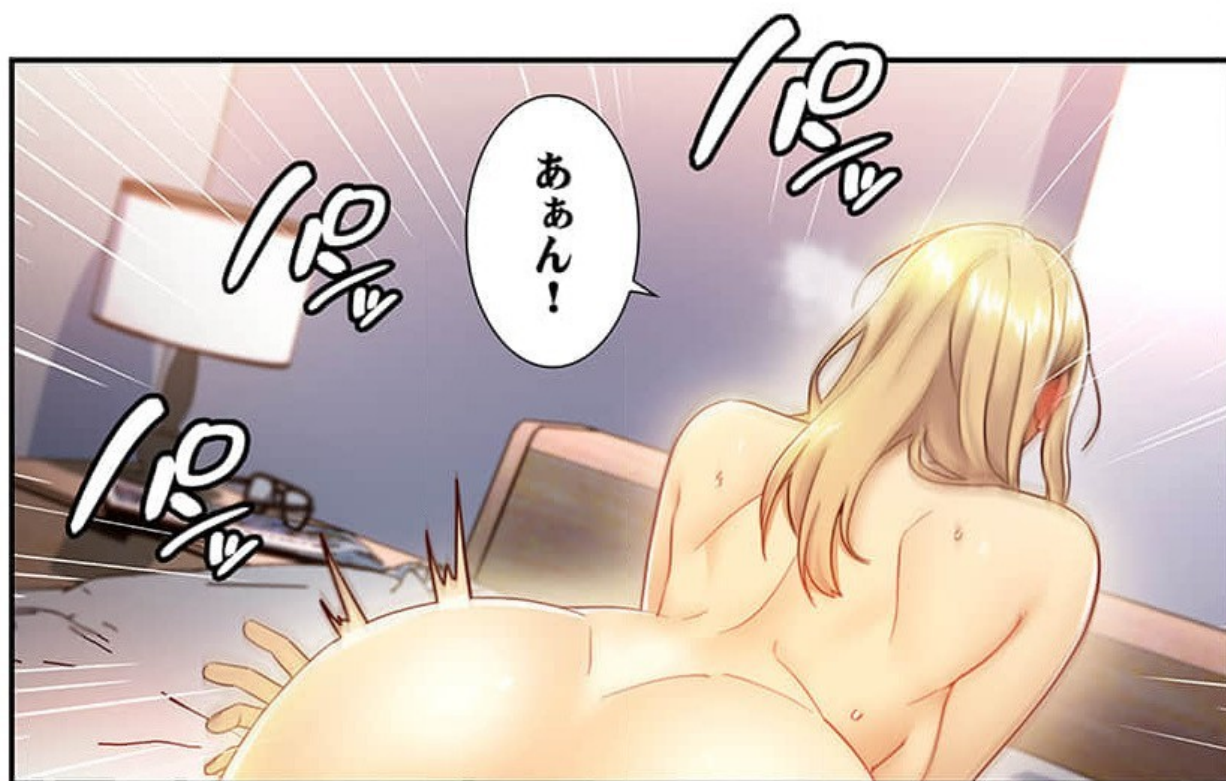
作画 Red-A

原作 首枕

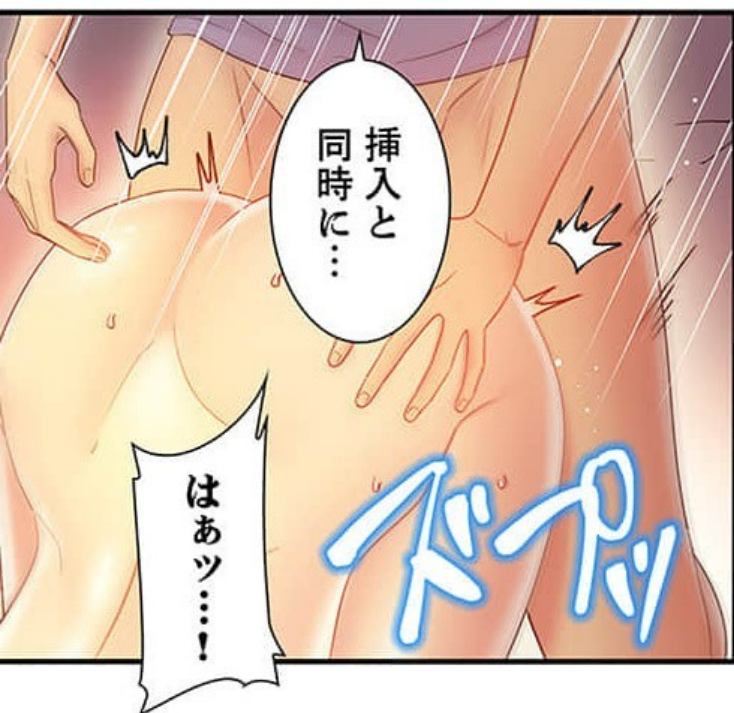
C O N T E N T S

#037	3
#038	20
#039	39
#040	61
#041	81
#042	100
#043	124
#044	139
#045	158
#046	177
#047	193
#048	227

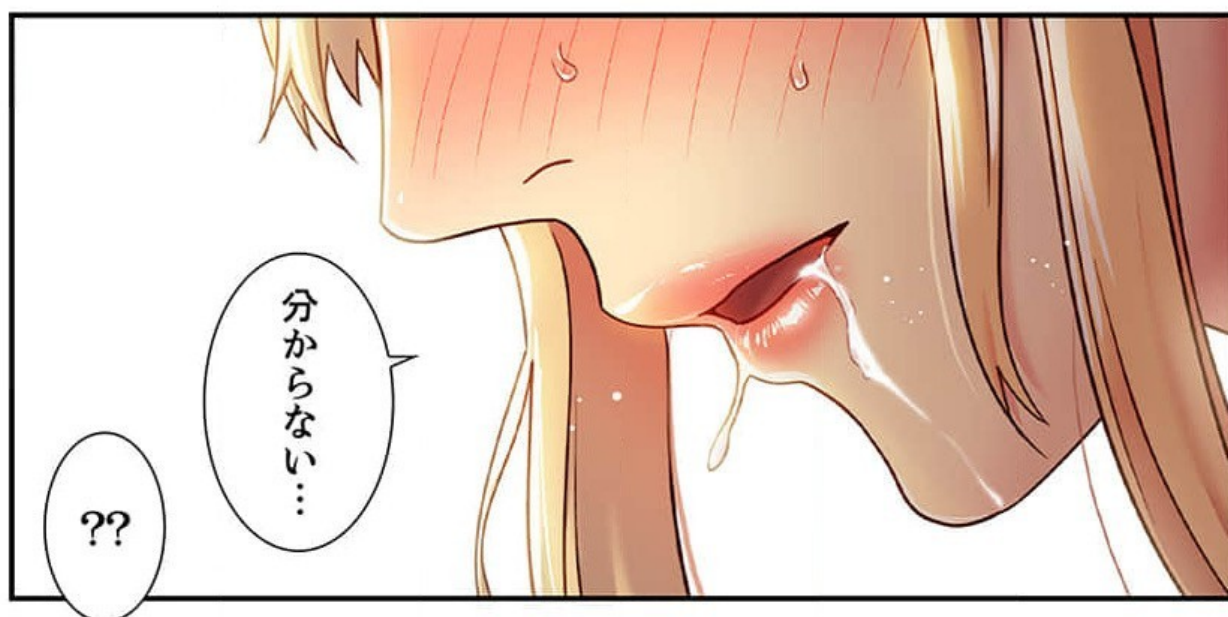
※この作品は「ハーレム×ハーレム」の電子単行本版です。
■収録内容「ハーレム×ハーレム」第13巻～第16巻





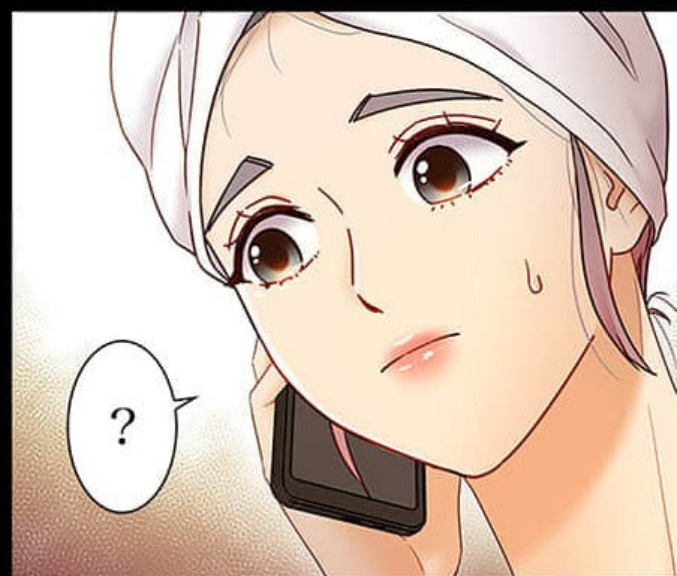














そう…

あなたの
勘はいつもよく
当たってきたから



キマッポフ100

まだ
そんな感じが
するだけよ

何の
証拠もない



私明日は
ちよつと用事が
あるんだけど…

何の用事？



とにかく
明日麻奈美に
話しに行こうと
思うの

時間
大丈夫よね？

あ…



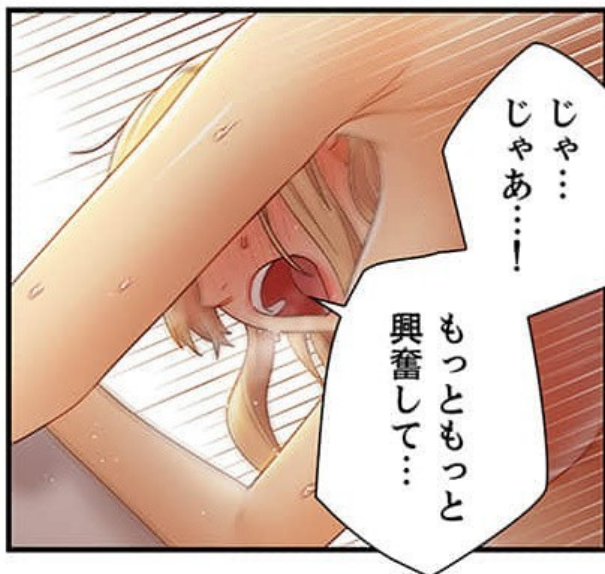






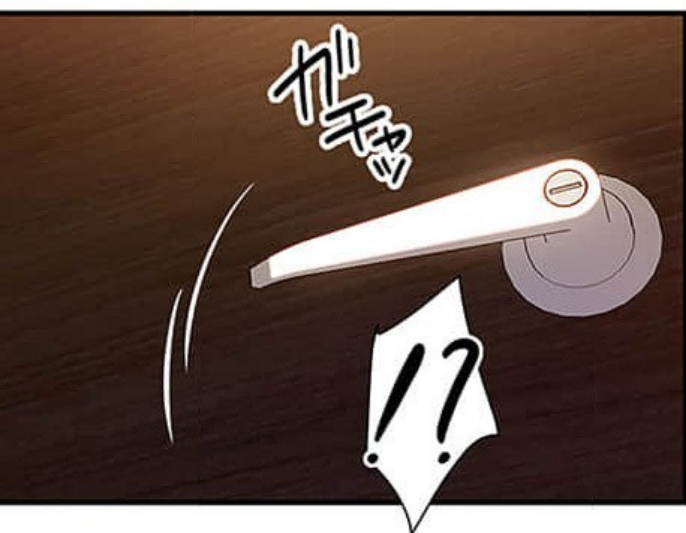


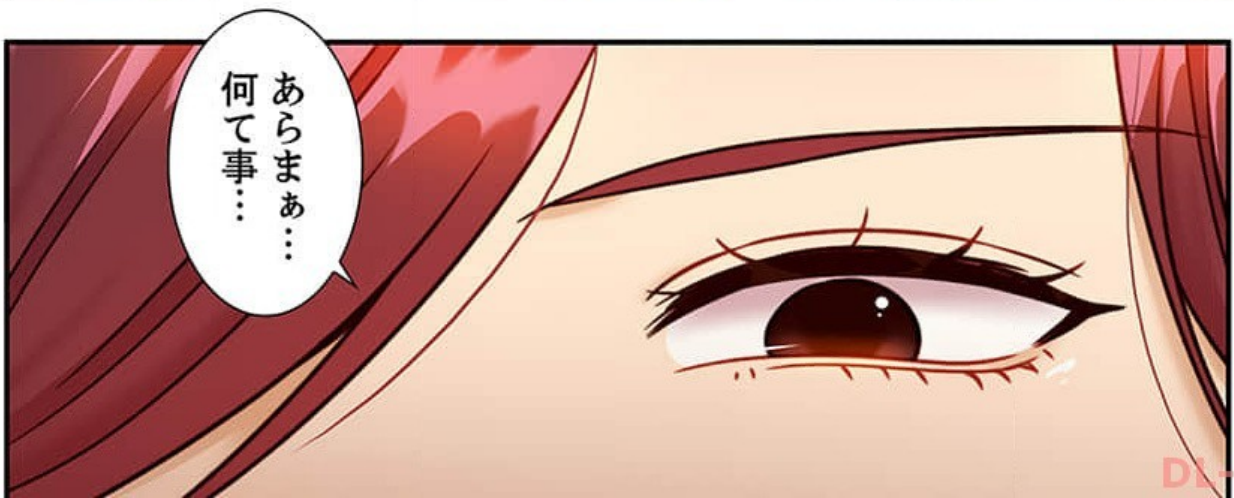
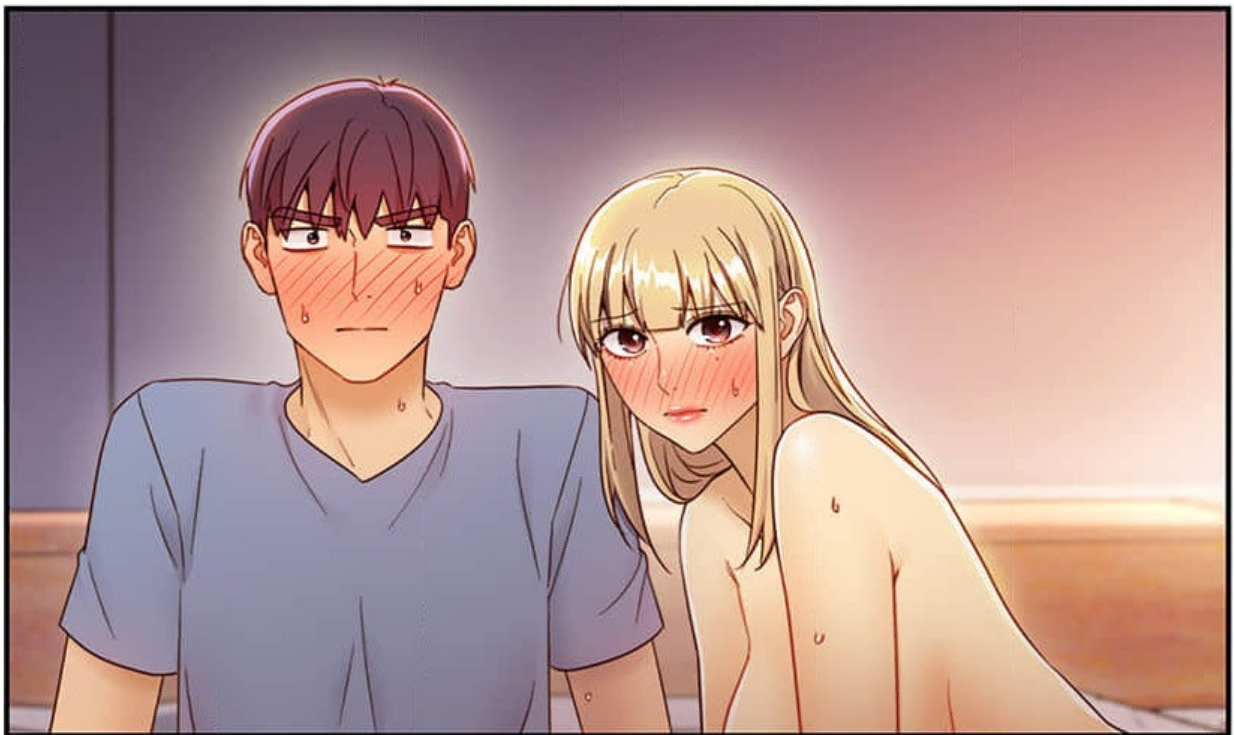
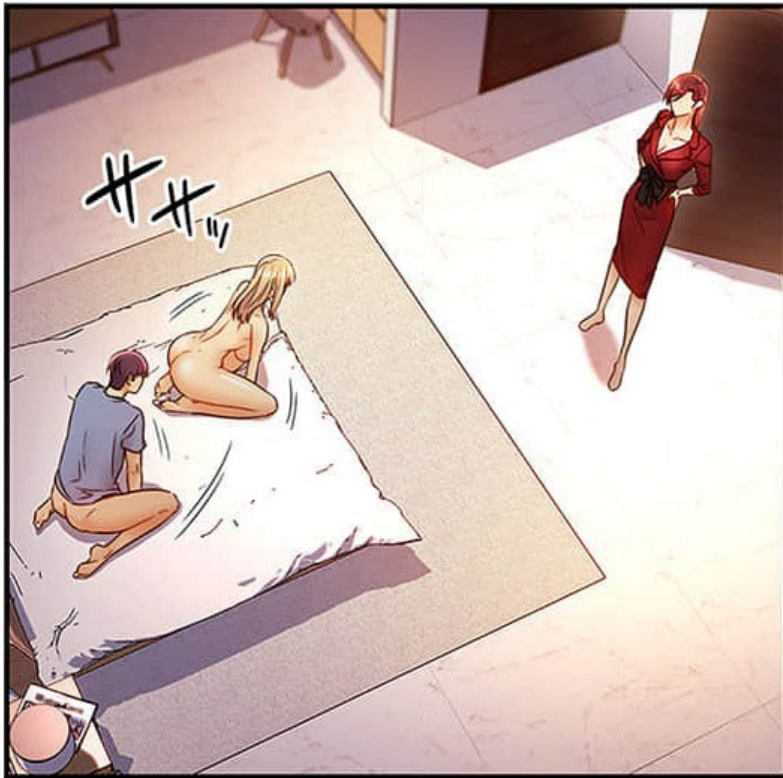








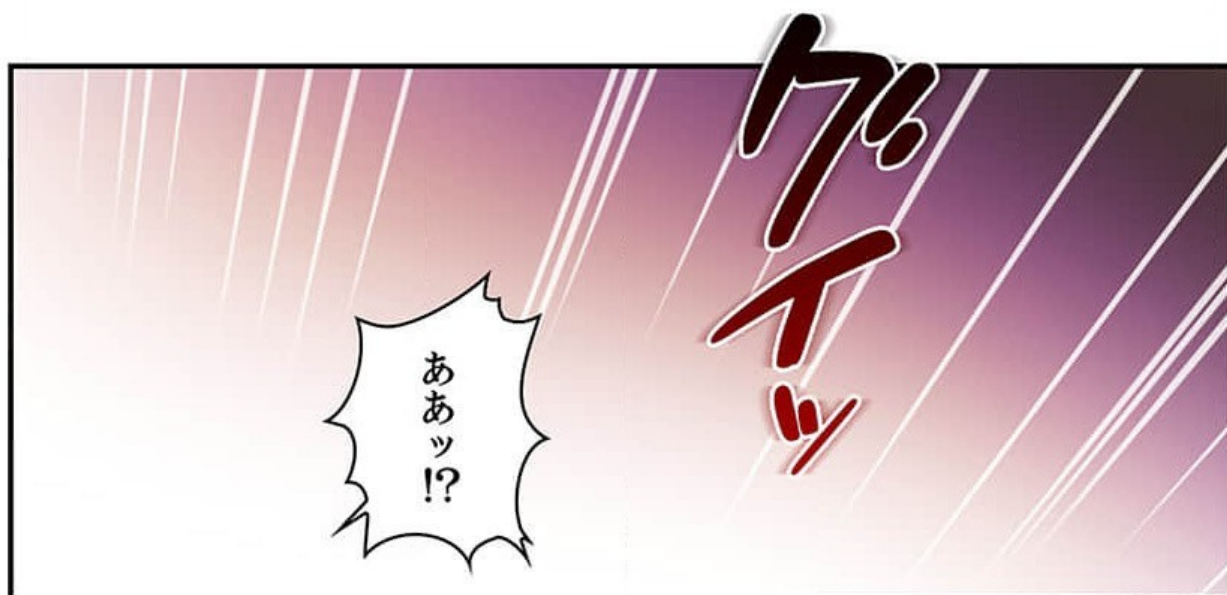






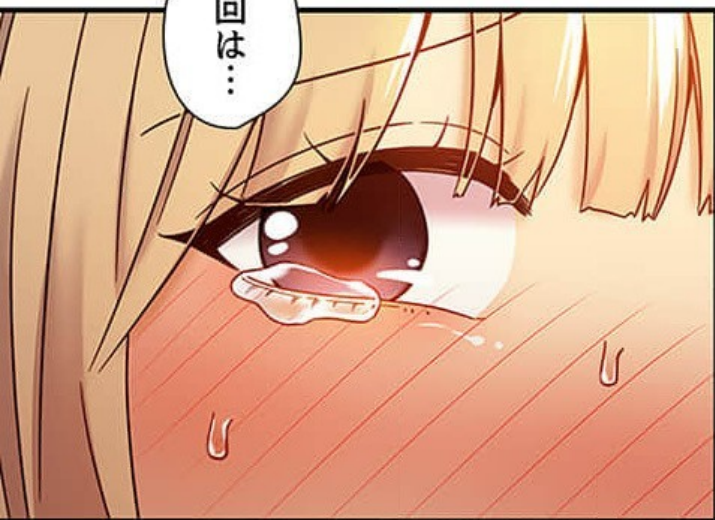








そ…
そうじゃない…
今回は…



それなのに
こいつに
股を開くの？

男なら誰だって
いいって事？



…!

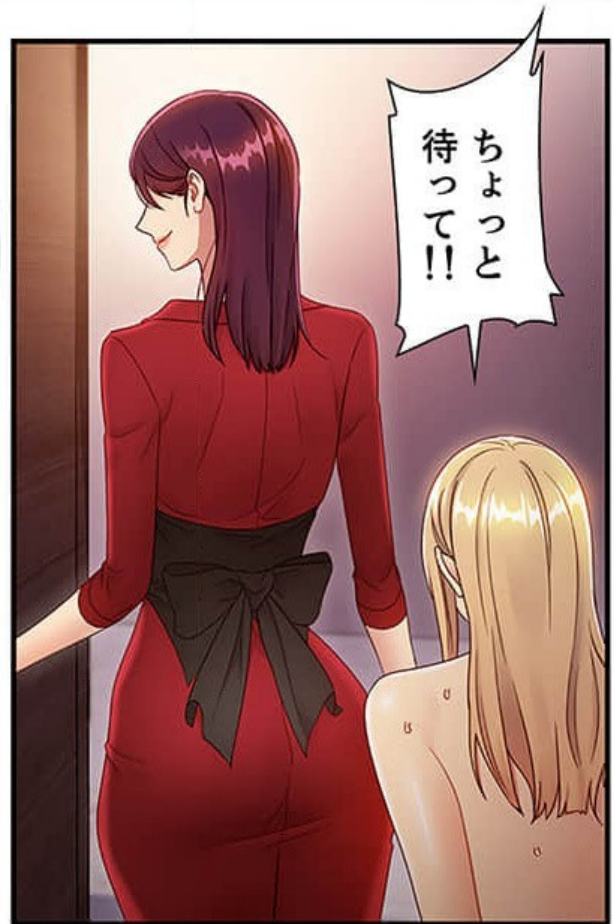
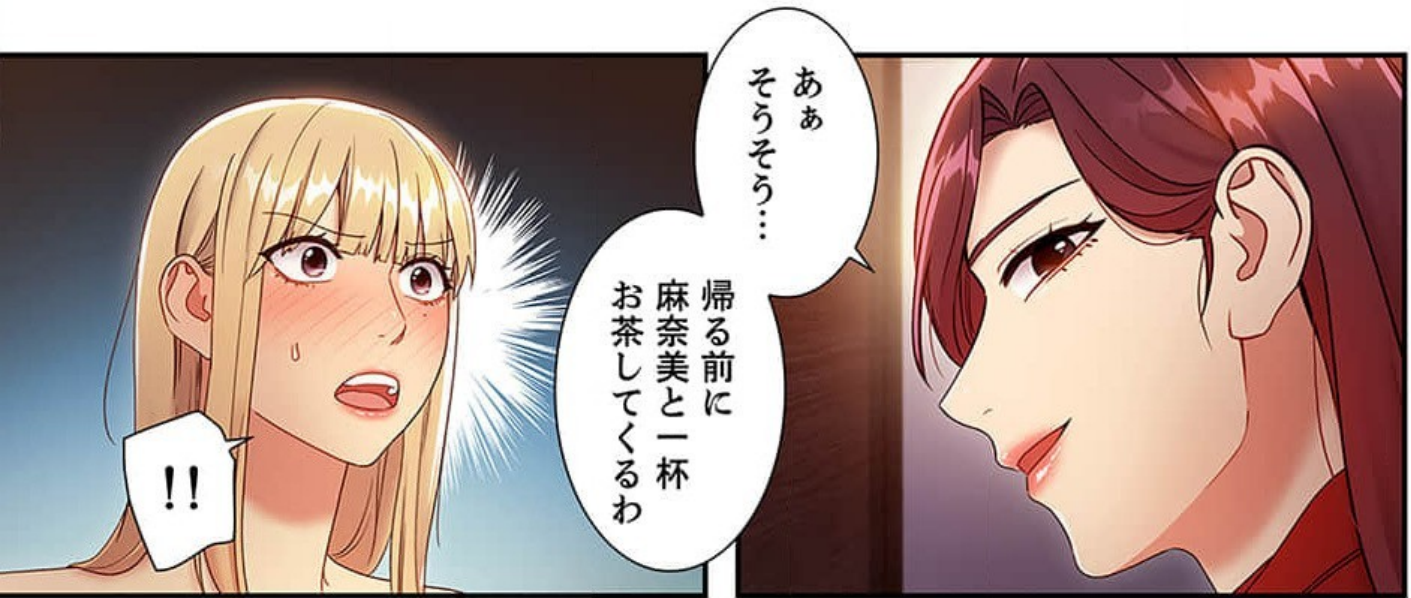


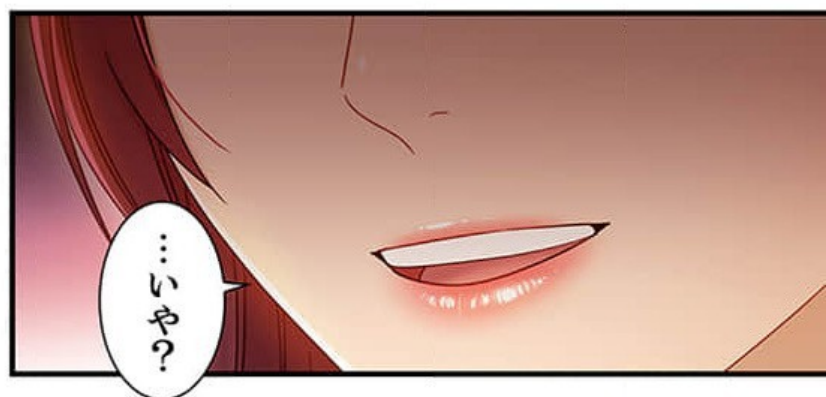
本当に
違うのよ



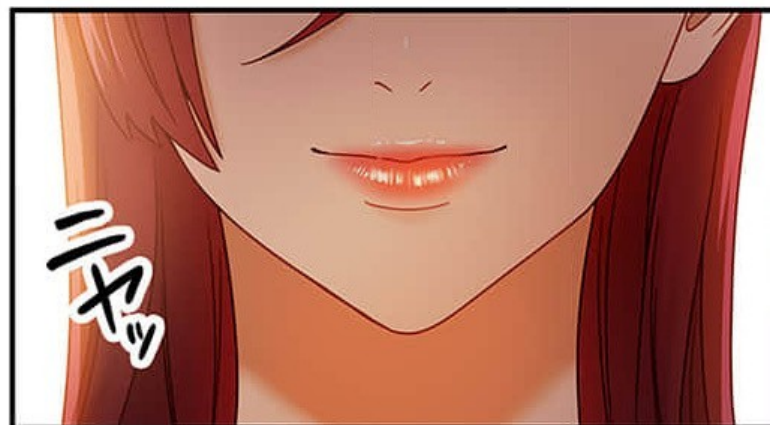




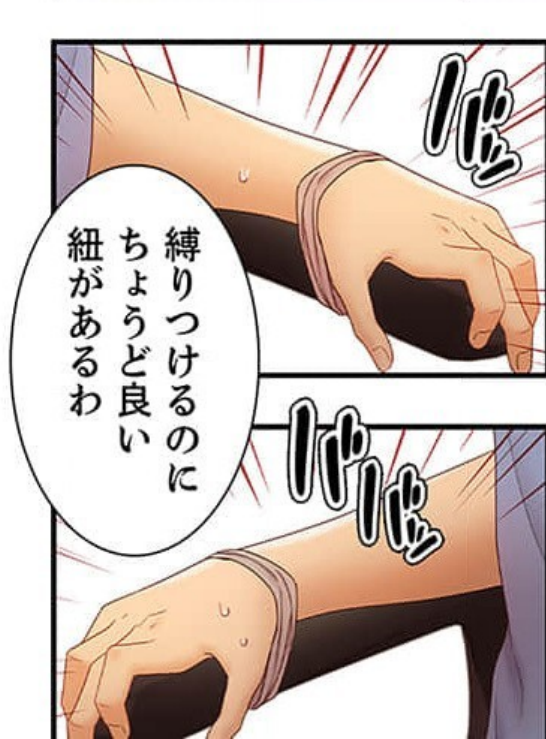






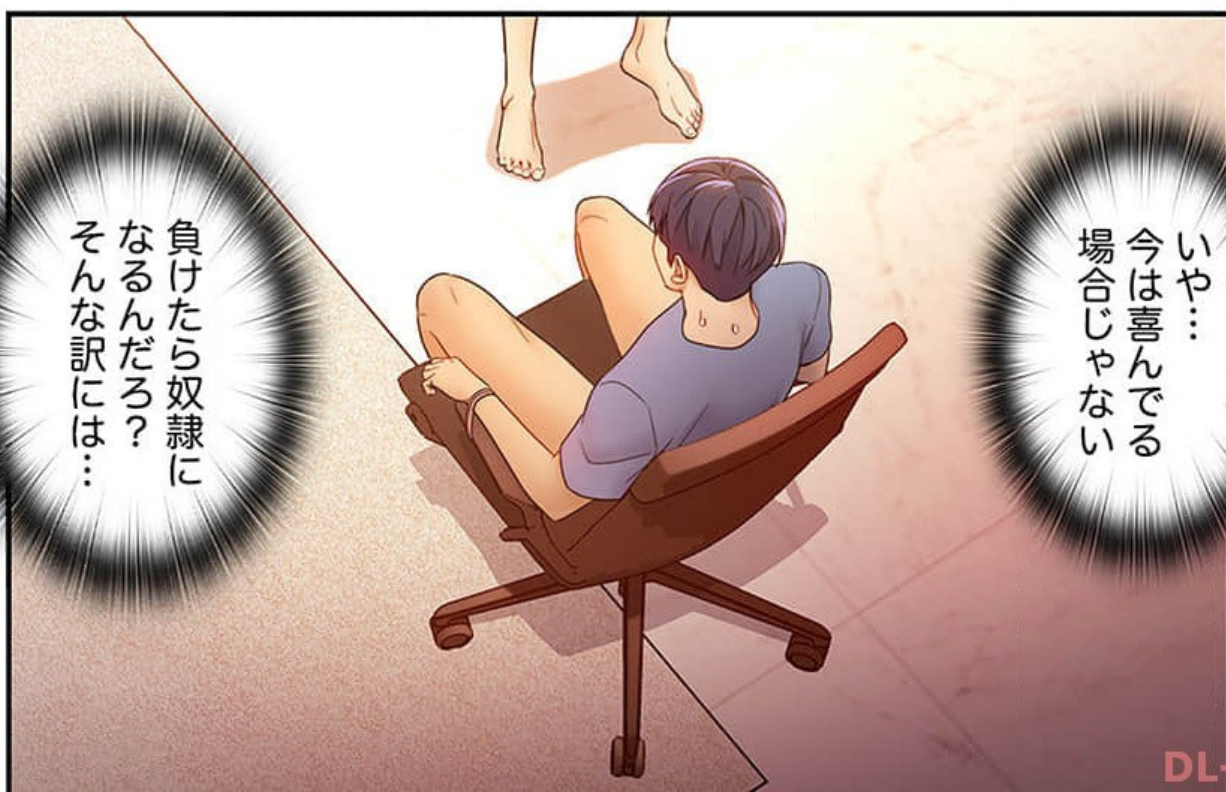


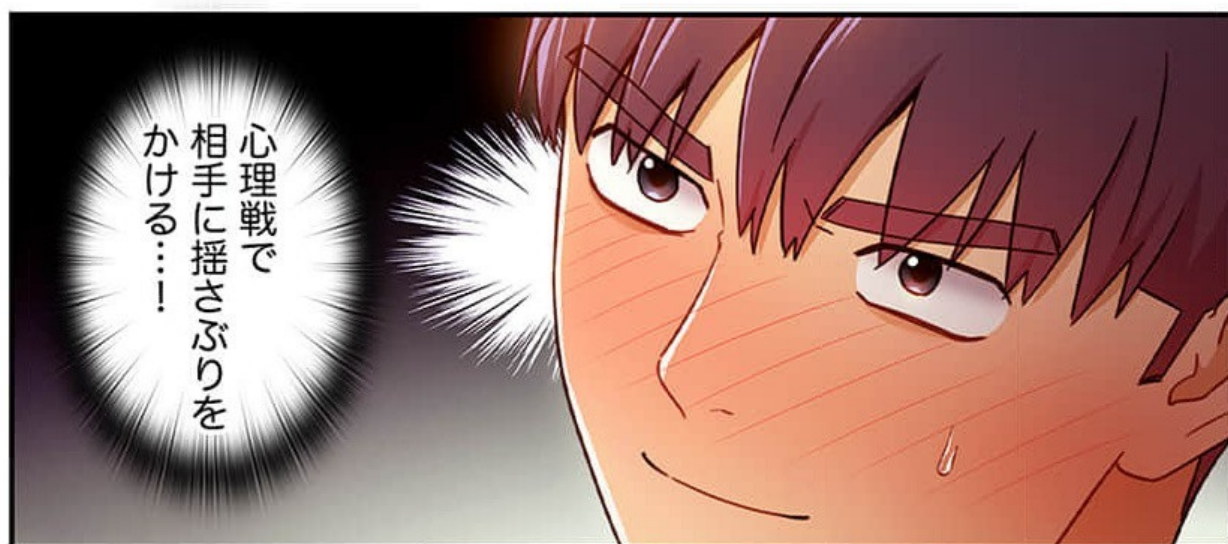
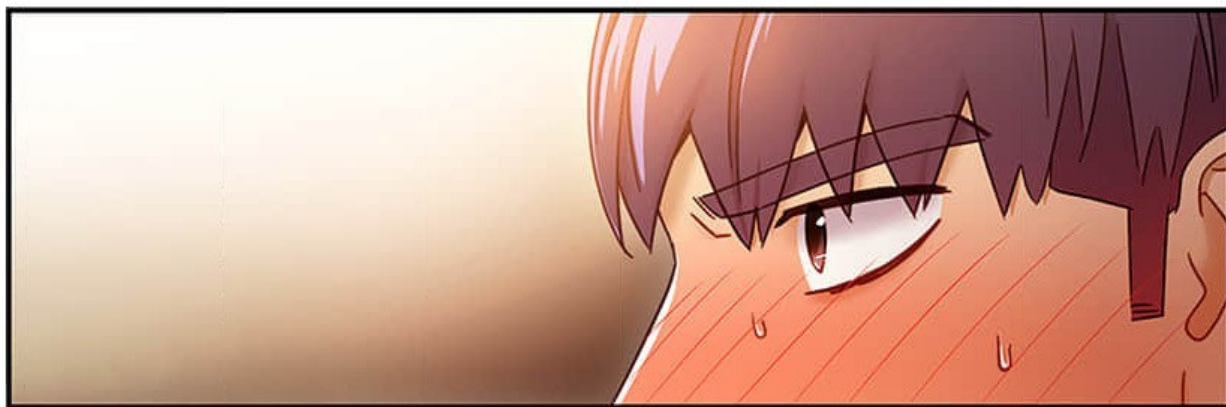




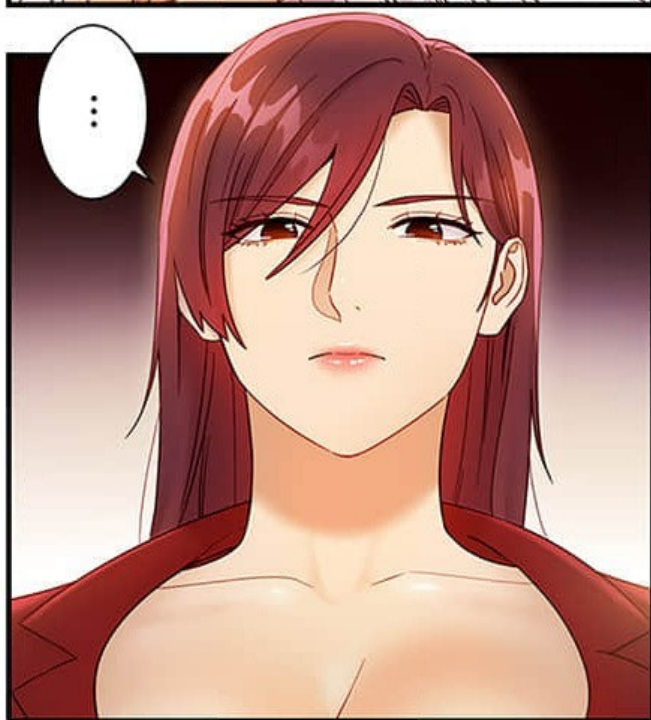




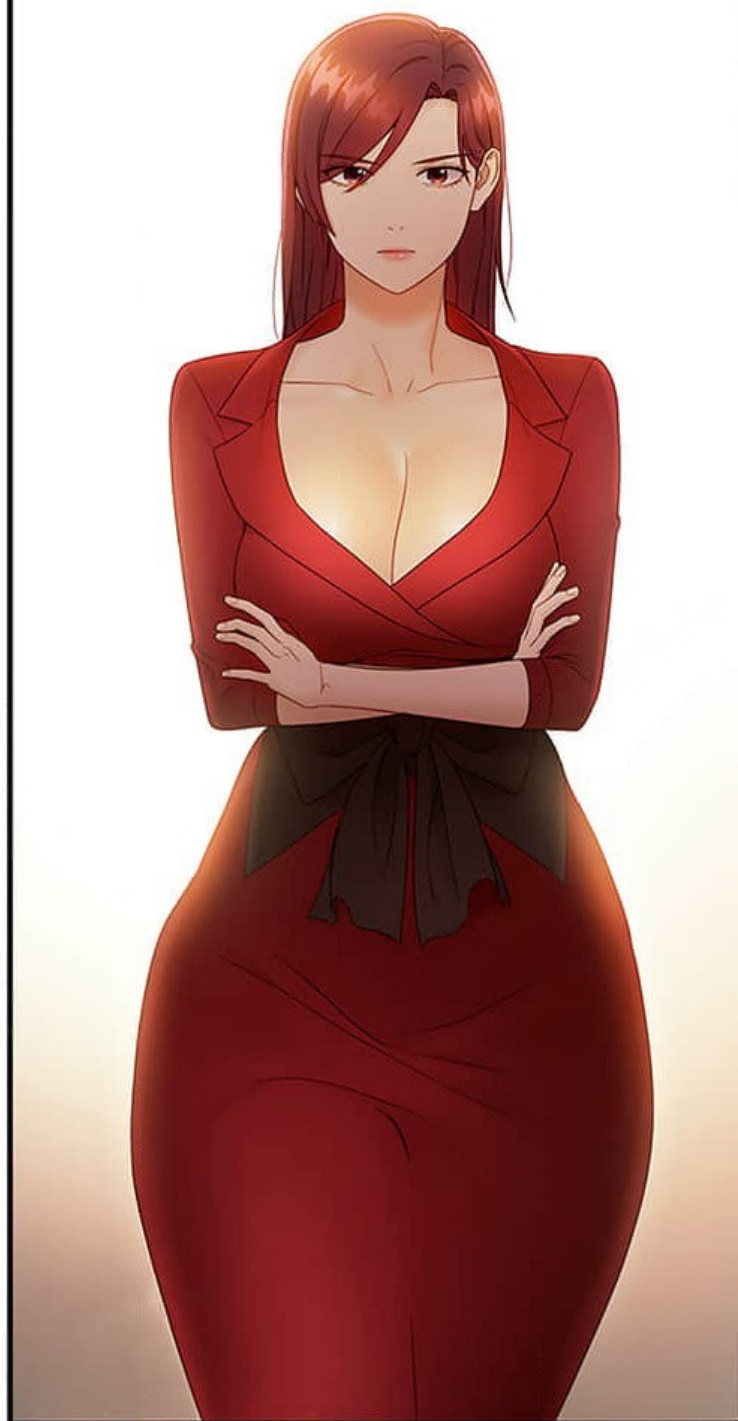








風沙さんが俺の
奴隷になるのは
どうですか？

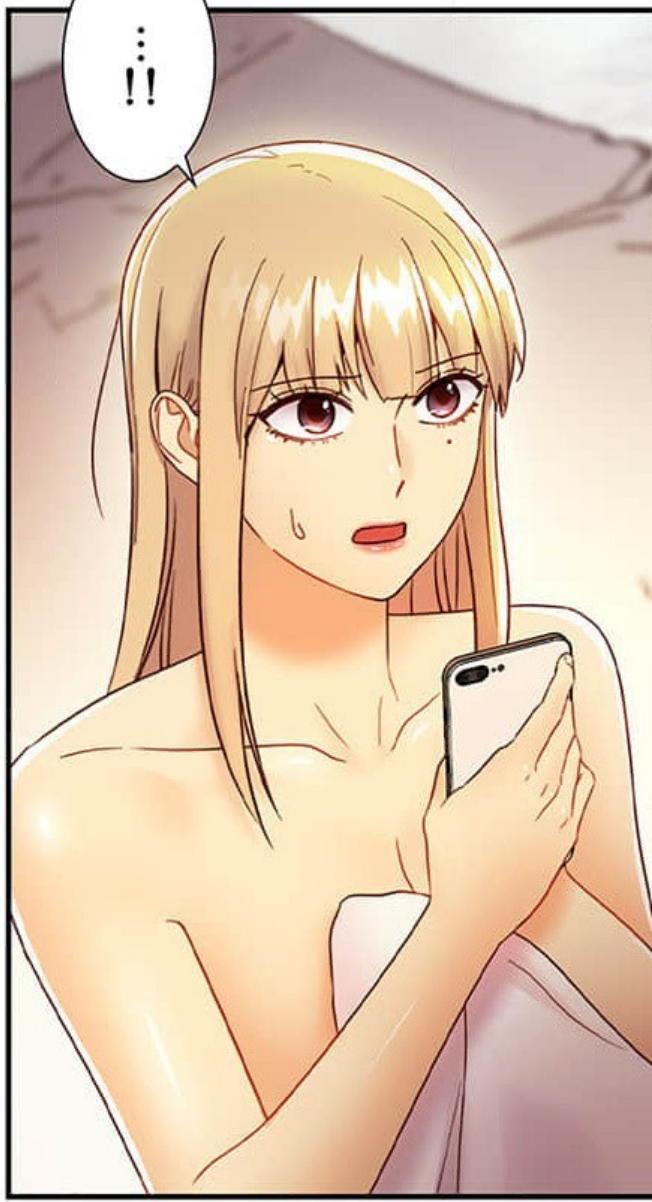






私はあなたを
10分以内に
射精させたら勝ち

あなたは10分間
耐えれば勝ちよ



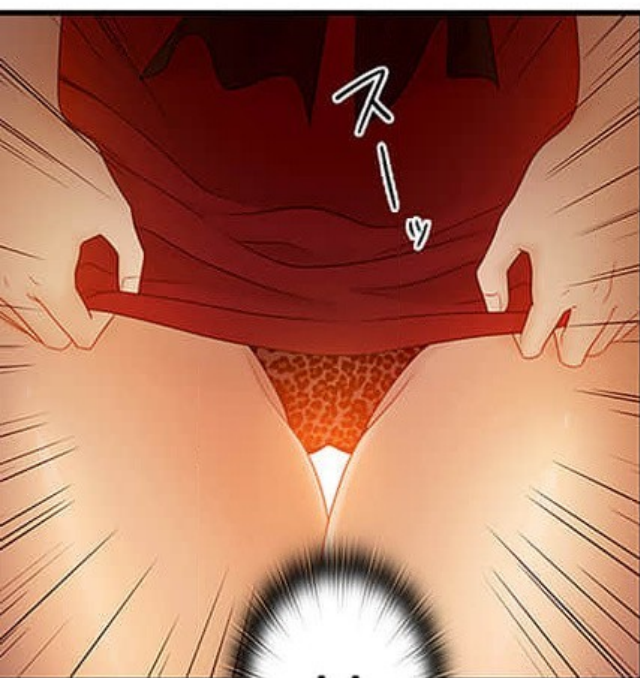
…!!

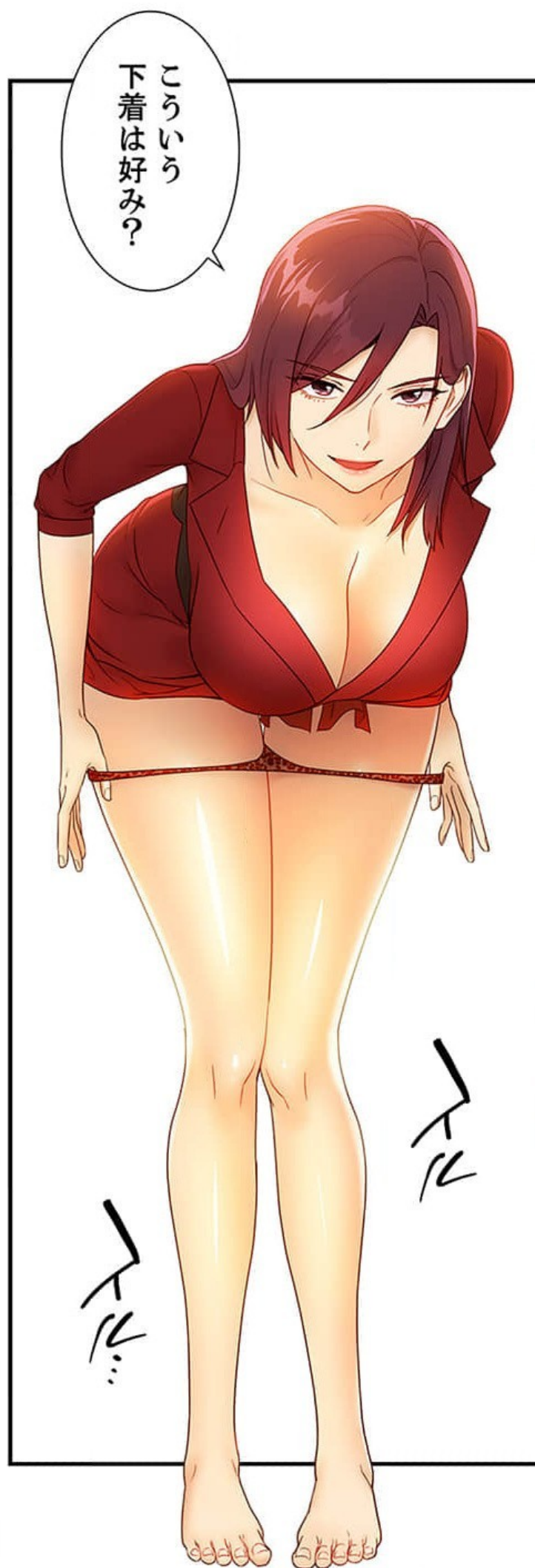


質問は…
無さそうね

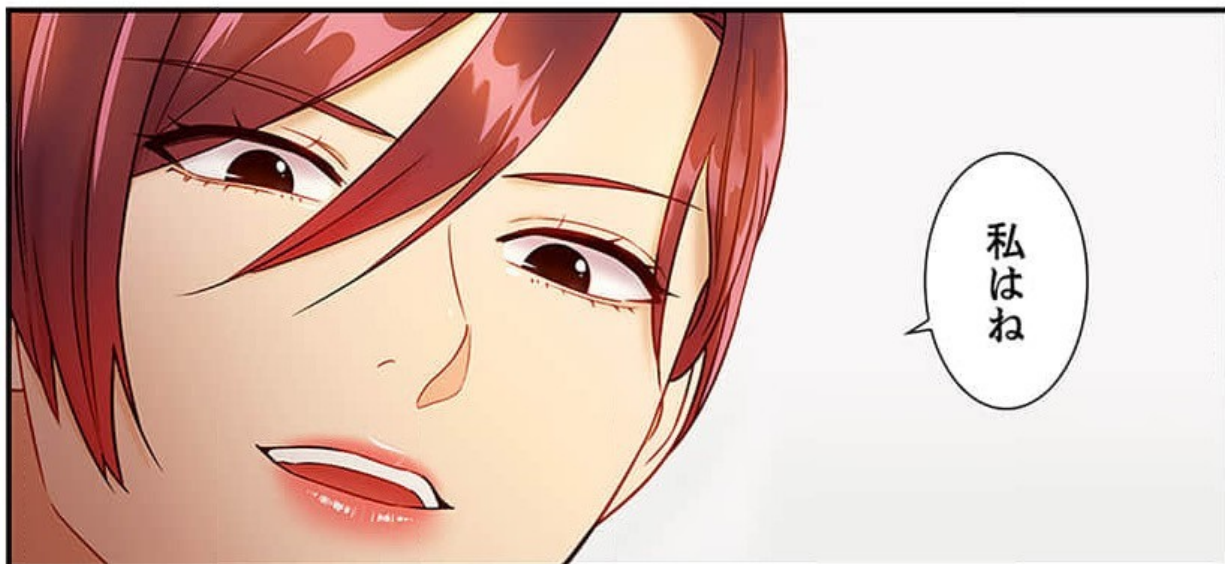
じゃあ
始めるわ

はい

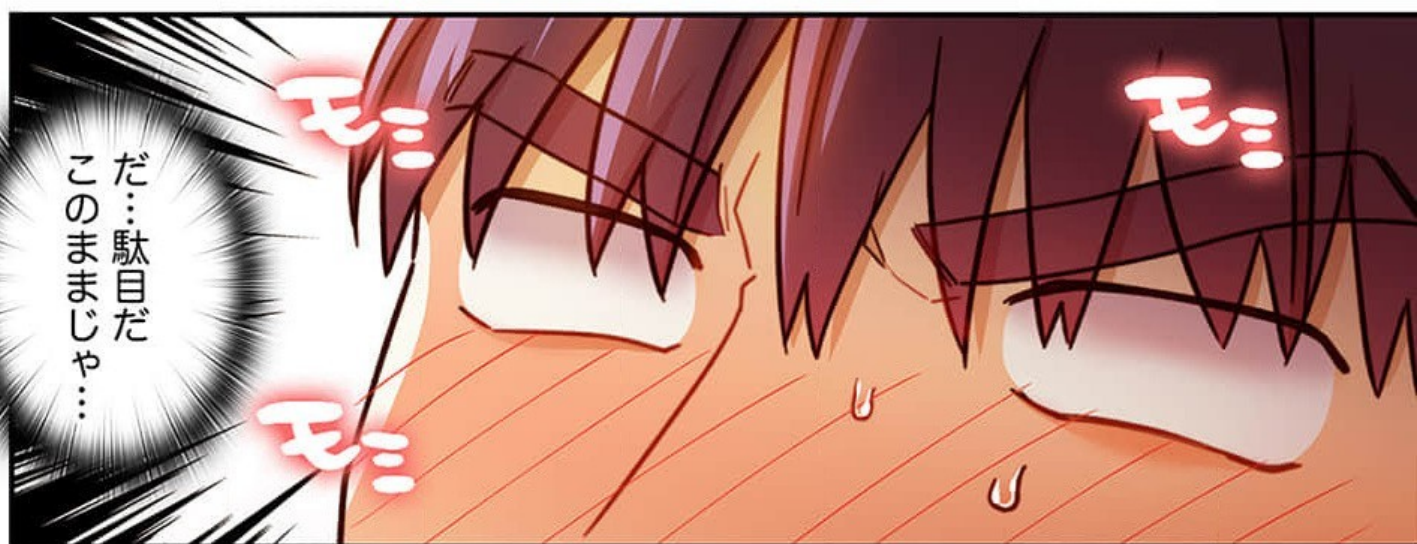




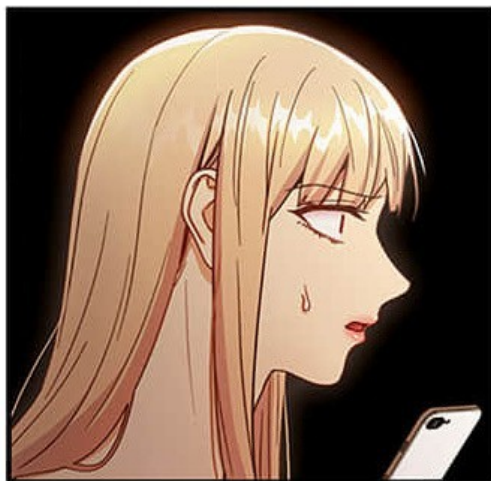
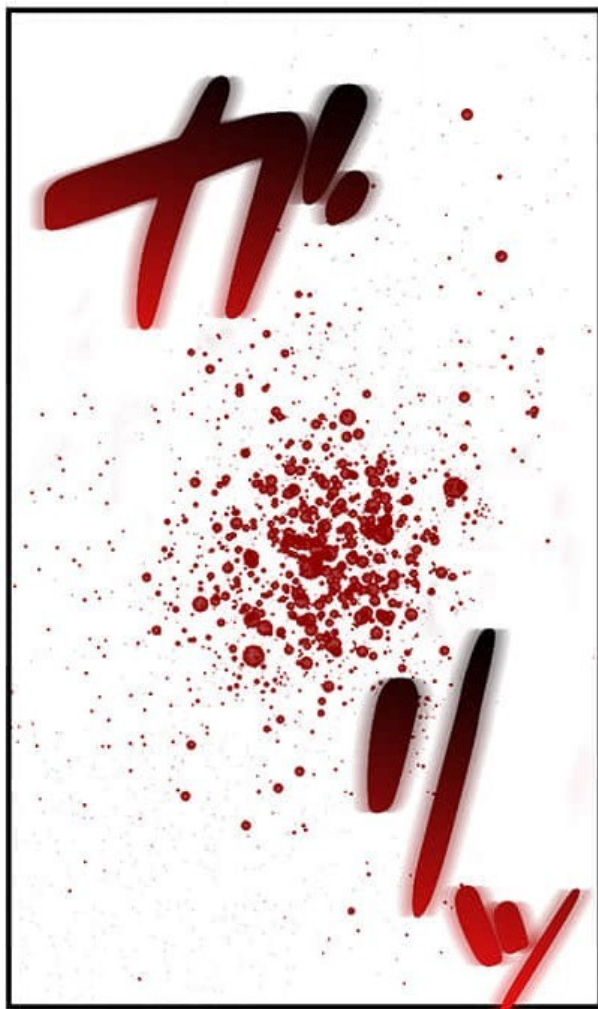




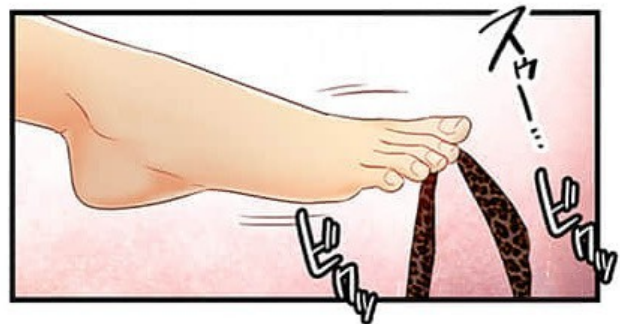


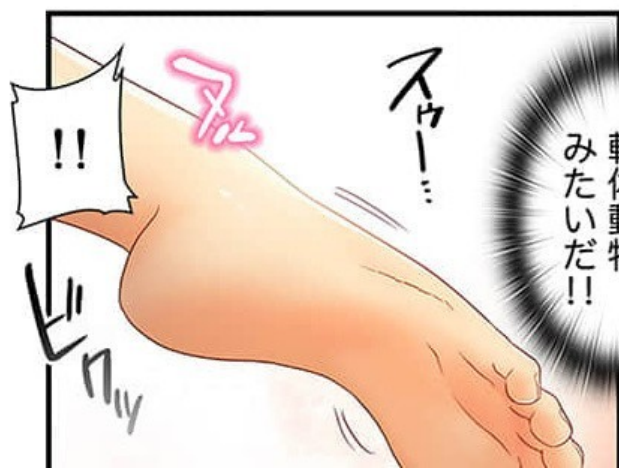
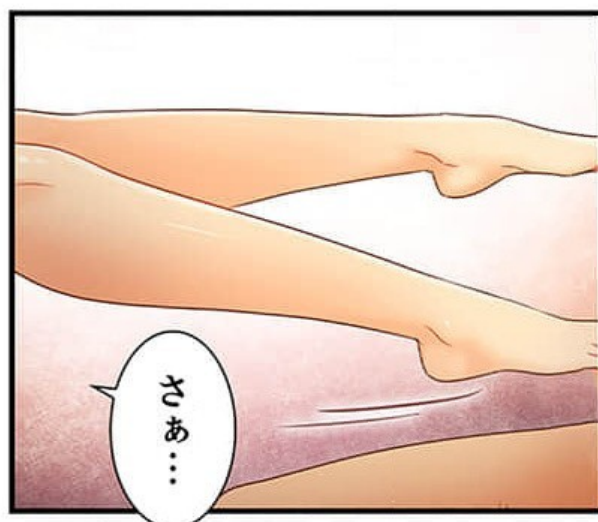


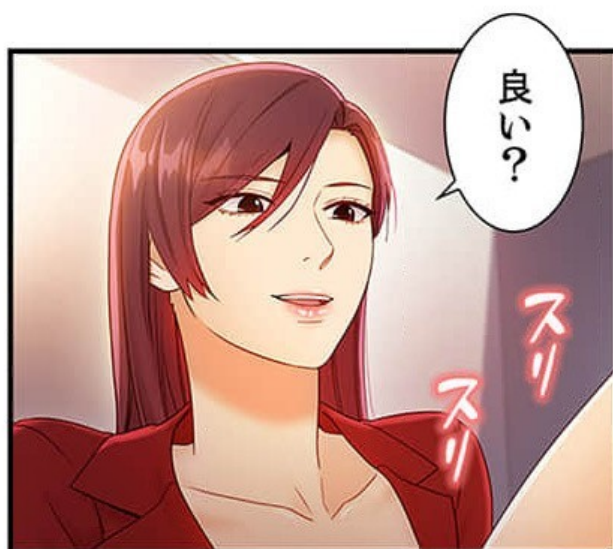


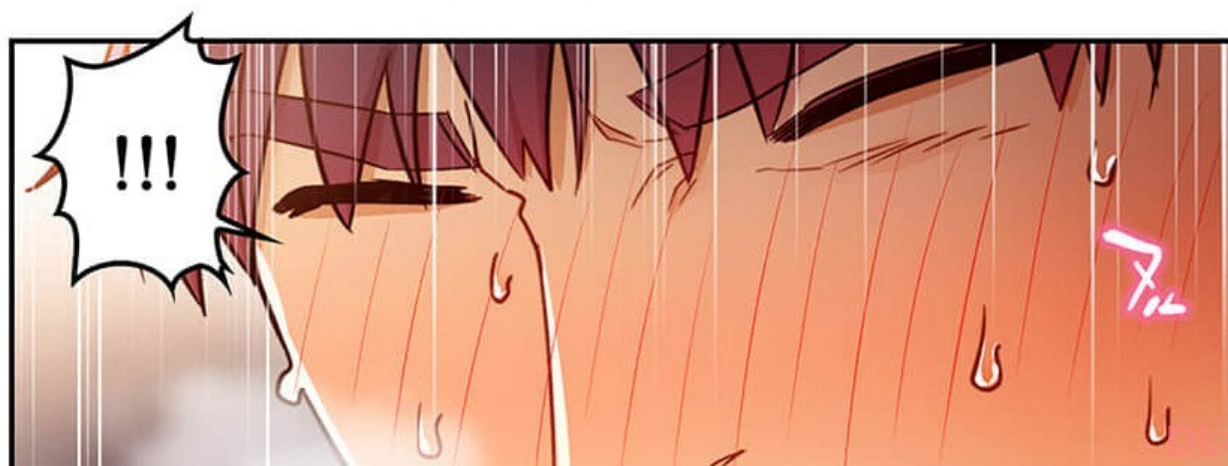
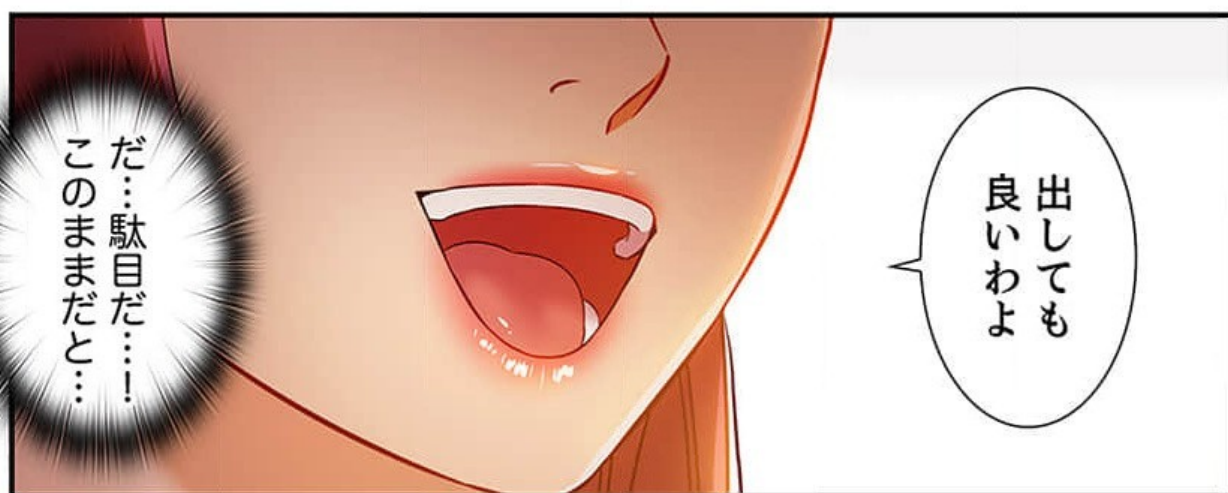












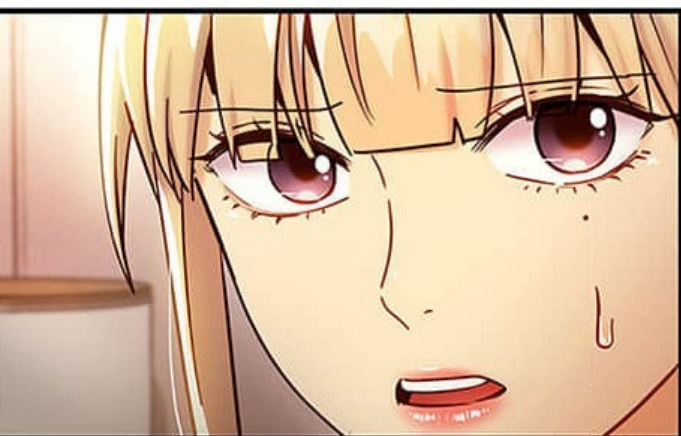
ハーレムXハーレム

ハーレムXハーレム

ハーレムXハーレム

ハーレムXハーレム

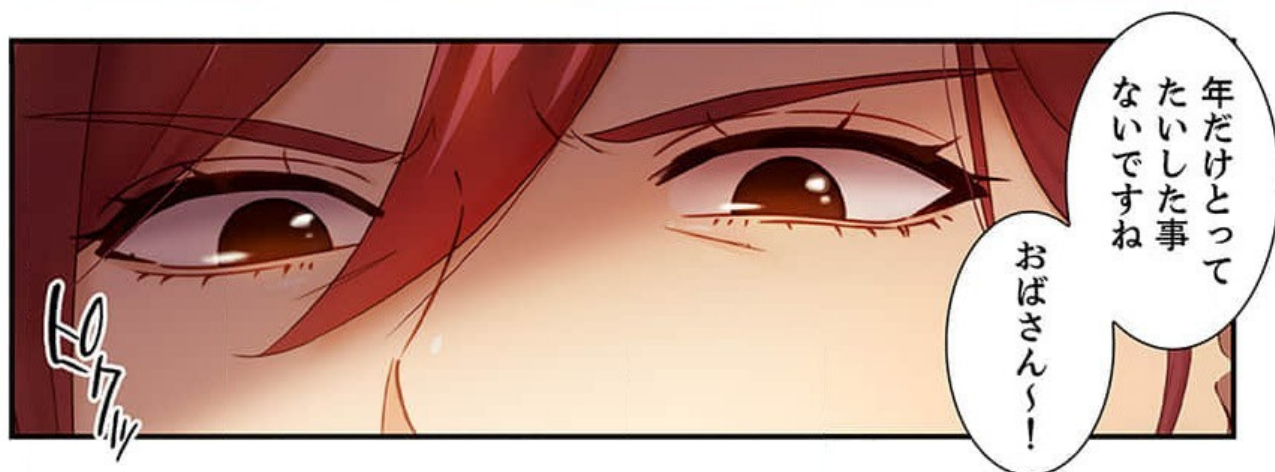
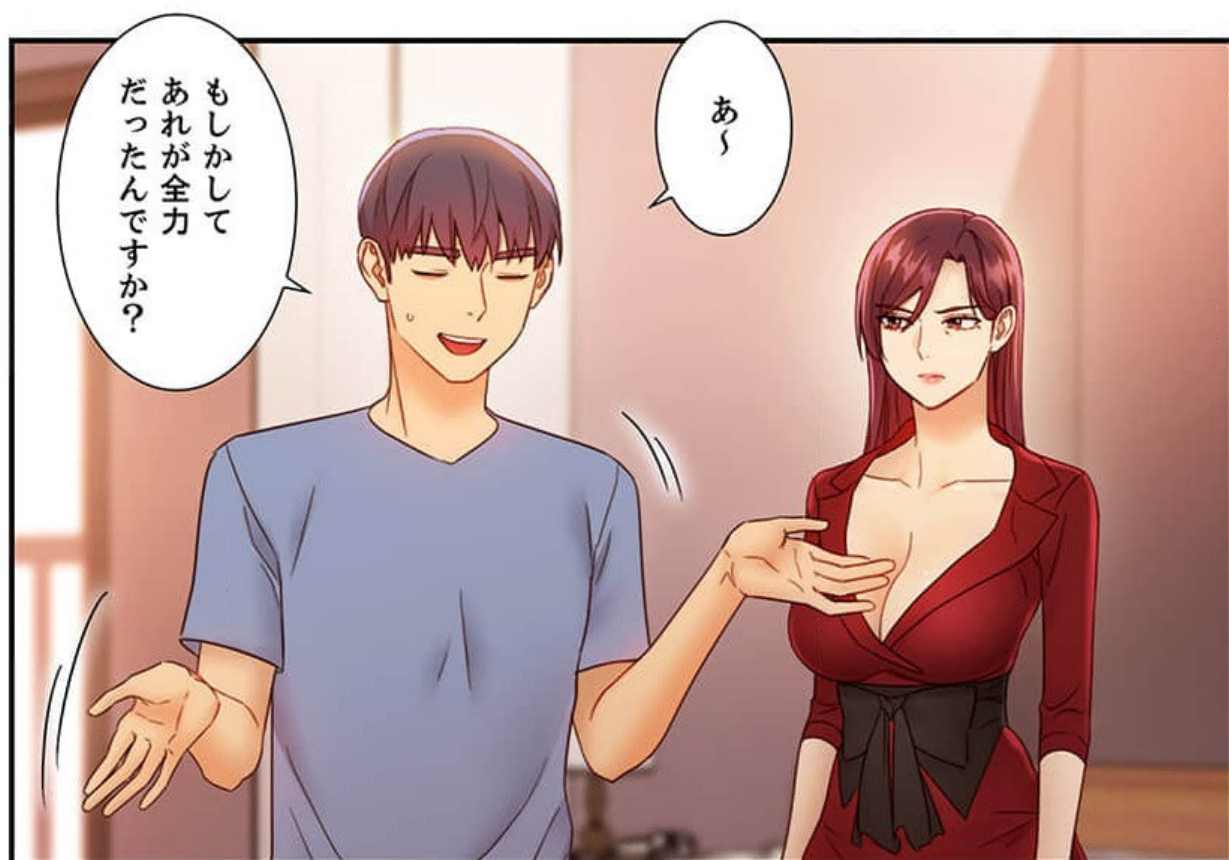
ハーレムXハーレム





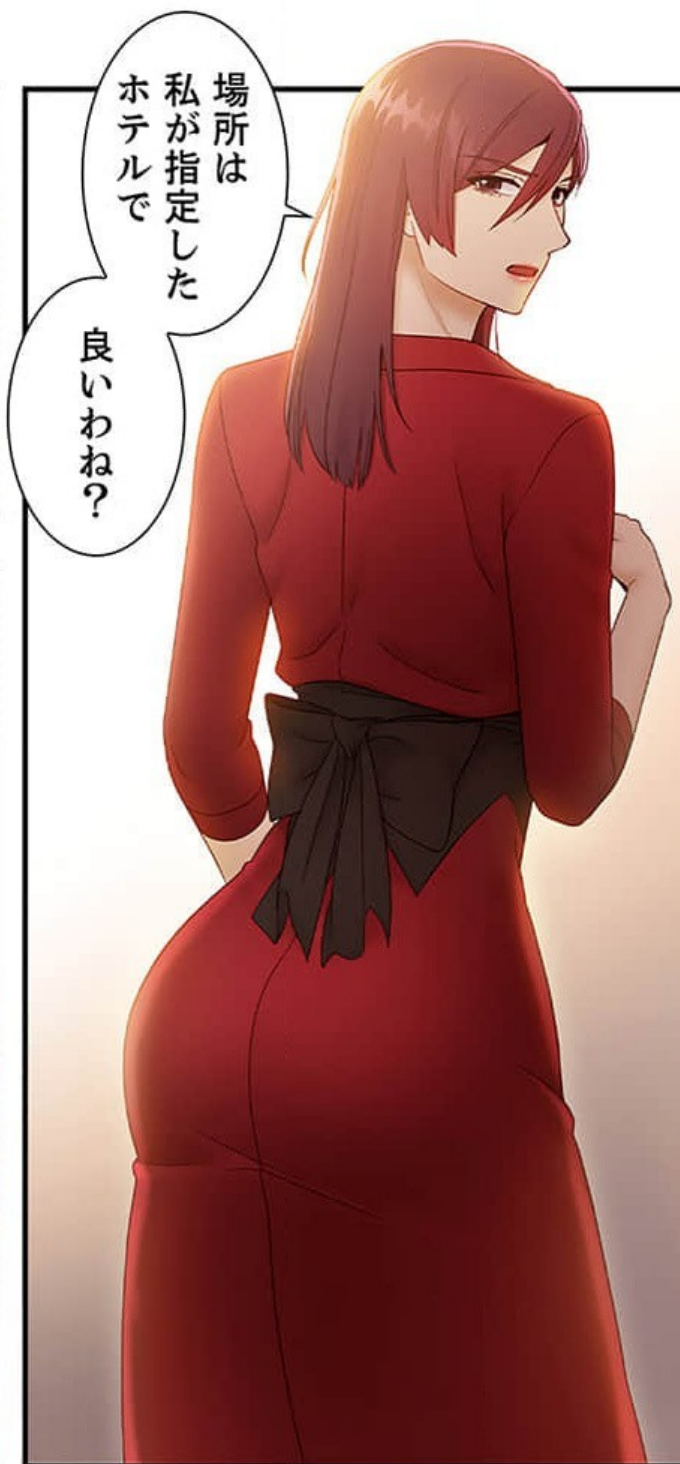


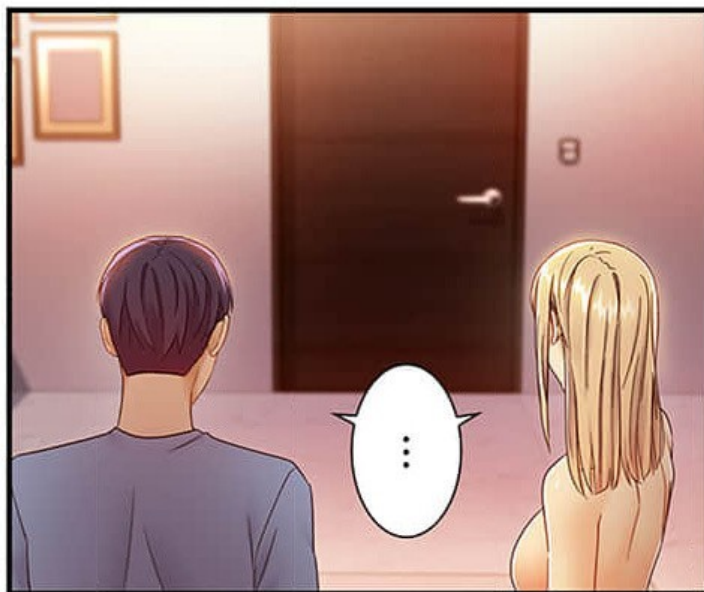




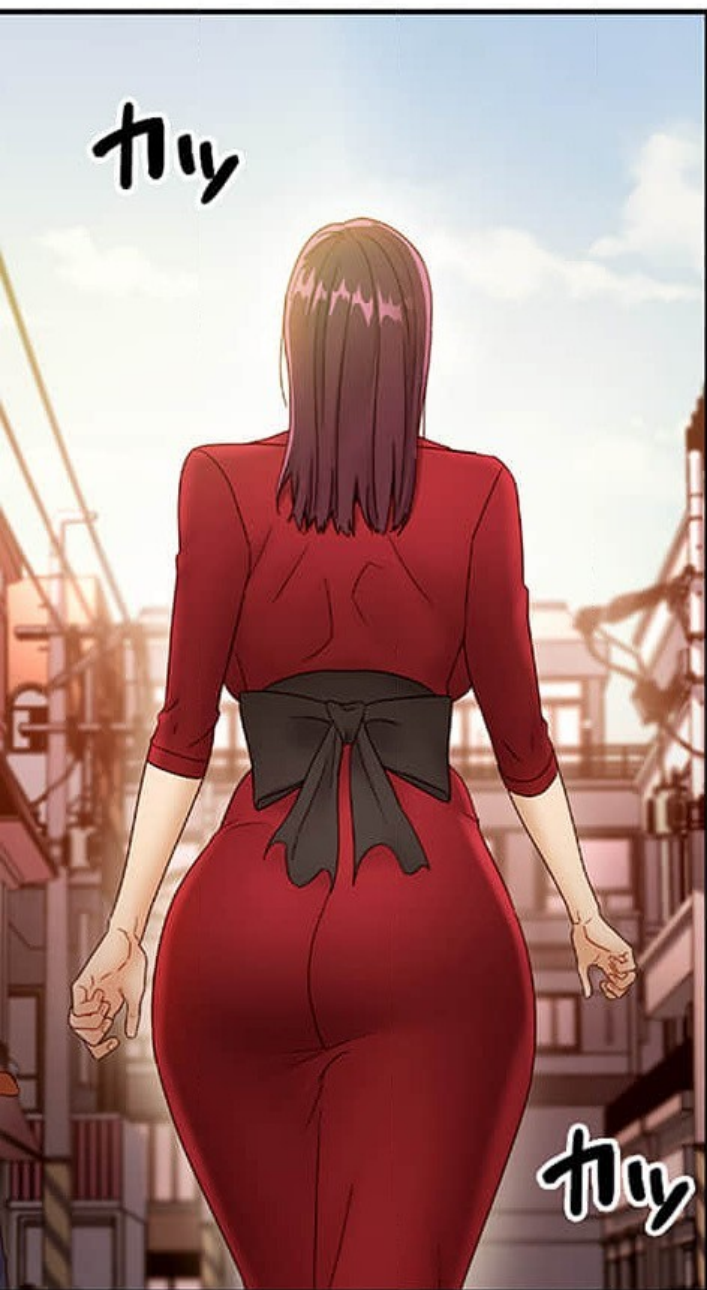


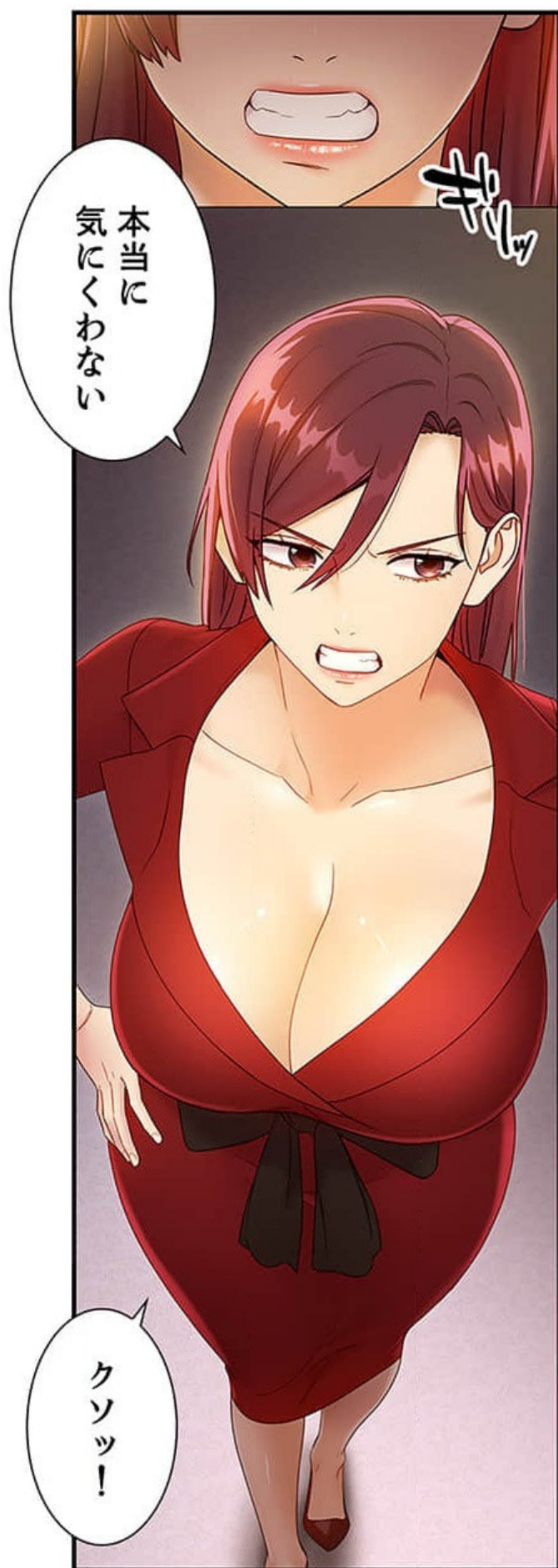














…何ですって？

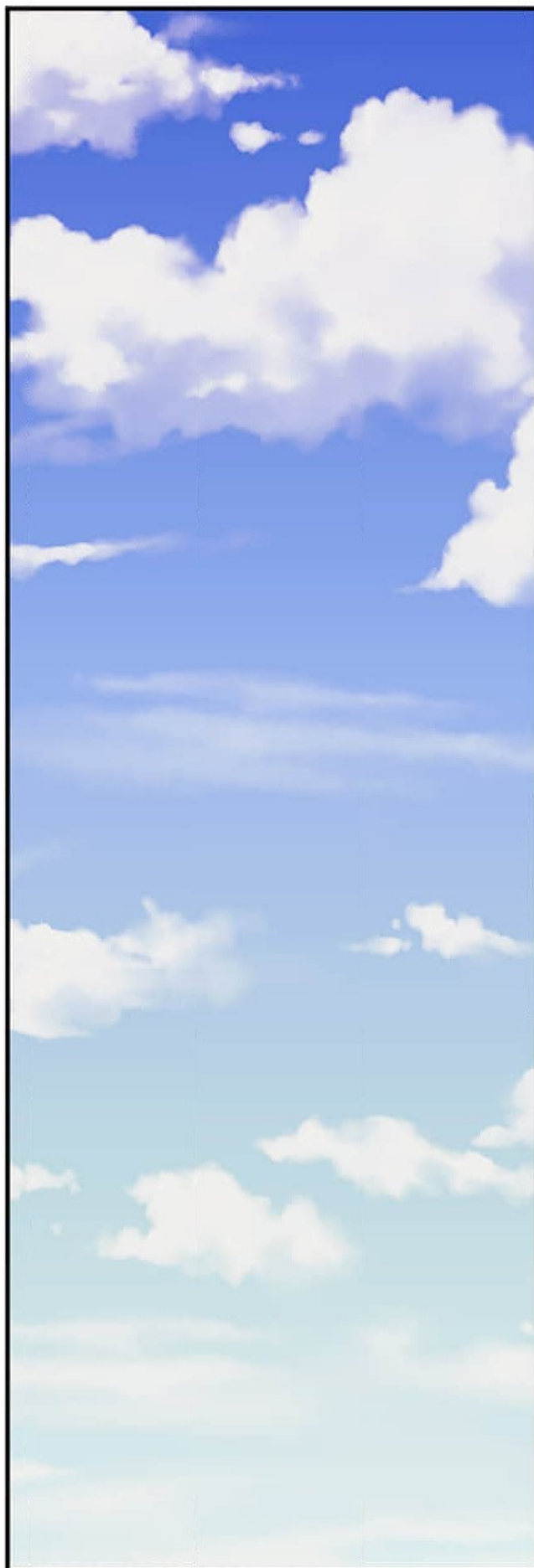
絶対に勝てない？



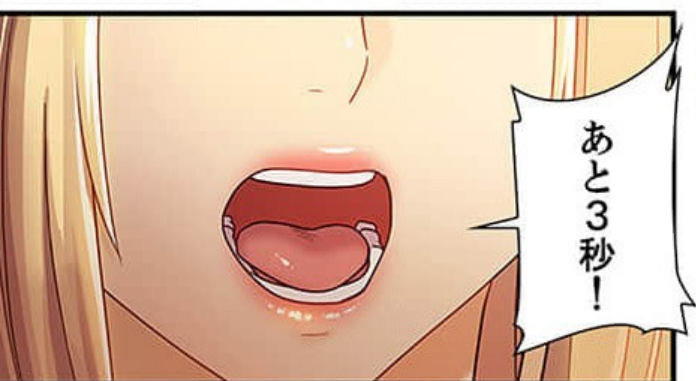
うん
勝てない

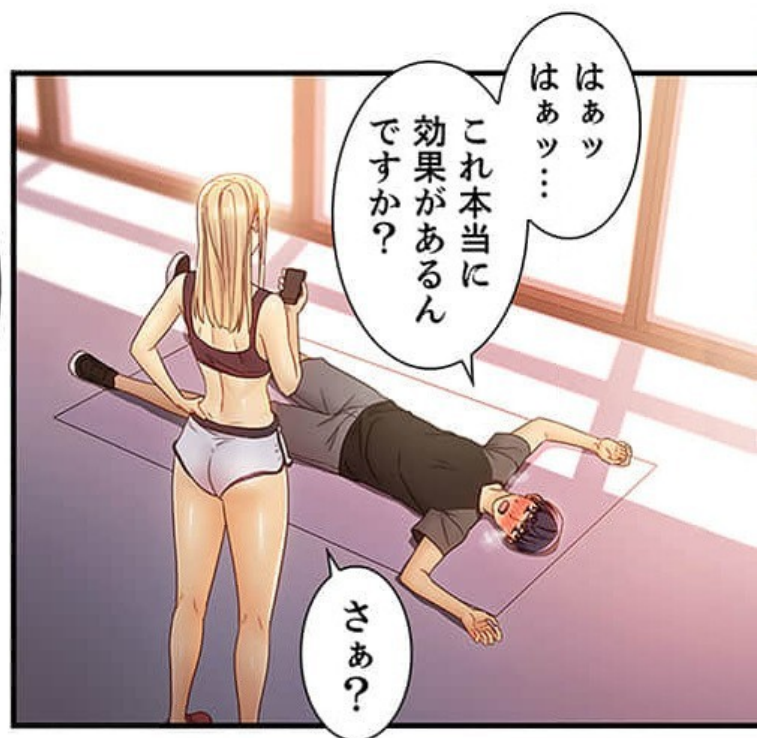
翔一なら
もしかして…？
って思ったけど…

やっぱり
足元にも
及ばなかった









初めは
大した事
ないの

断りにくい
簡単な命令から
させるのよ

そうして自分でも
知らず知らずの内に
徐々に慣れ始めて…

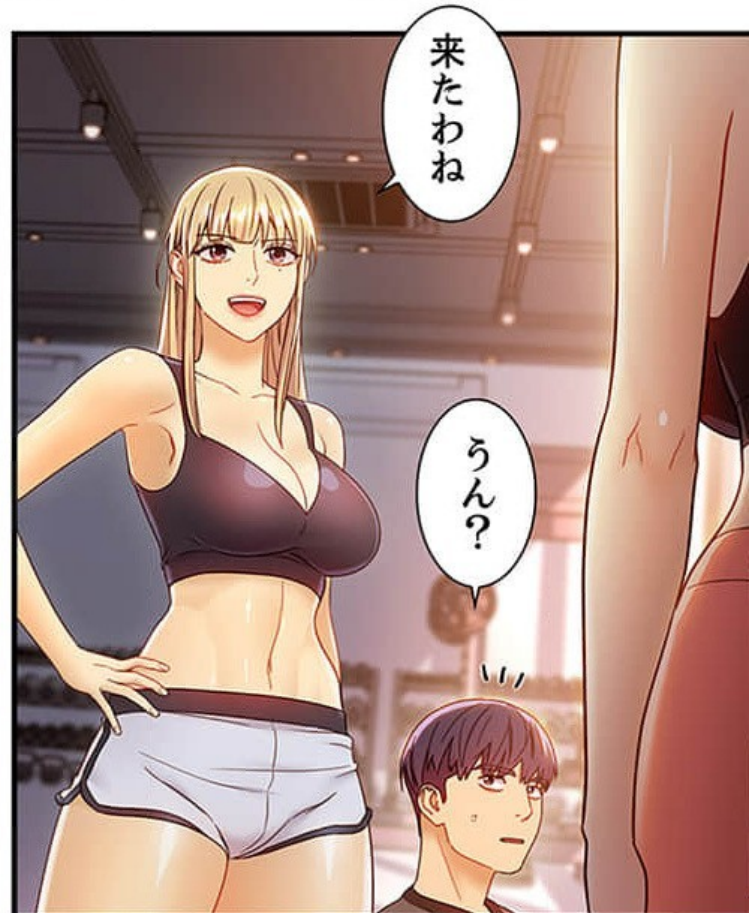
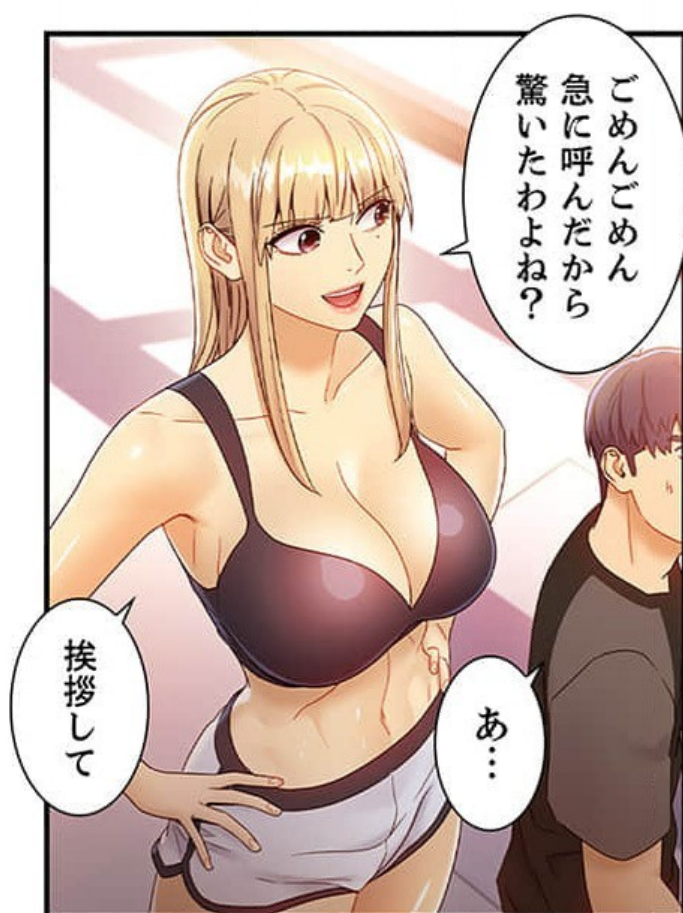
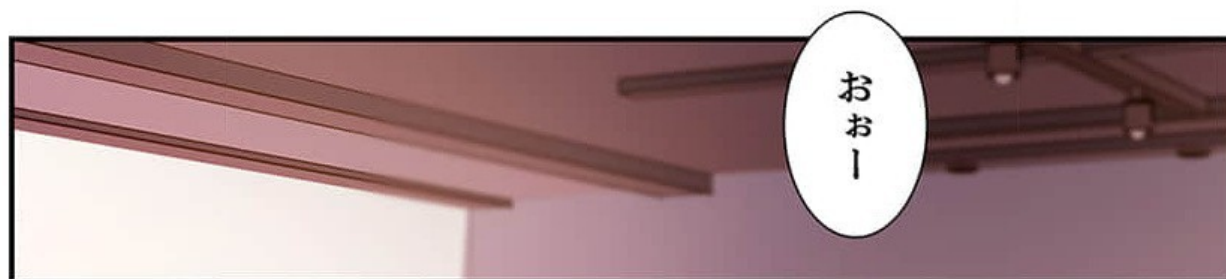
いつの間にか命令の
度合いの変化に
気づけなくなってるの

疑念も嫌悪感も
無くなって

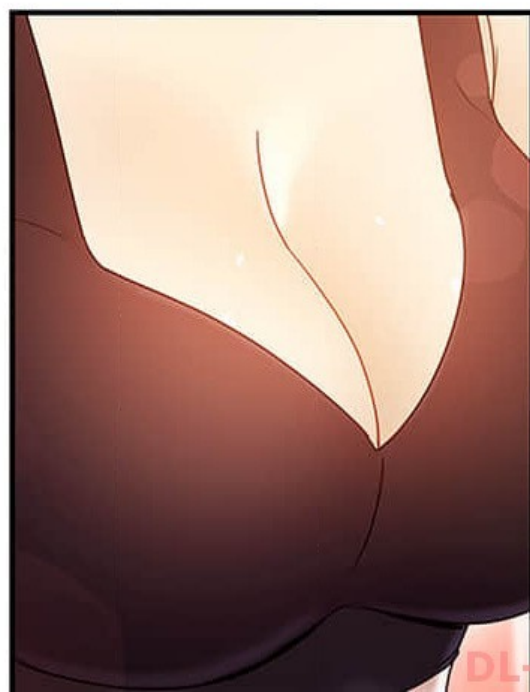
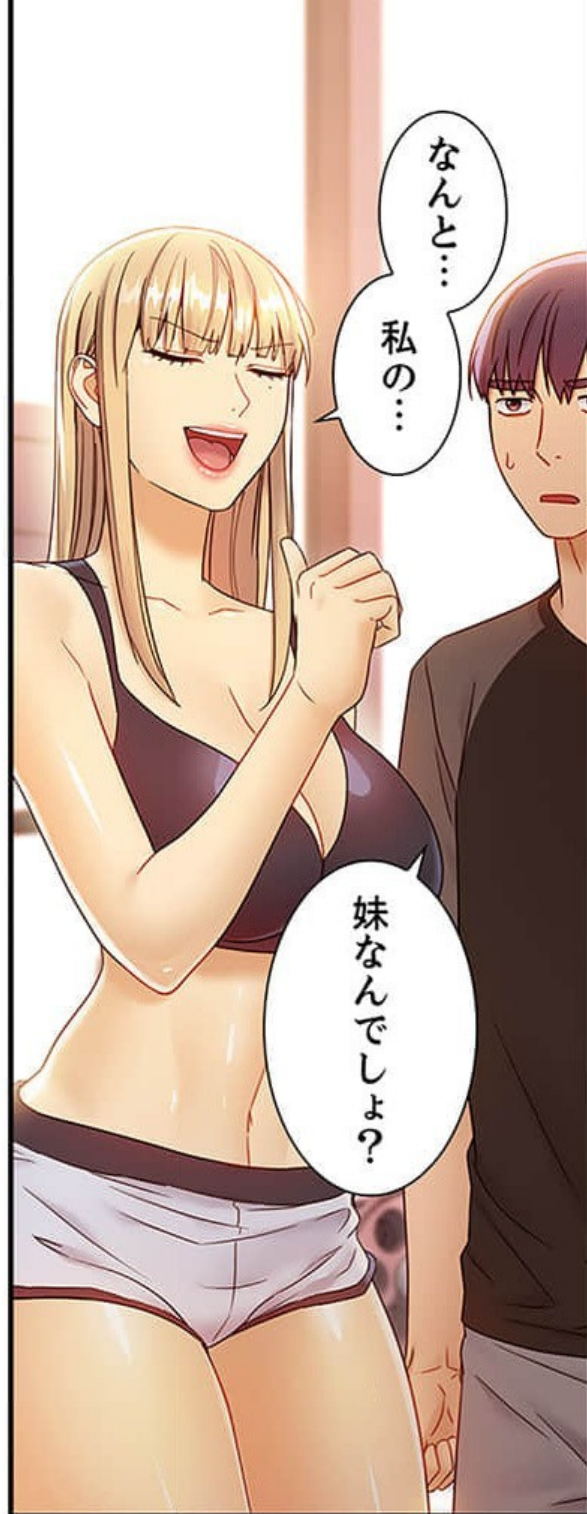
彼女が言う事なら
何でも言う通りに
する

“本当の奴隷”に
なるのよ

…









翔一くんのこと
知ってるの？

一生懸命
トレーニング
してるみたいね？



休んでばかり
いると
思ってたのに…



おお！
謙遜まで！

このまま続けたら
数ヶ月後には
見違える身体に
なりそうだね

その時が楽しみ！

おい！
翔一くんを
知ってるの？

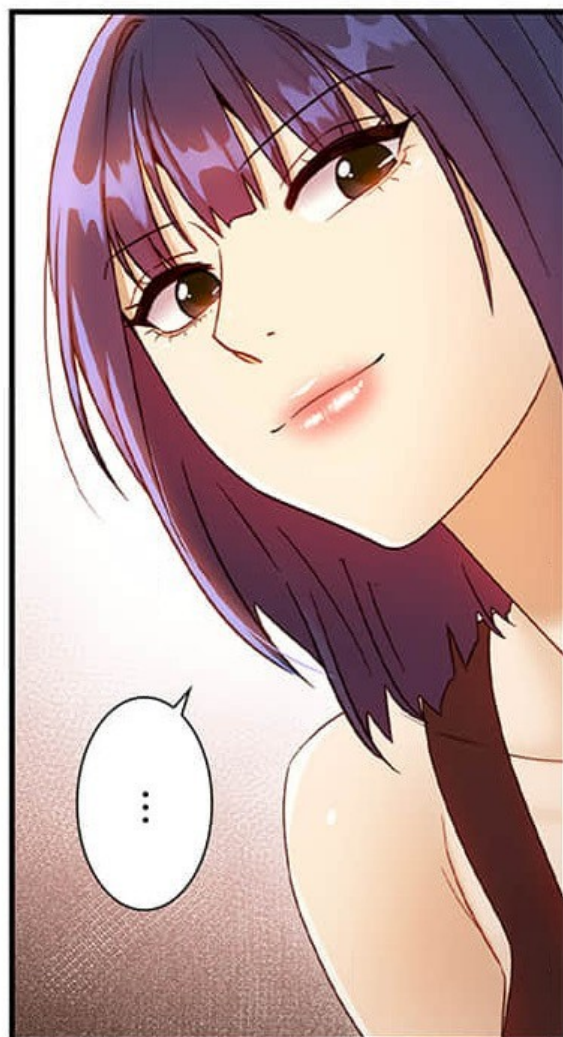
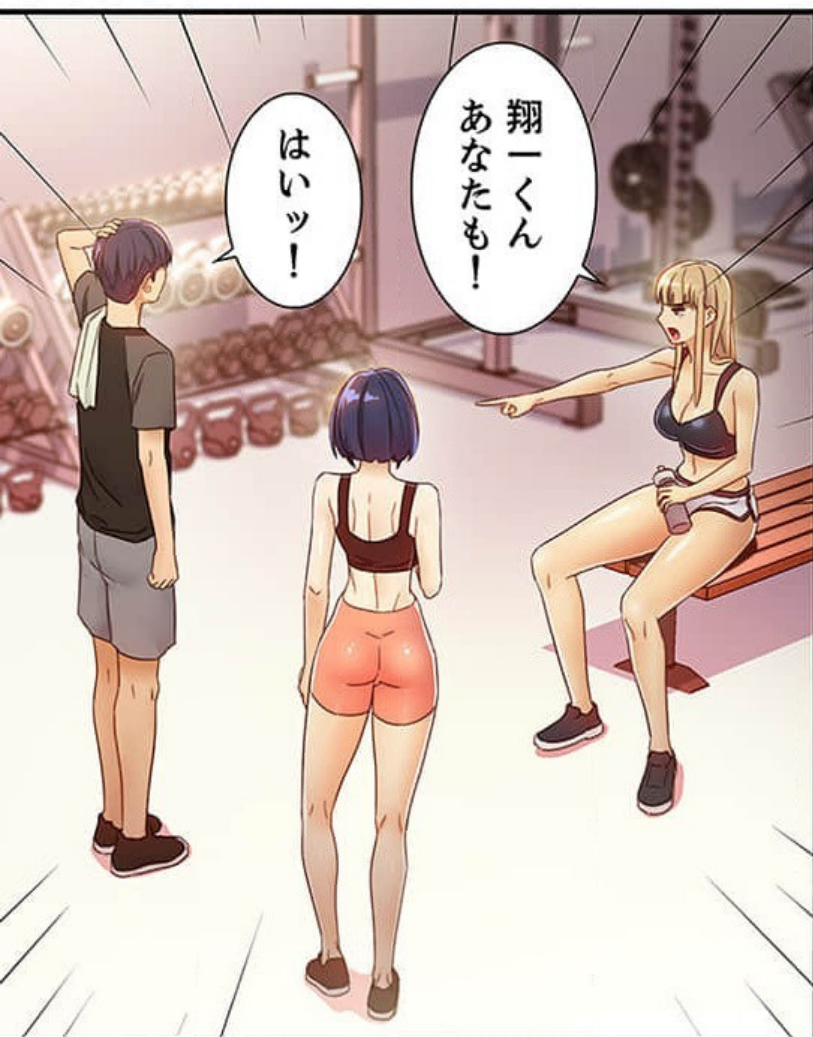


まあ
それなりに…

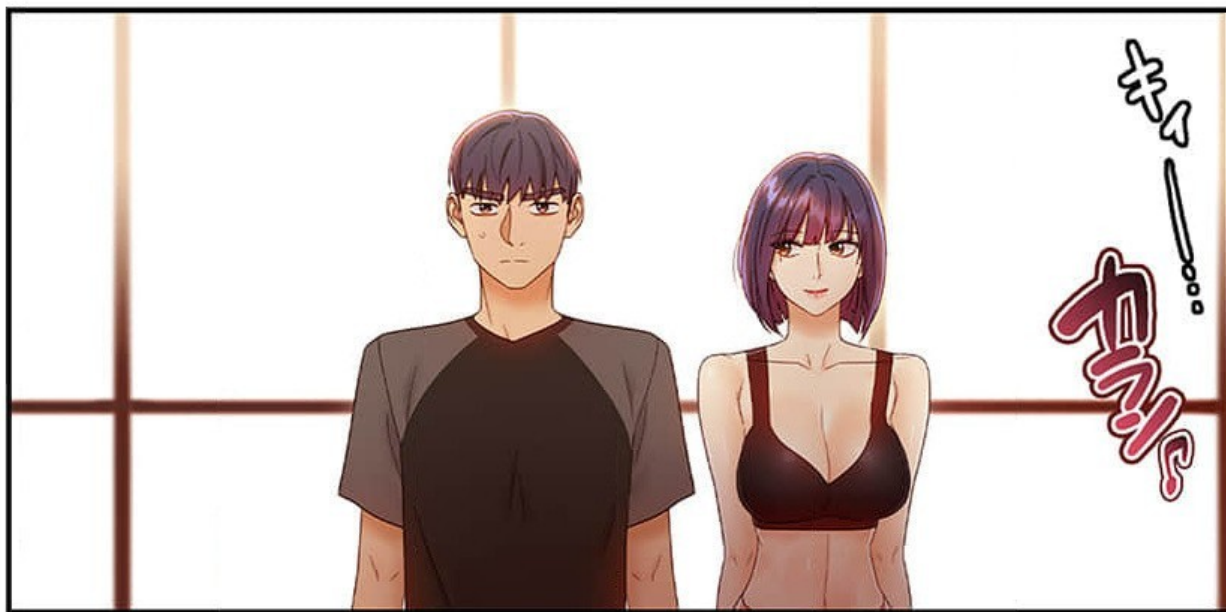
そこまで
高い強度じゃ
ないけど…

ちよつと…！
人の話
聞いている！？



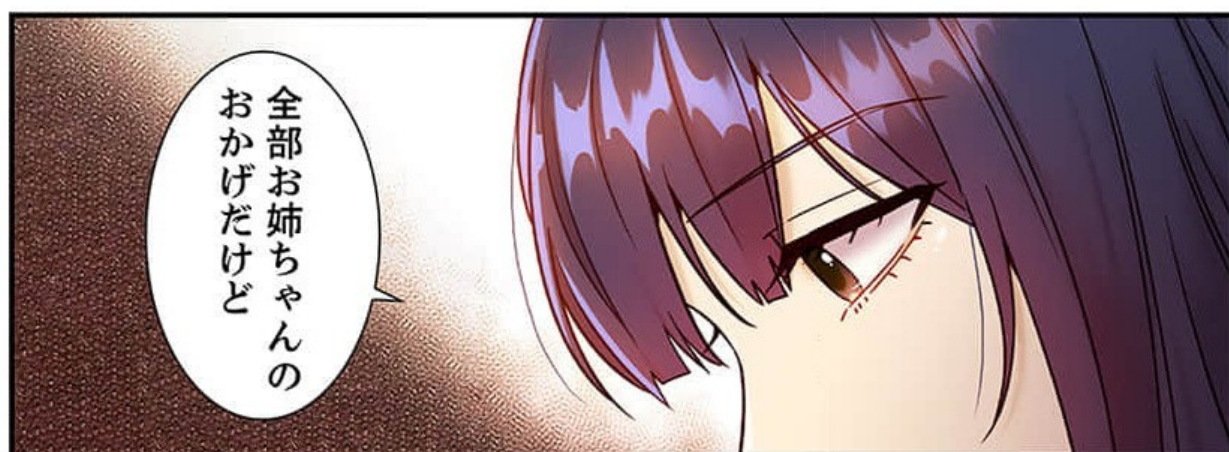




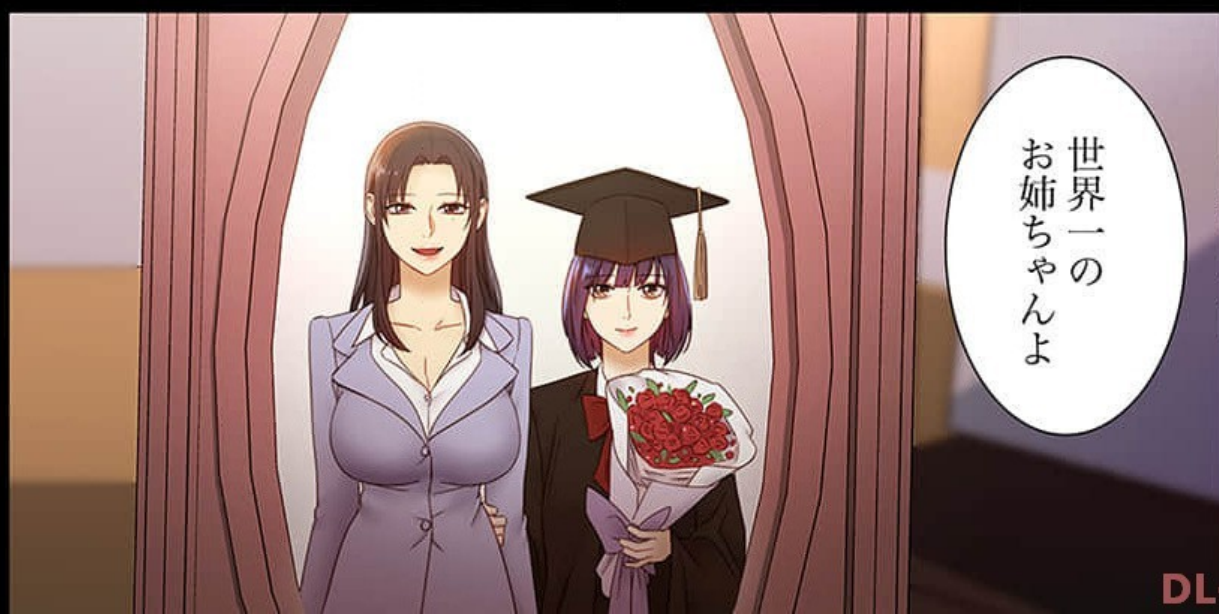




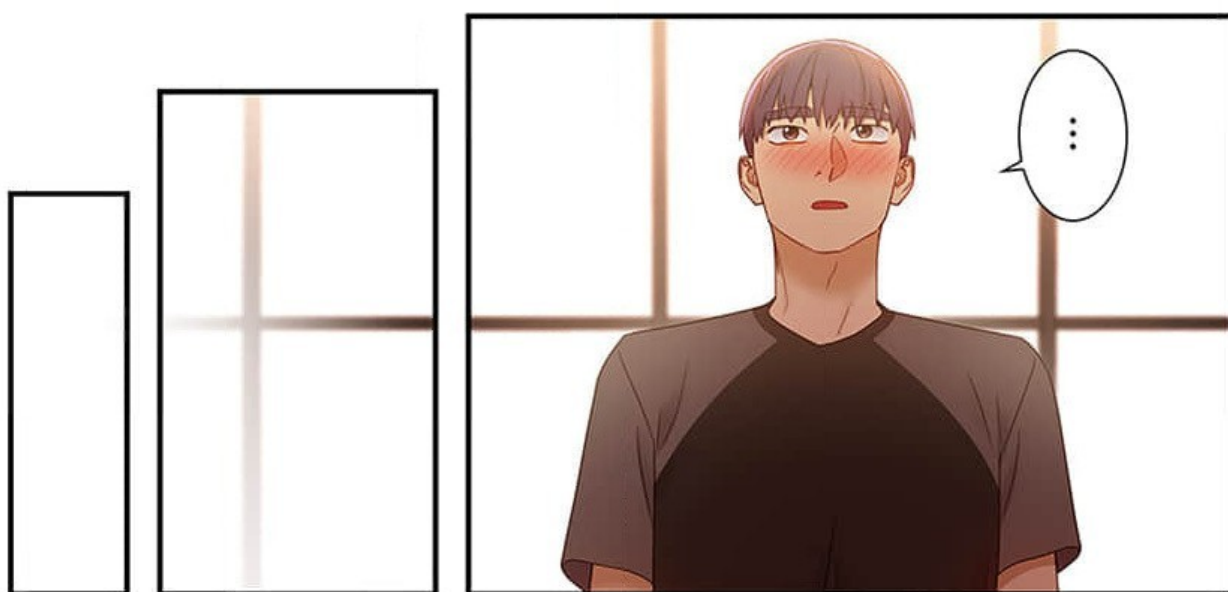


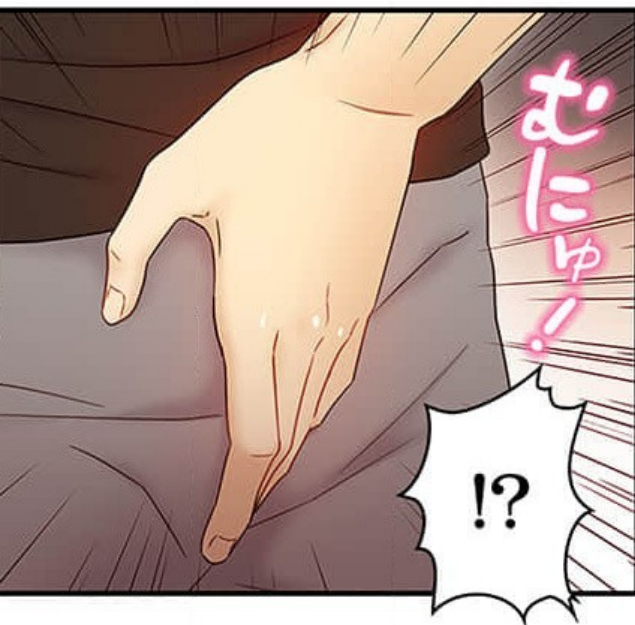


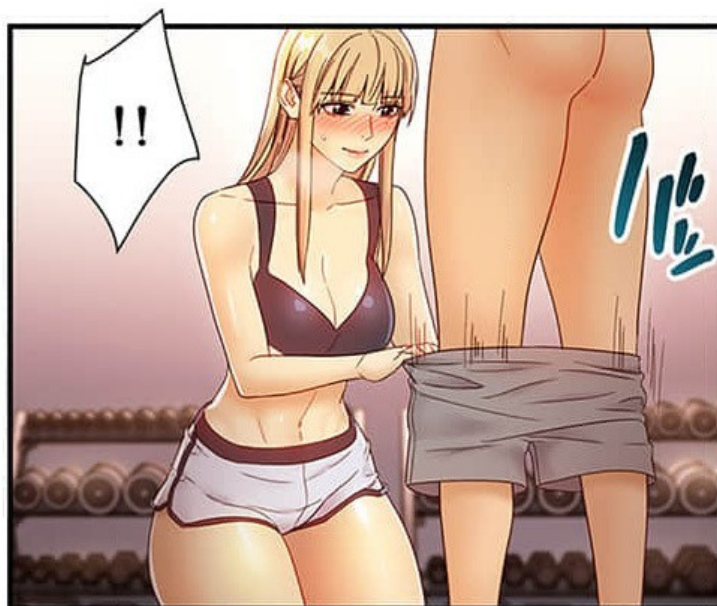
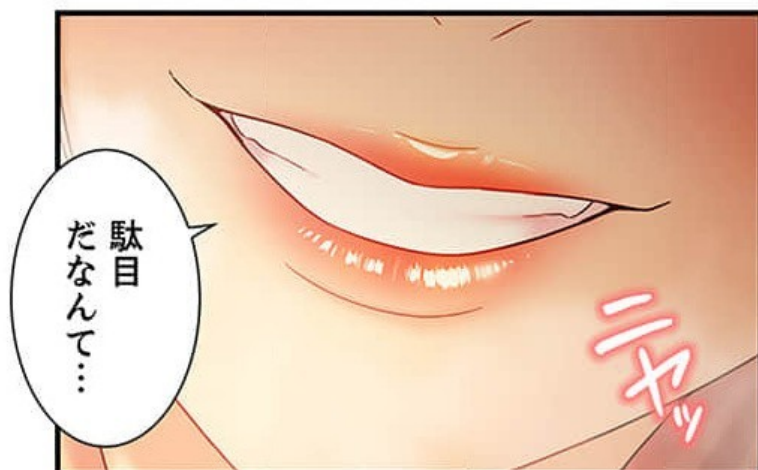






























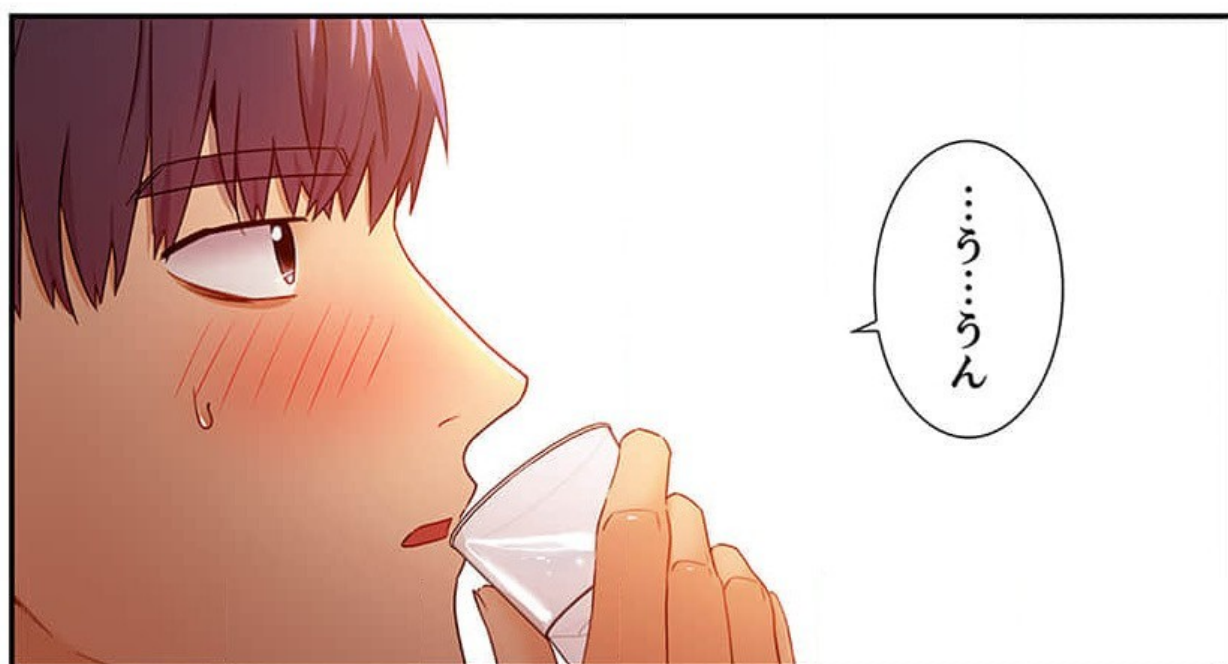


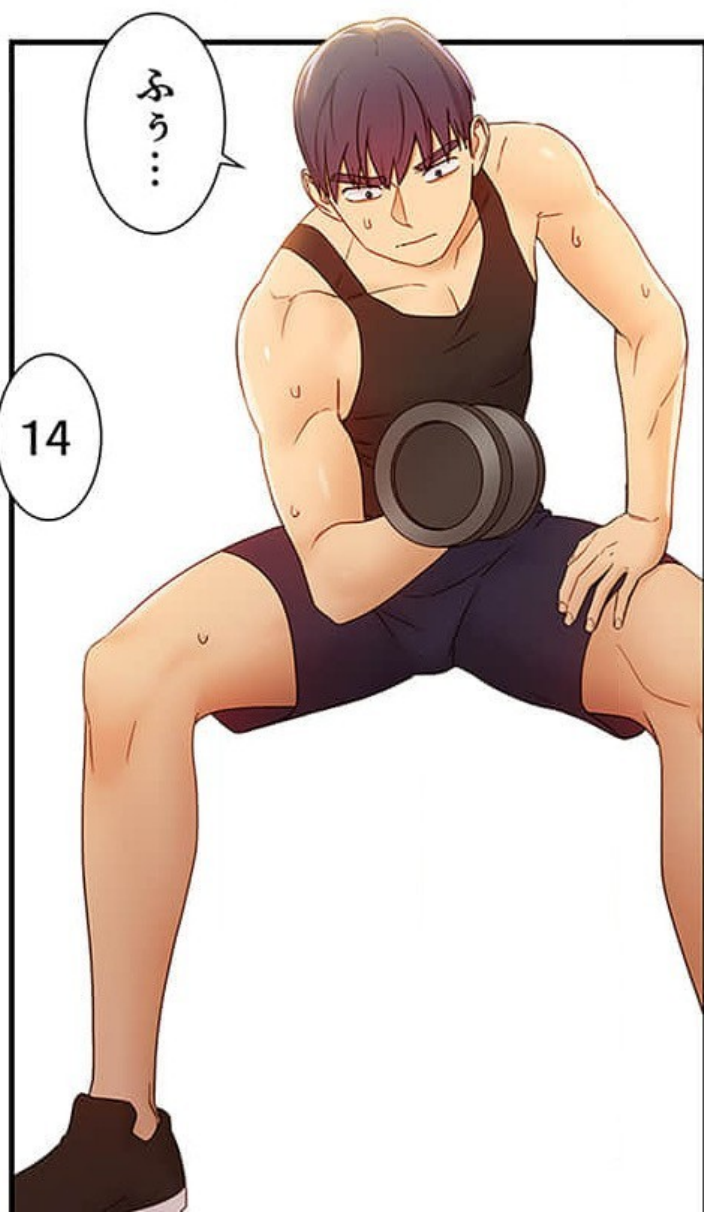
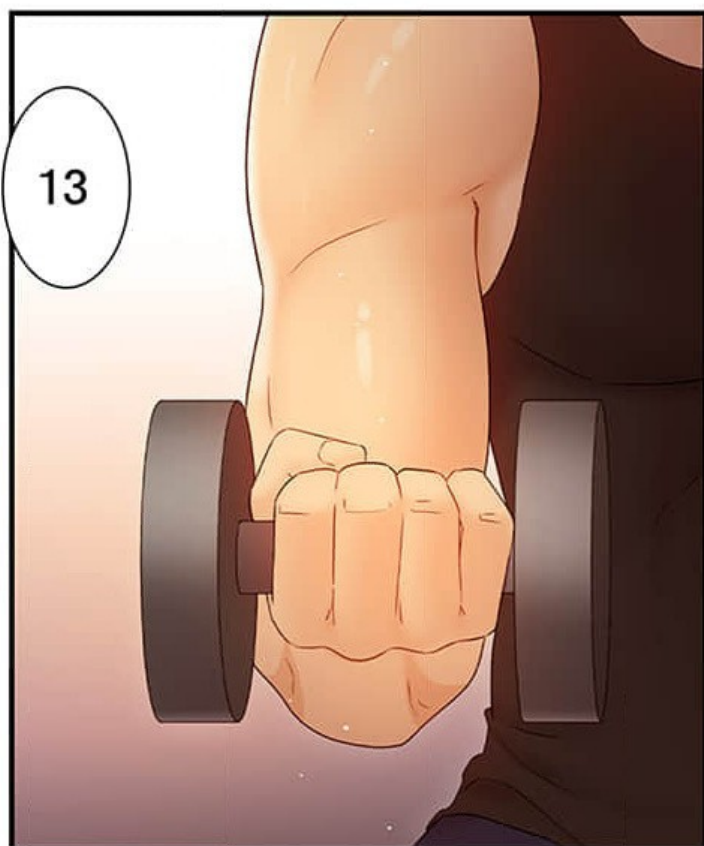




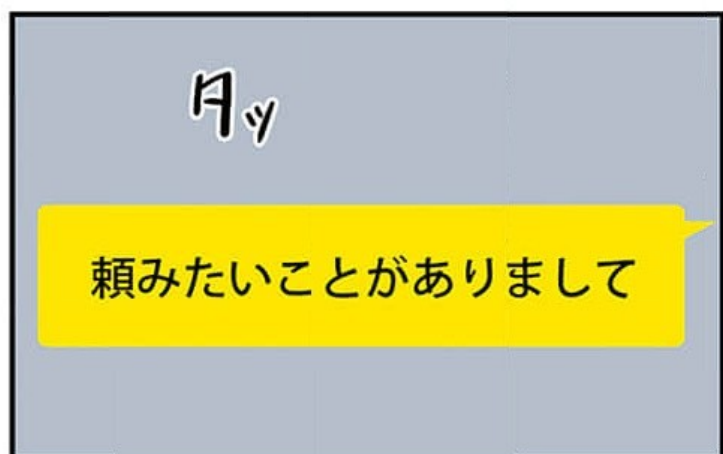
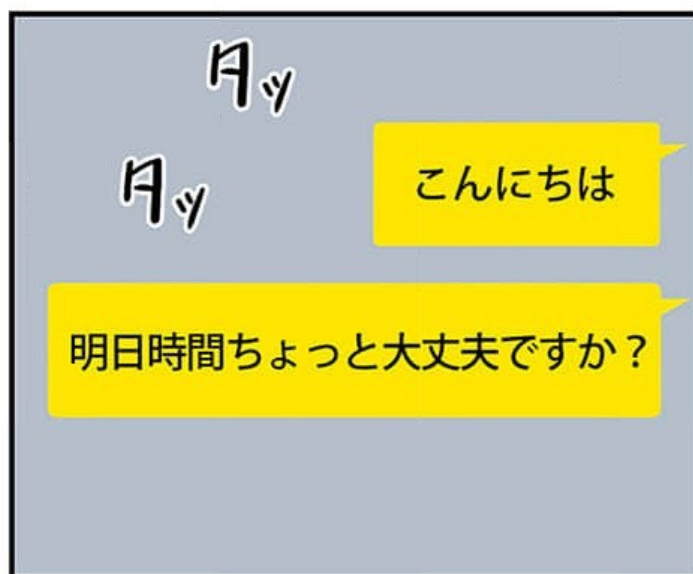








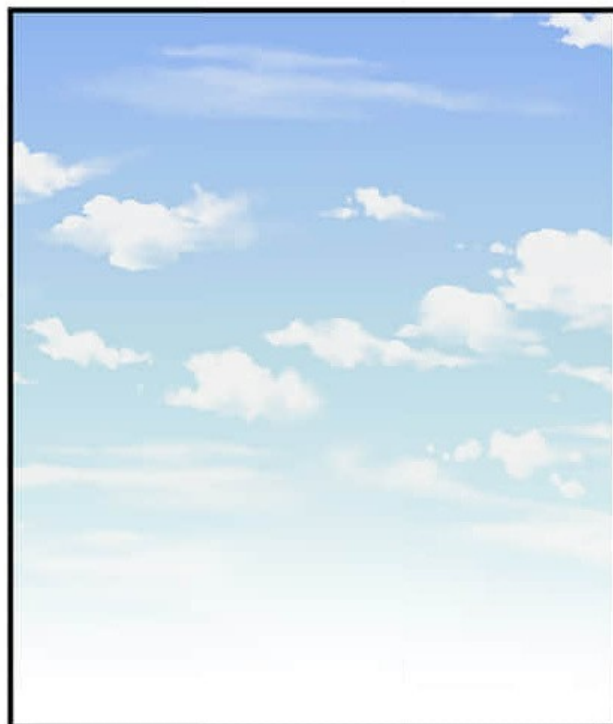






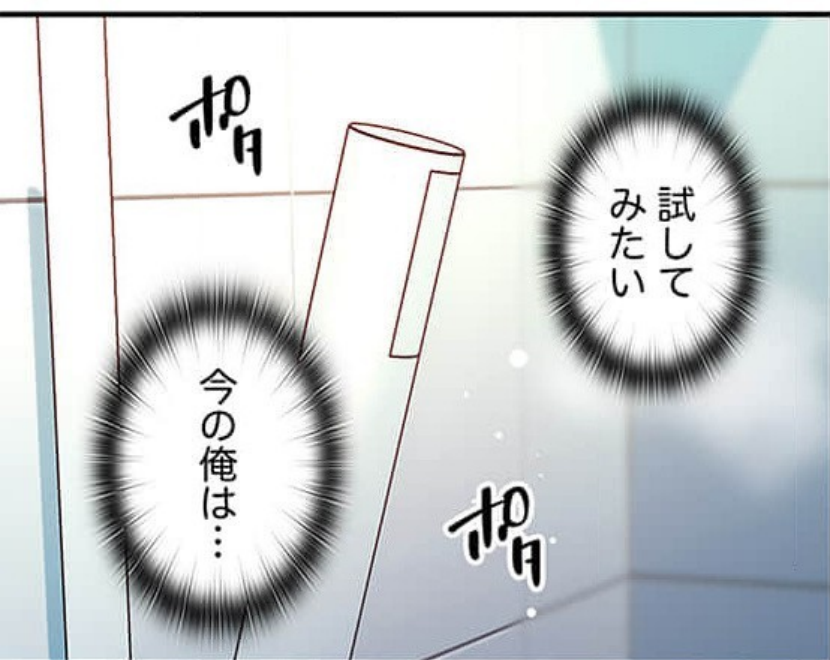
体幹に
持久力…

上半身
下半身
背中…



ふうッ…

ふうッ…



今の俺は…

試して
みたい



この3週間
十分鍛錬した

ニャアアア…

急に連絡
してきて…

頼みがあるって
言うから何かと
思ったら…



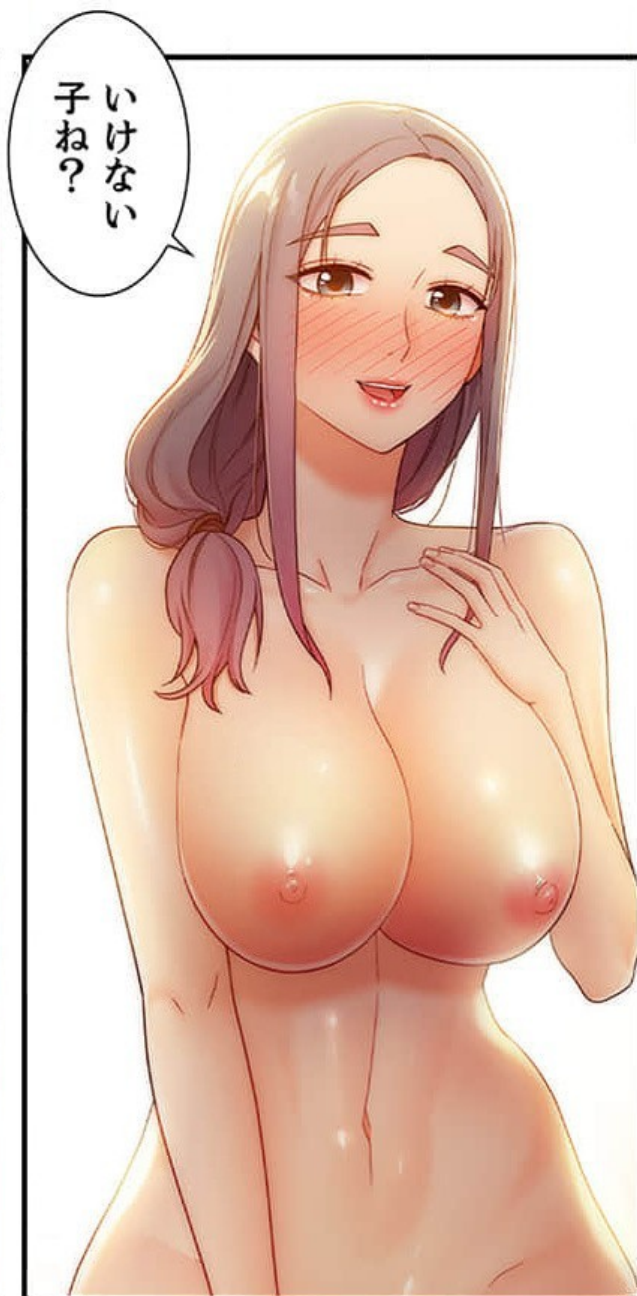
どれほど(精力が)
強くなったのか…!



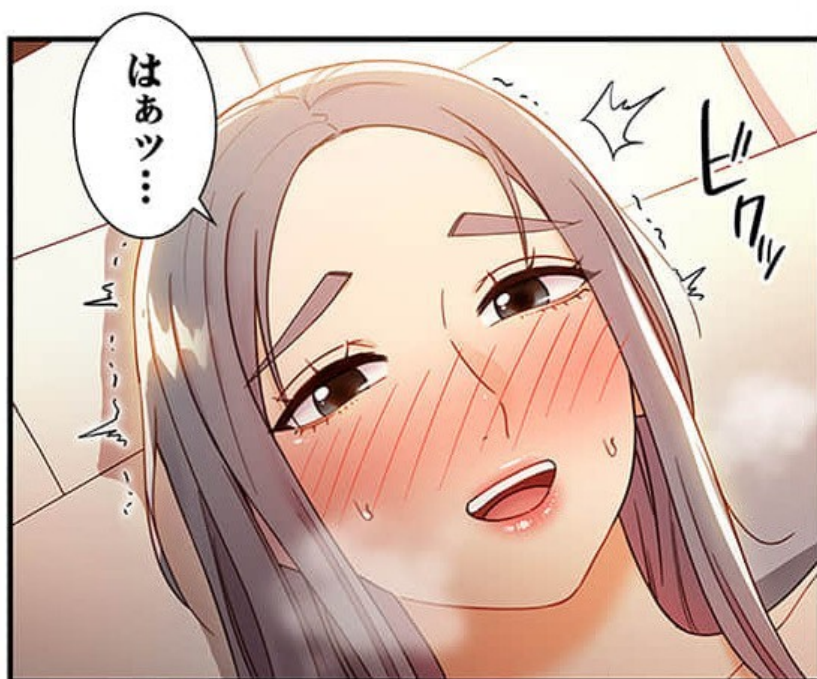
お待たせ〜



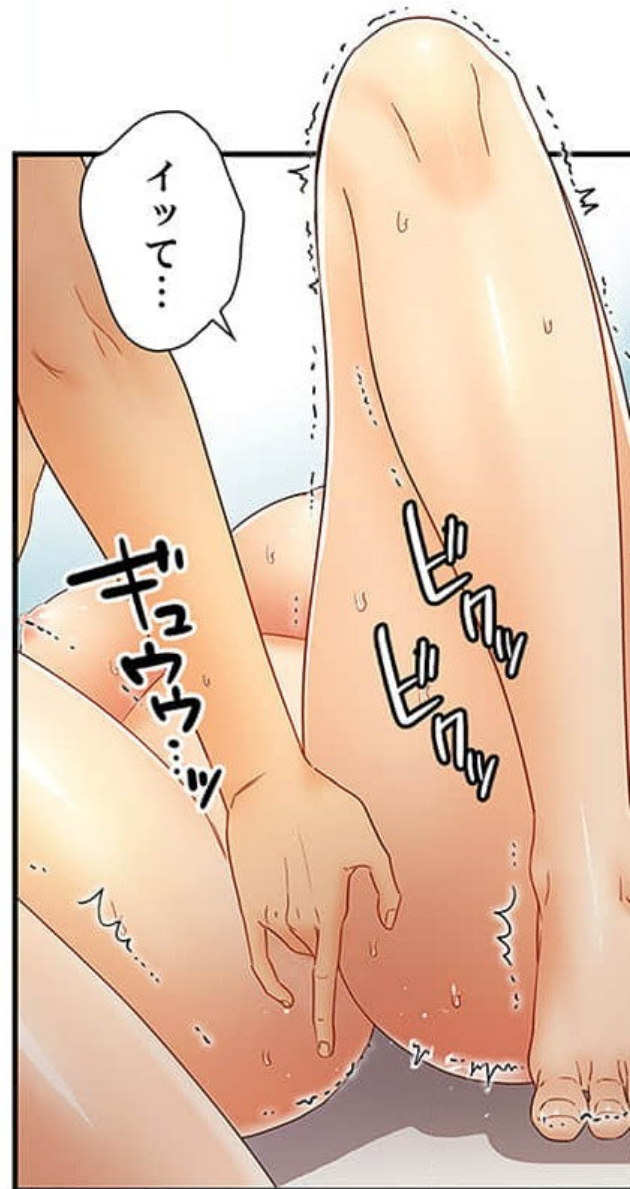


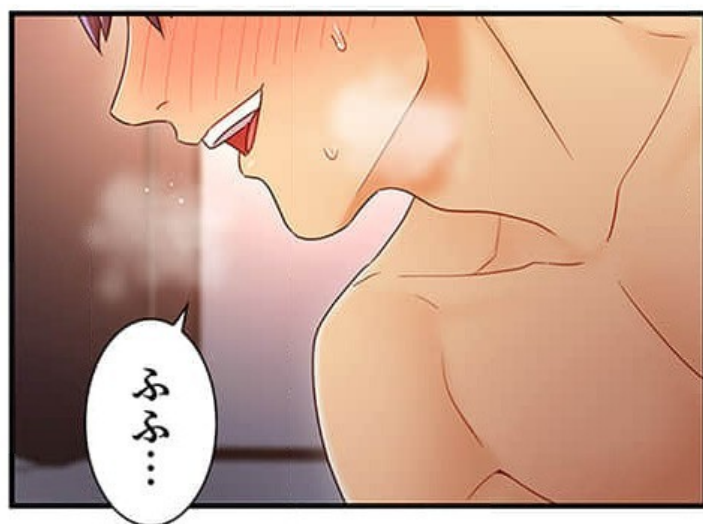
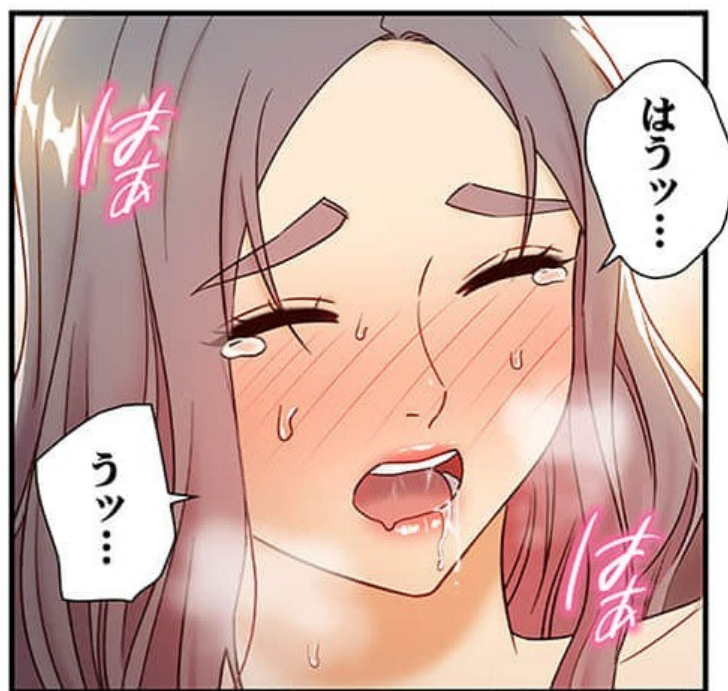












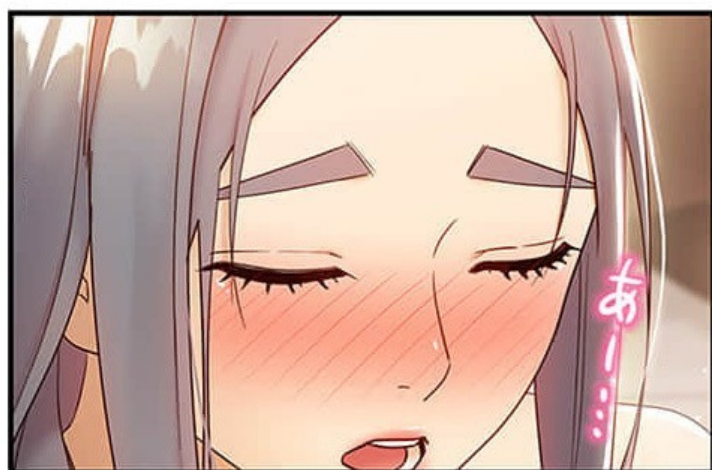
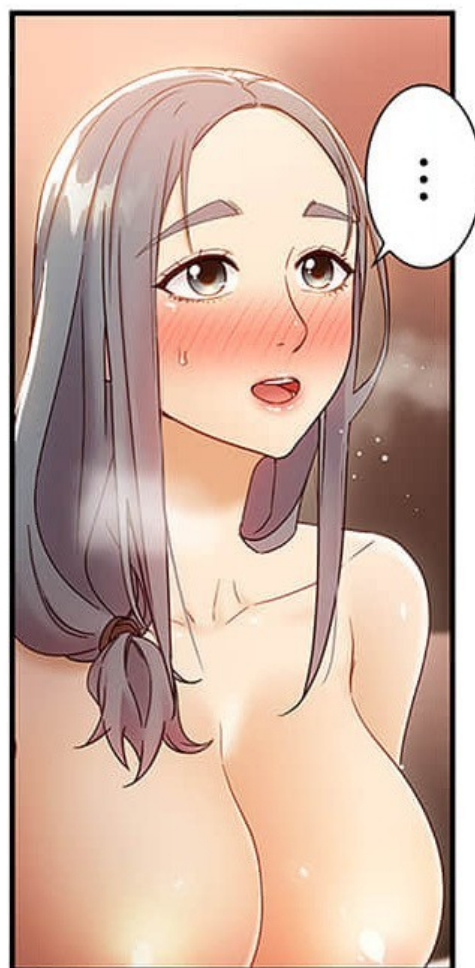
ハーレムXハーレム

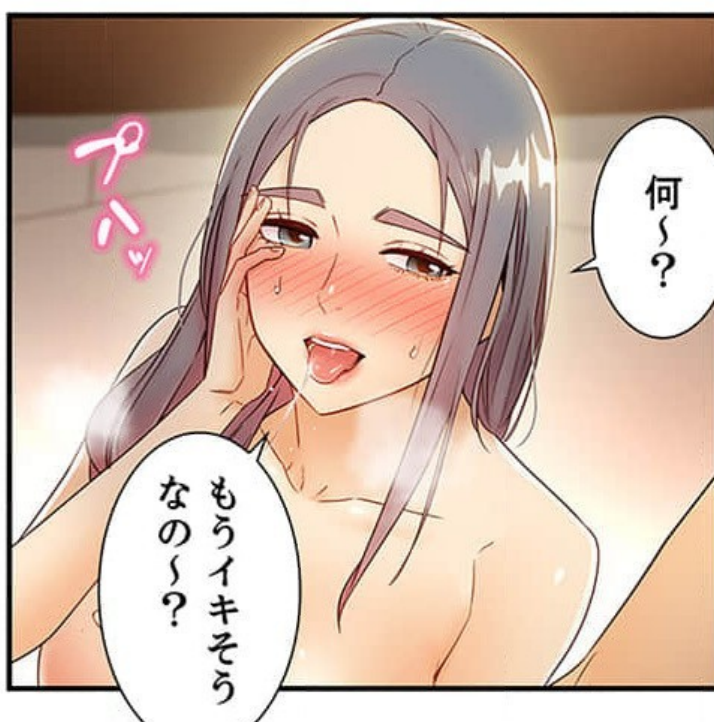
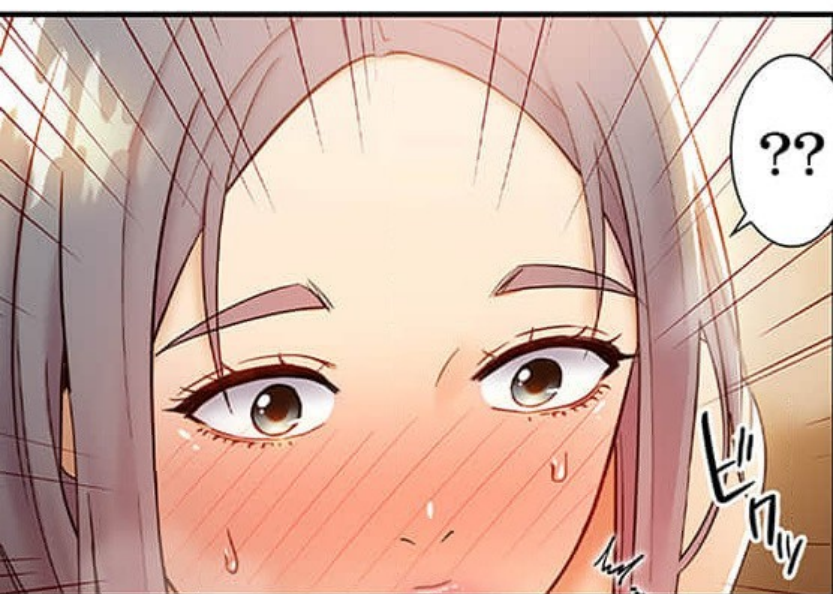
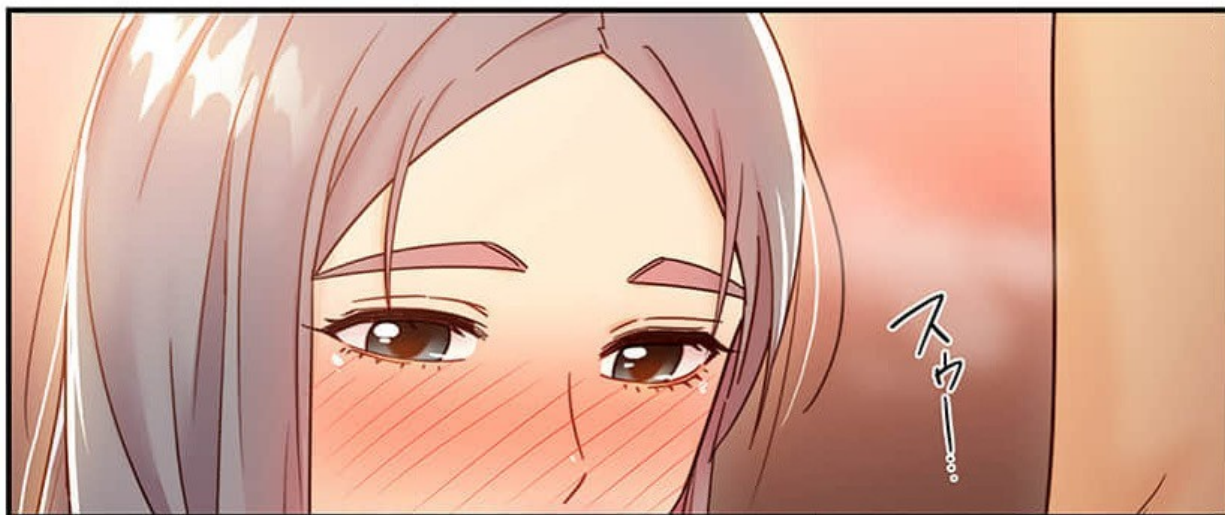
ハーレムXハーレム

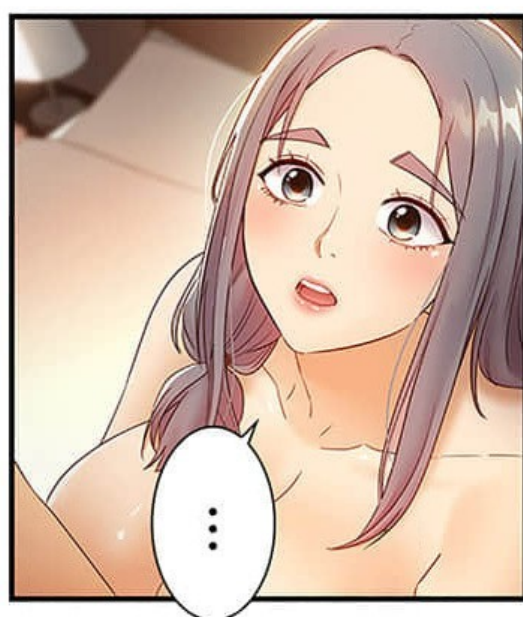
ハーレムXハーレム

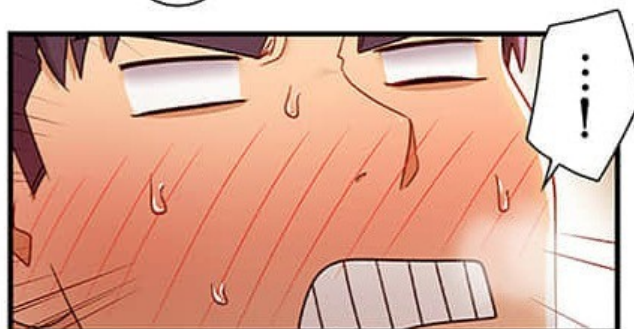
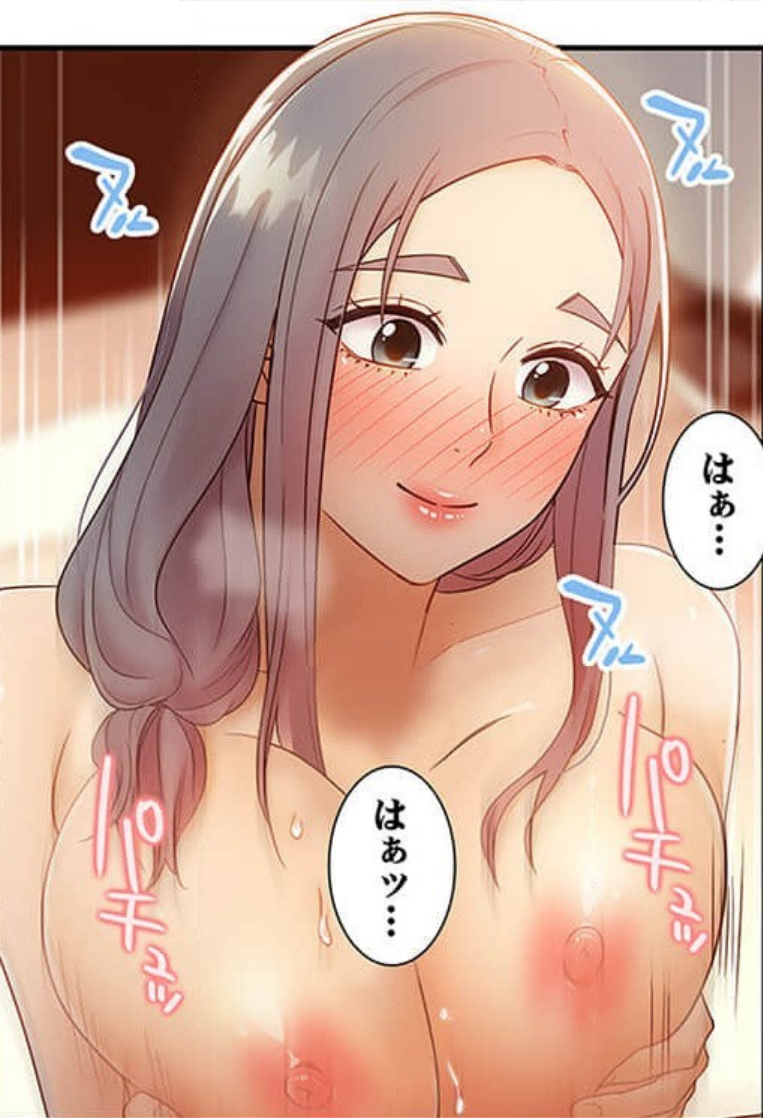
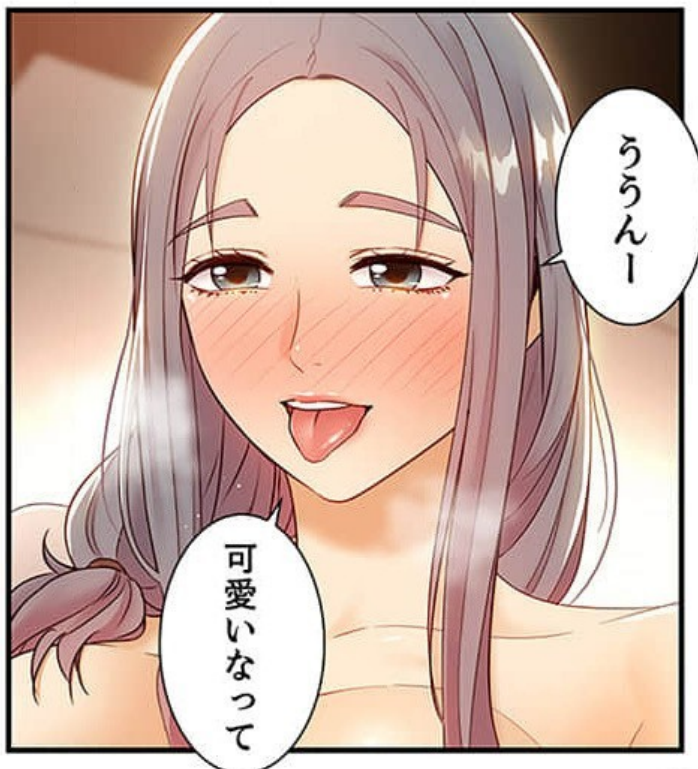
ハーレムXハーレム

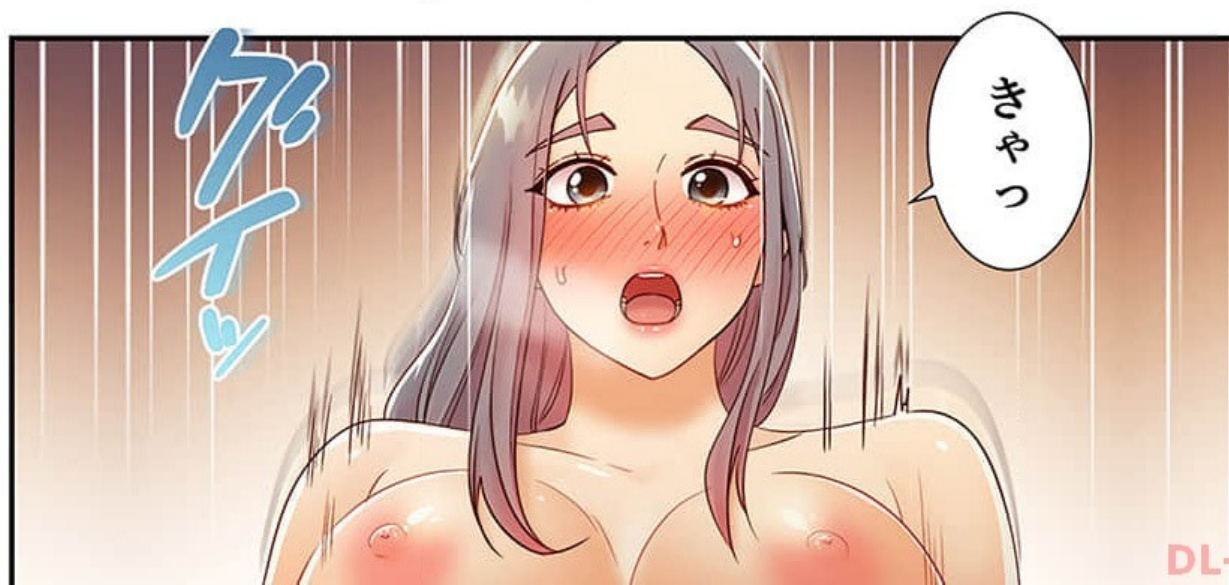
ハーレムXハーレム

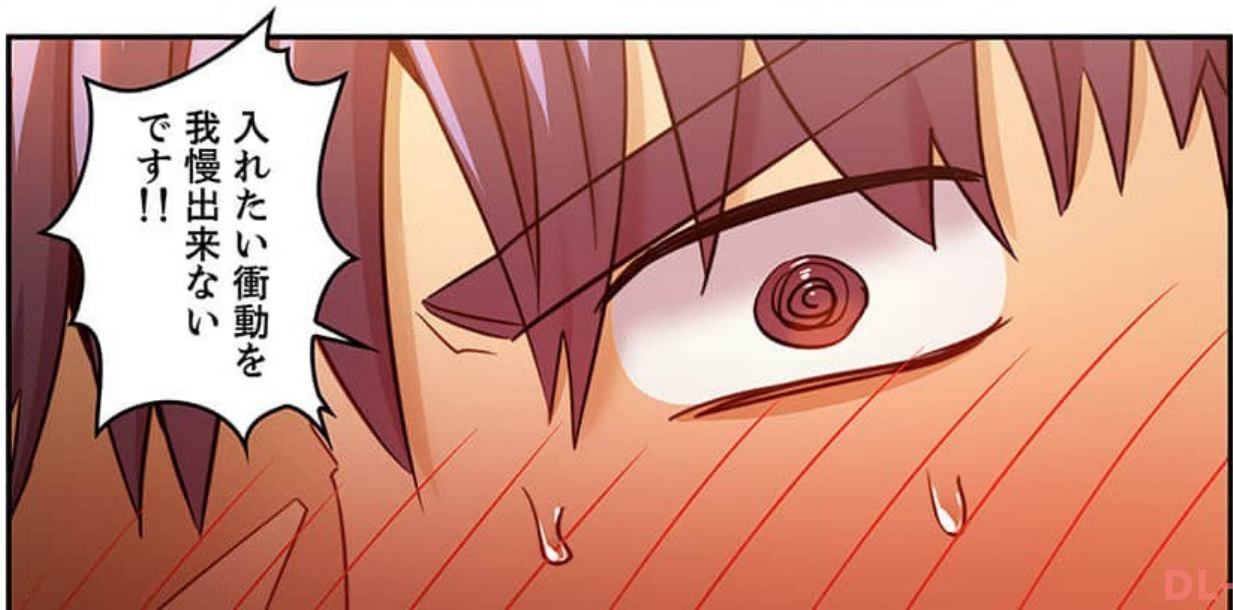


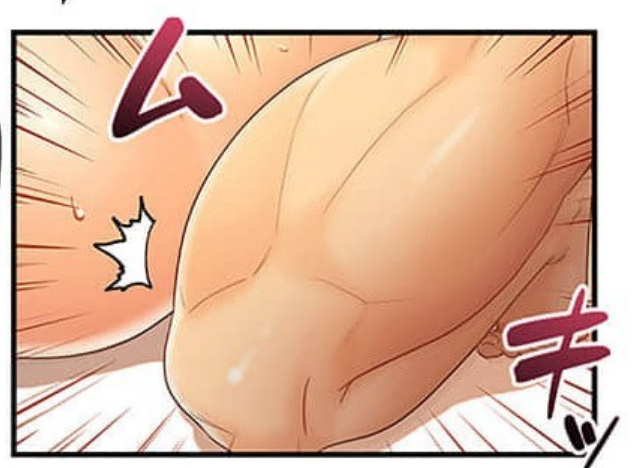
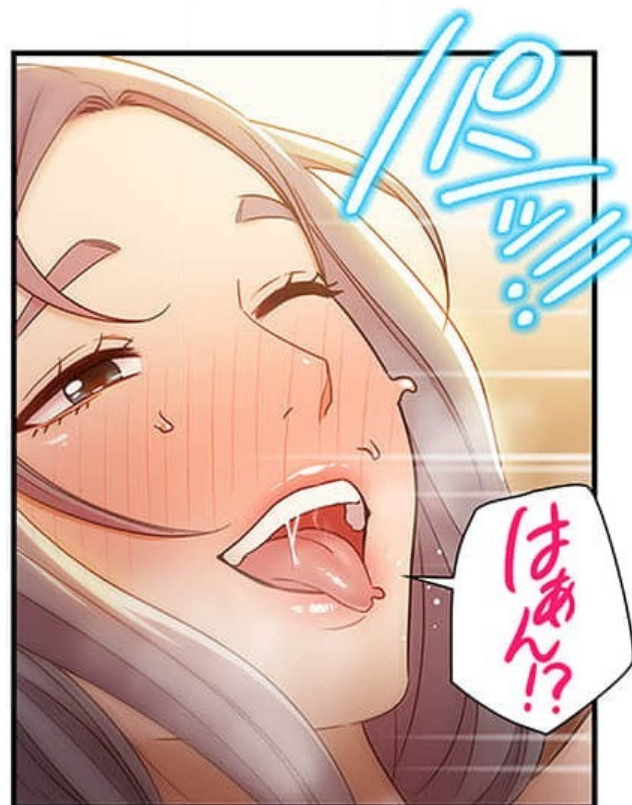
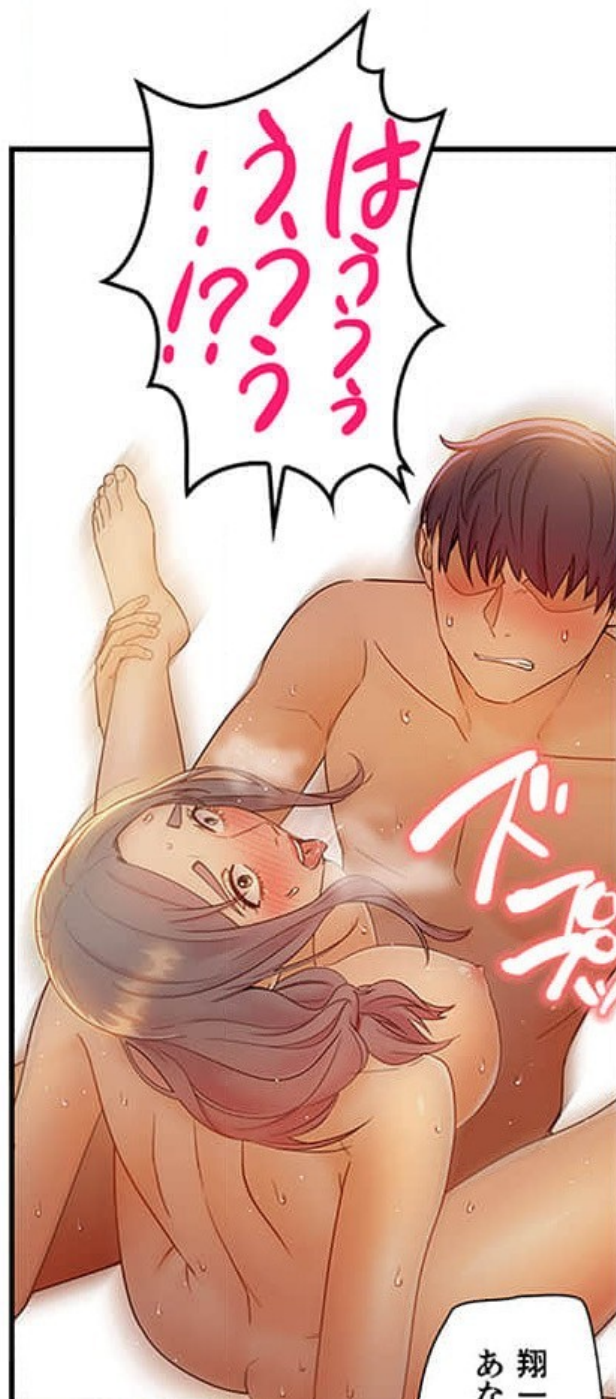




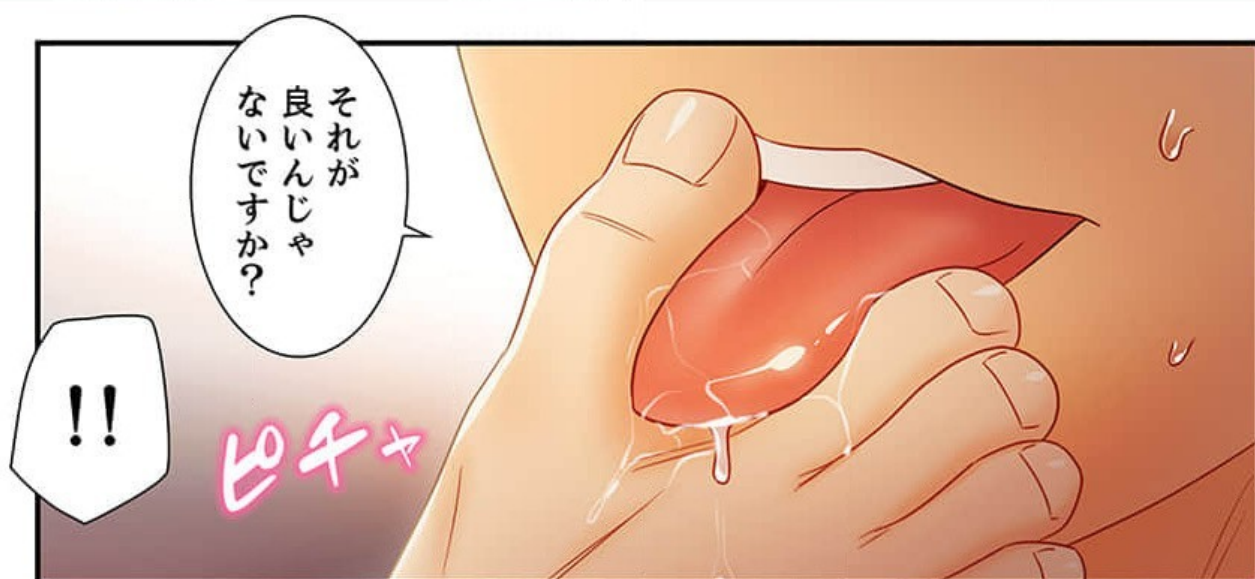
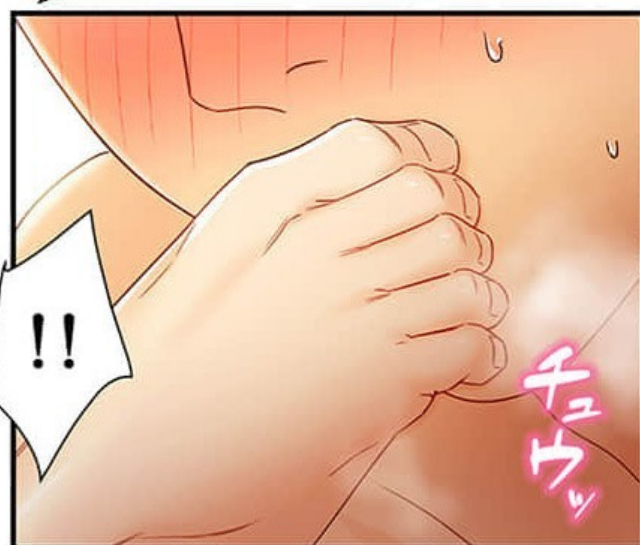


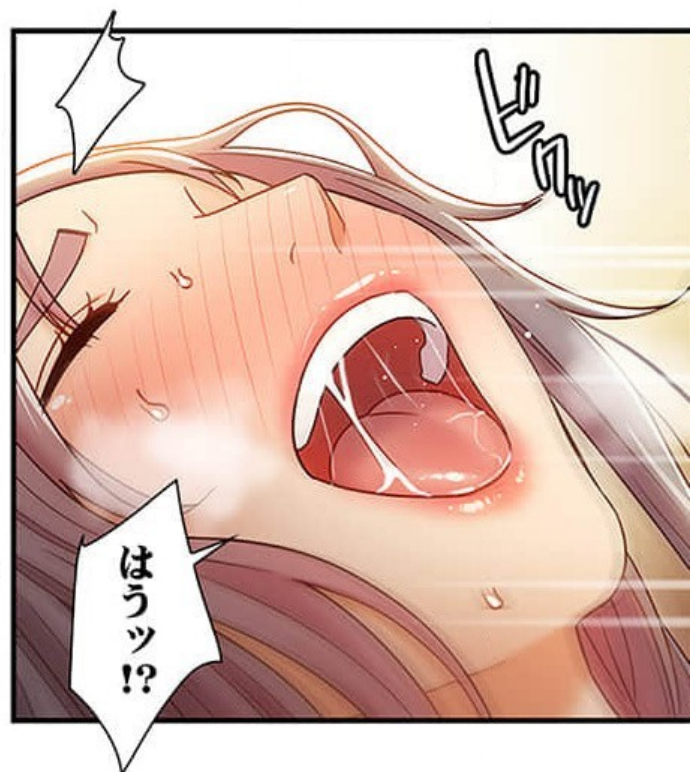


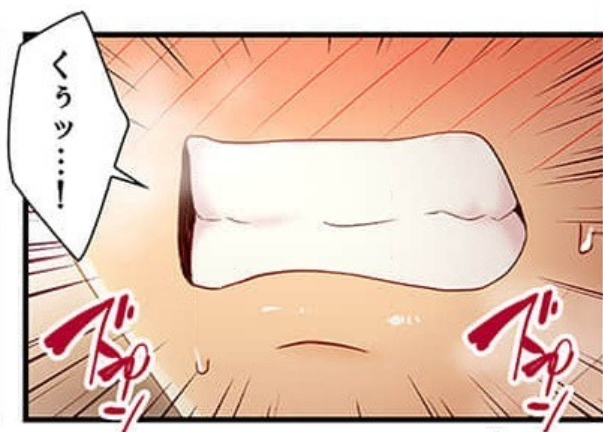
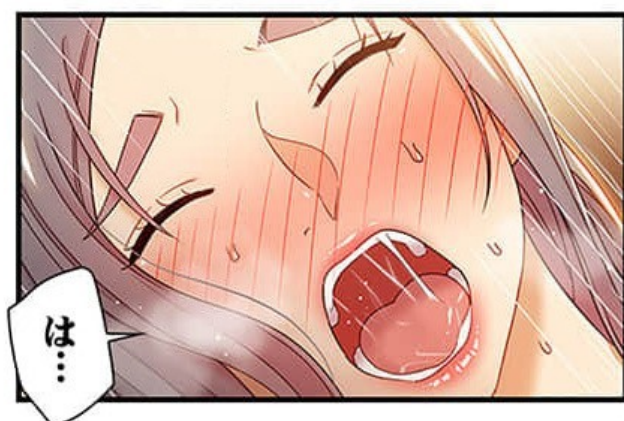
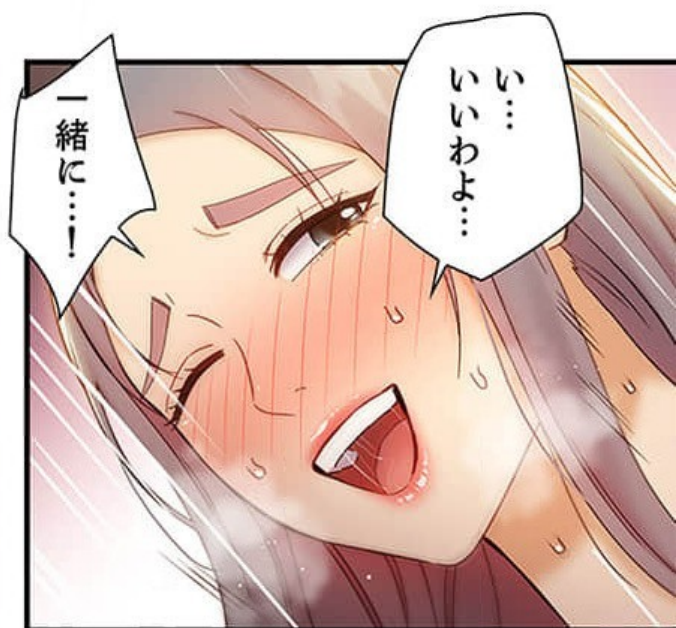
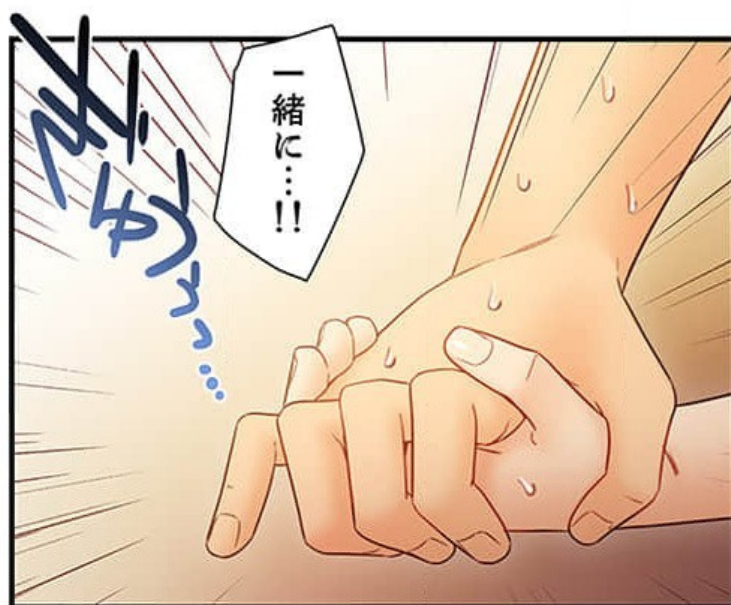


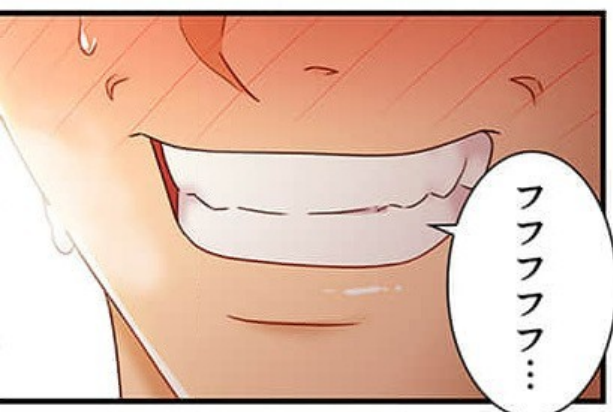


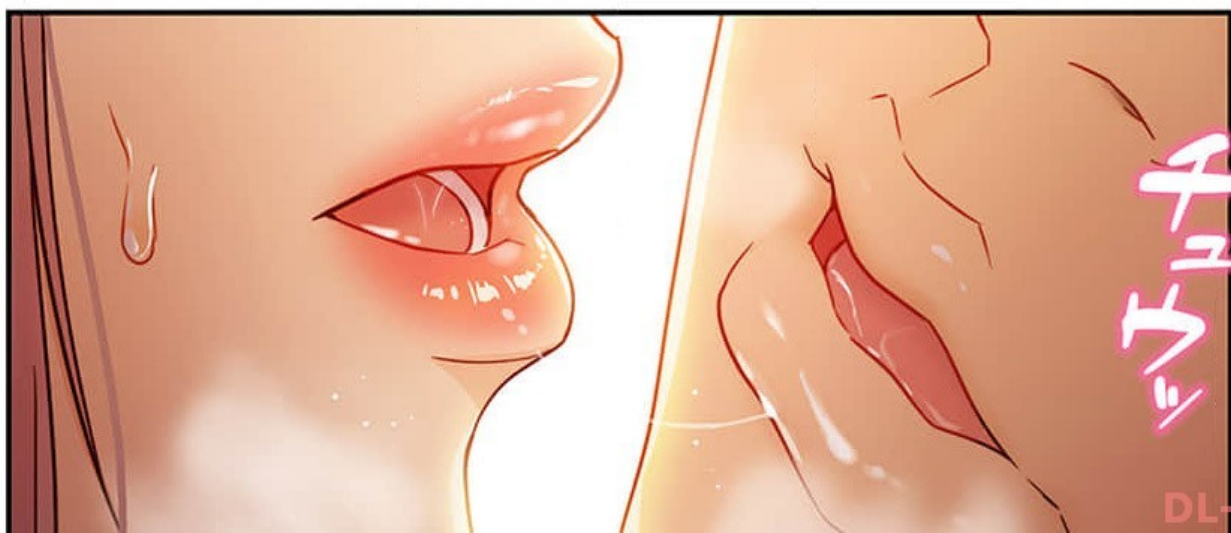
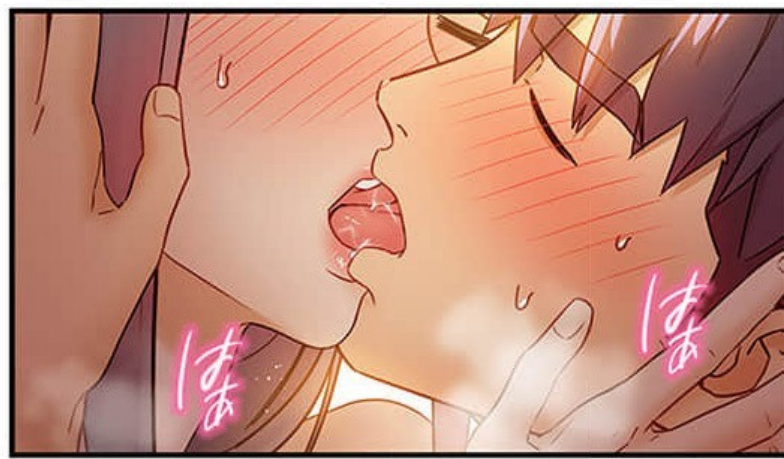
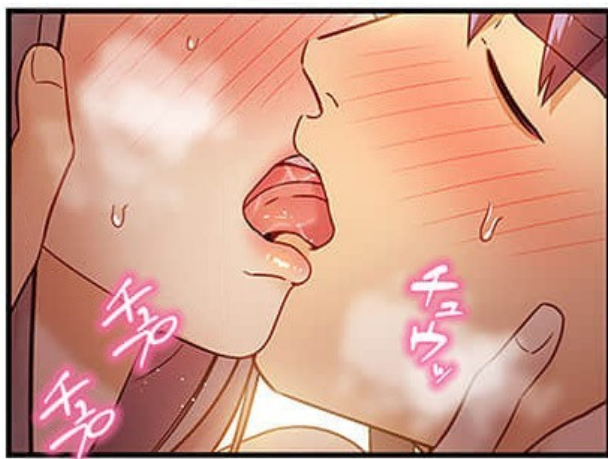
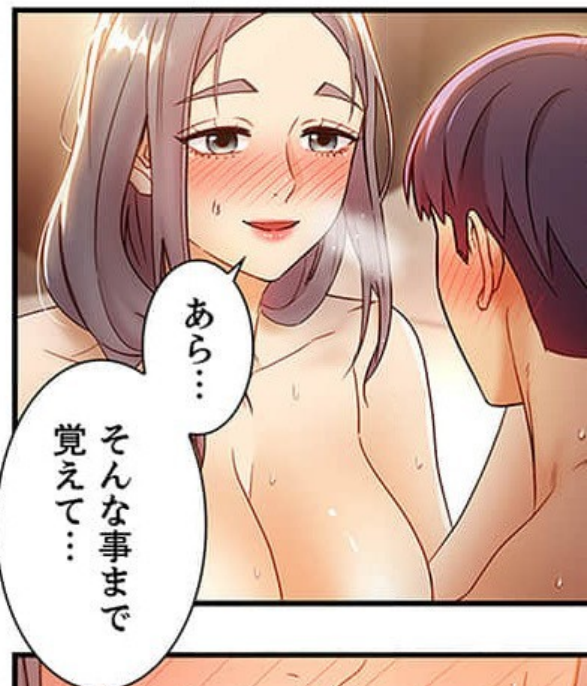
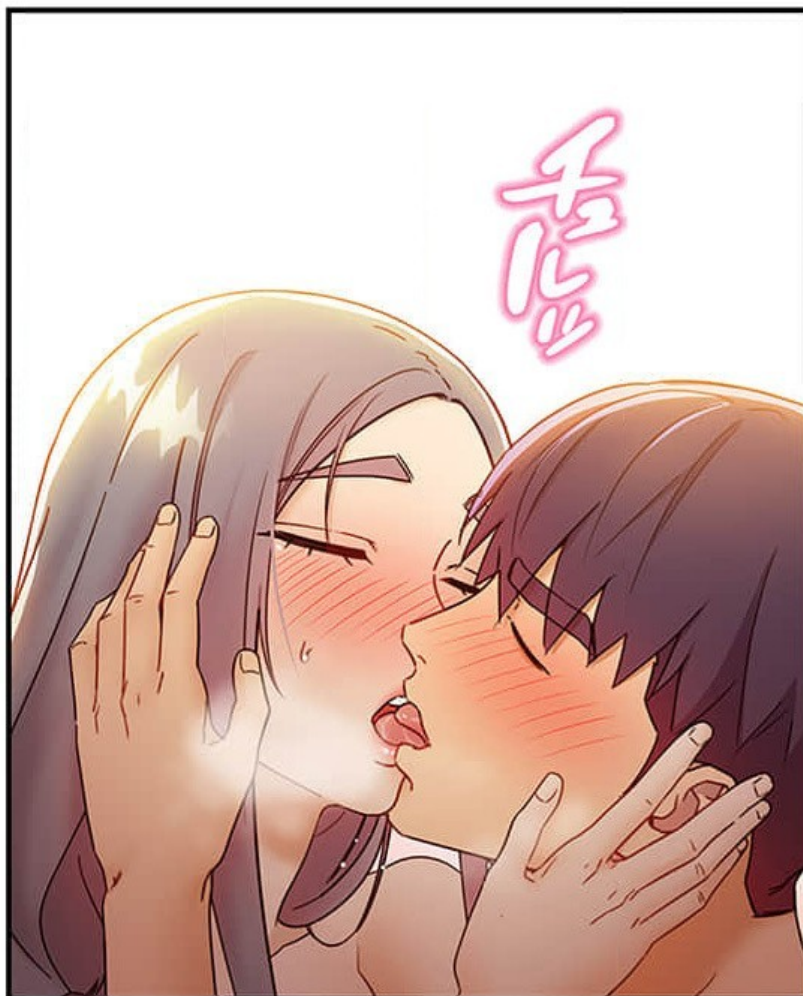
前に
した時より
もっと...
奥の方に
当たって
るわ...















抜かずに
私の中に…

最低3回は
出してね



私が
満足するまで
してくれるって
言ったわよね？

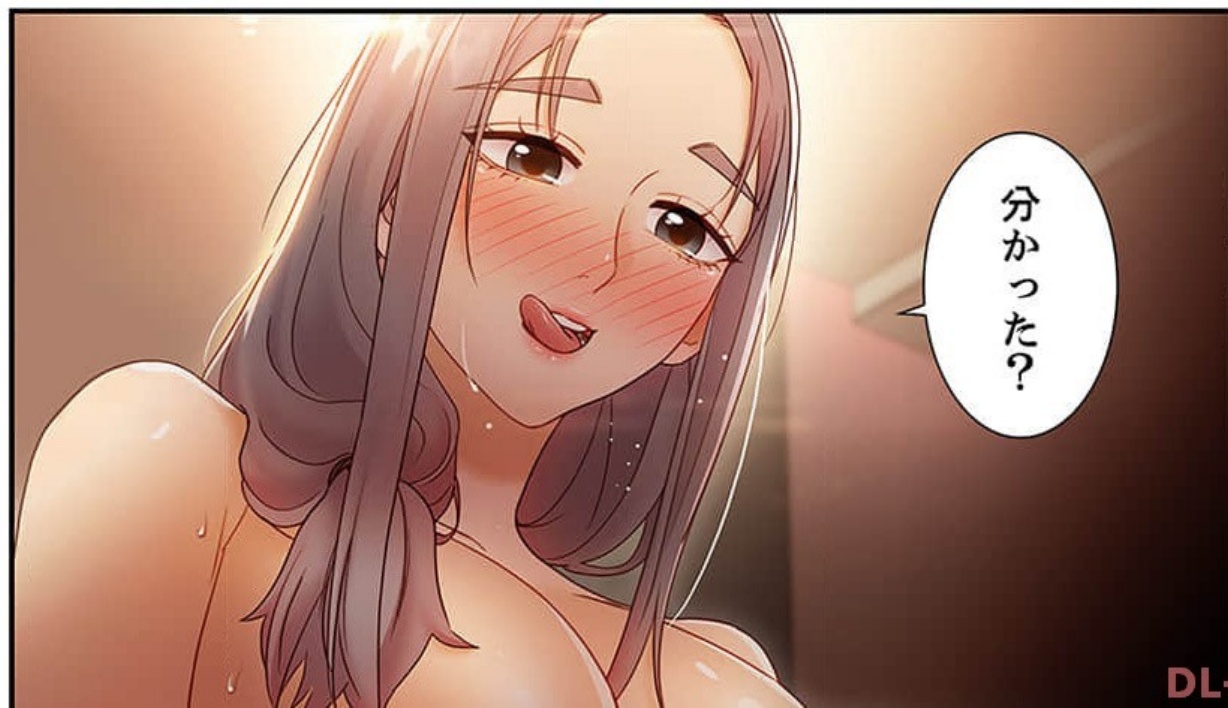
スッ

だから…

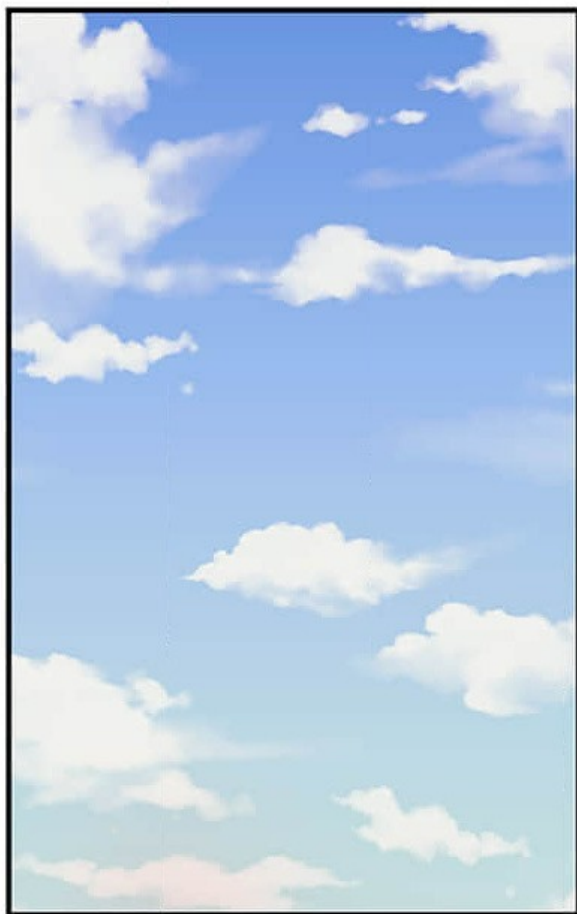
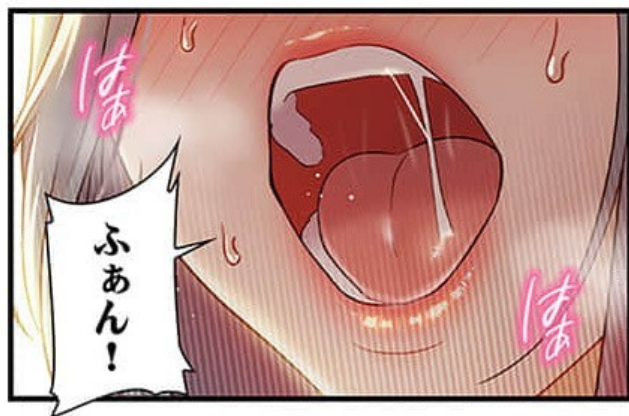
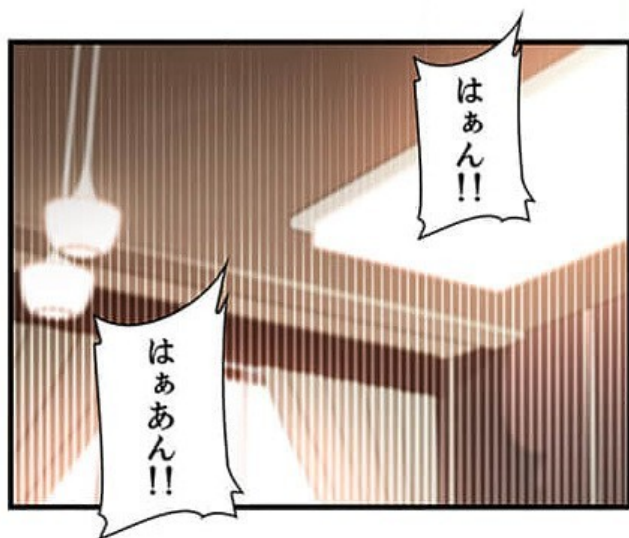


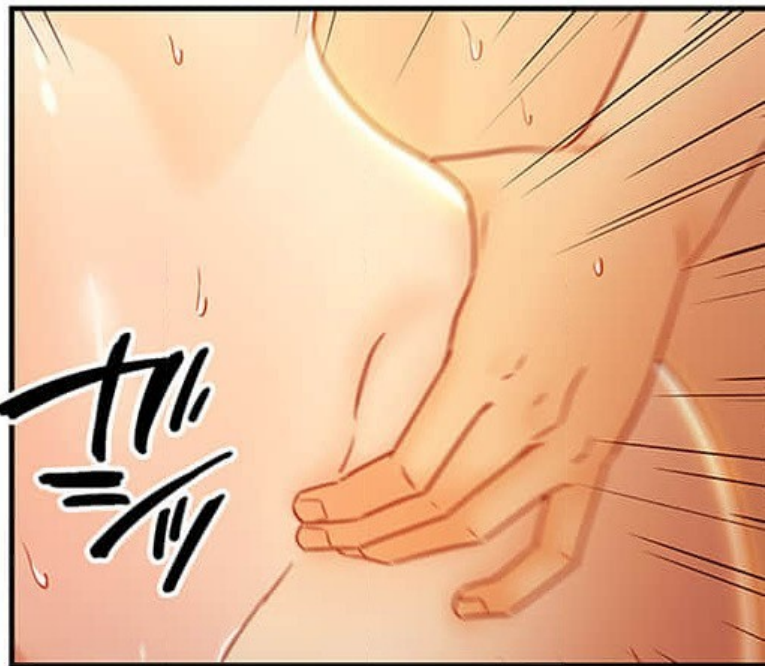
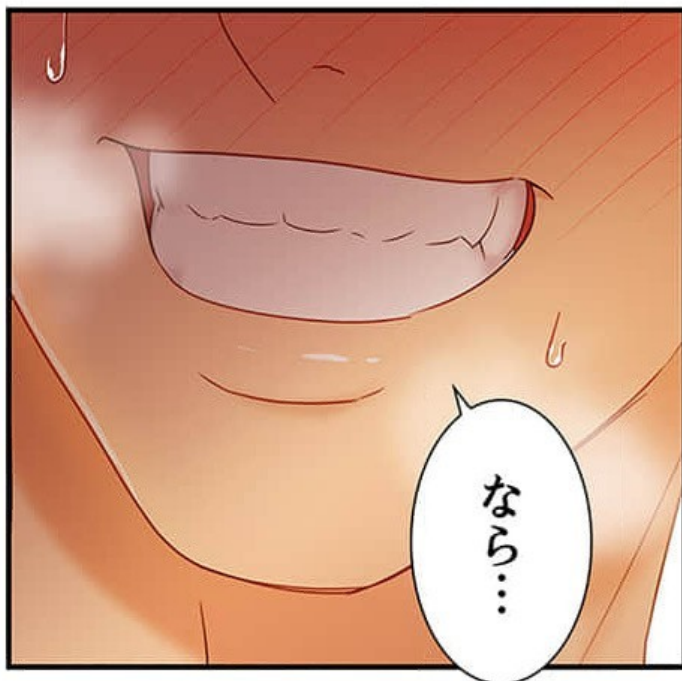
…

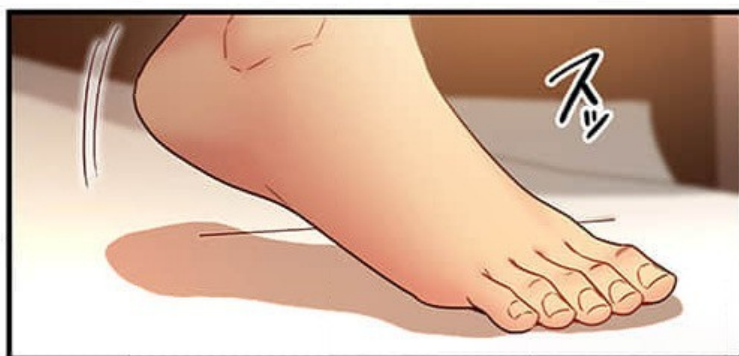
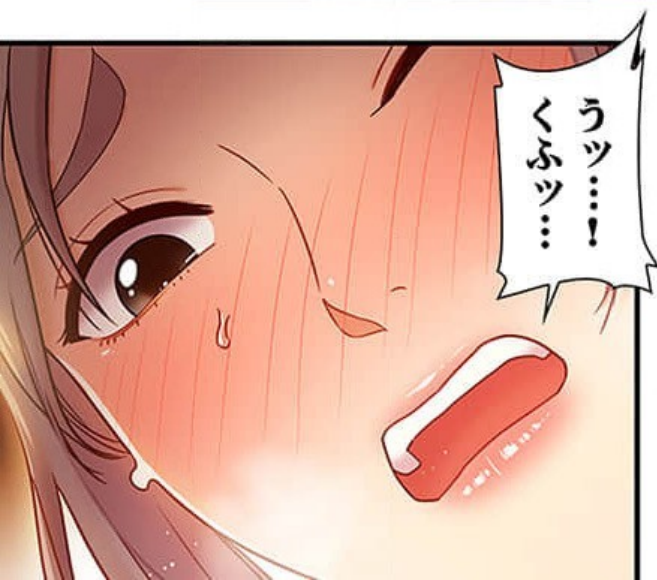
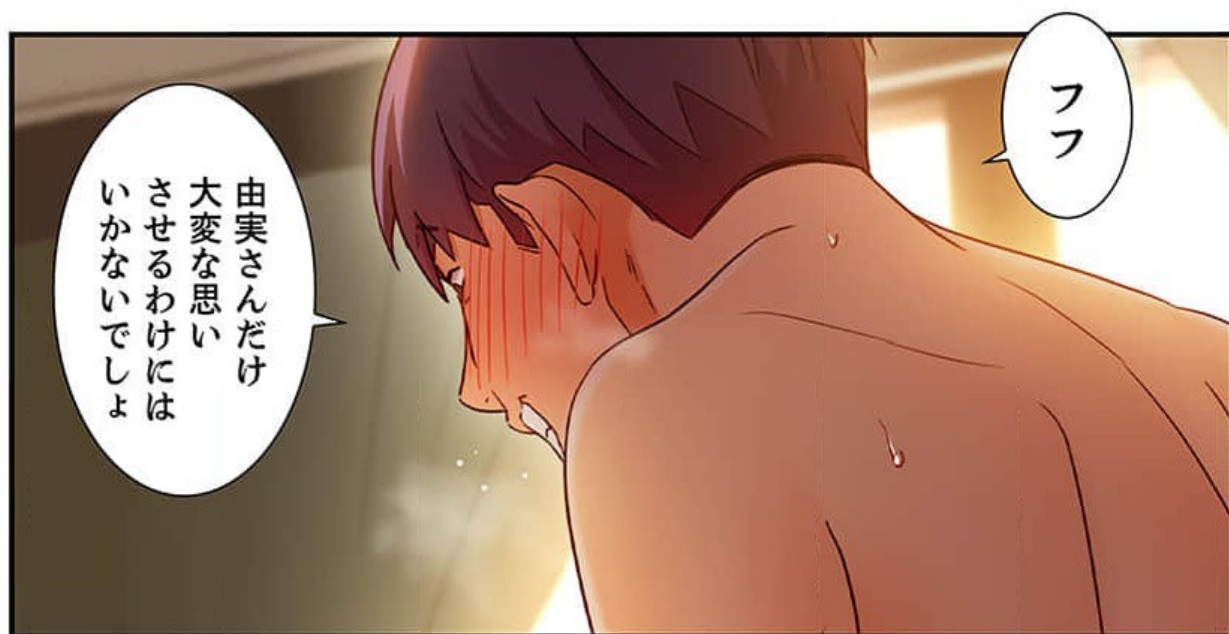
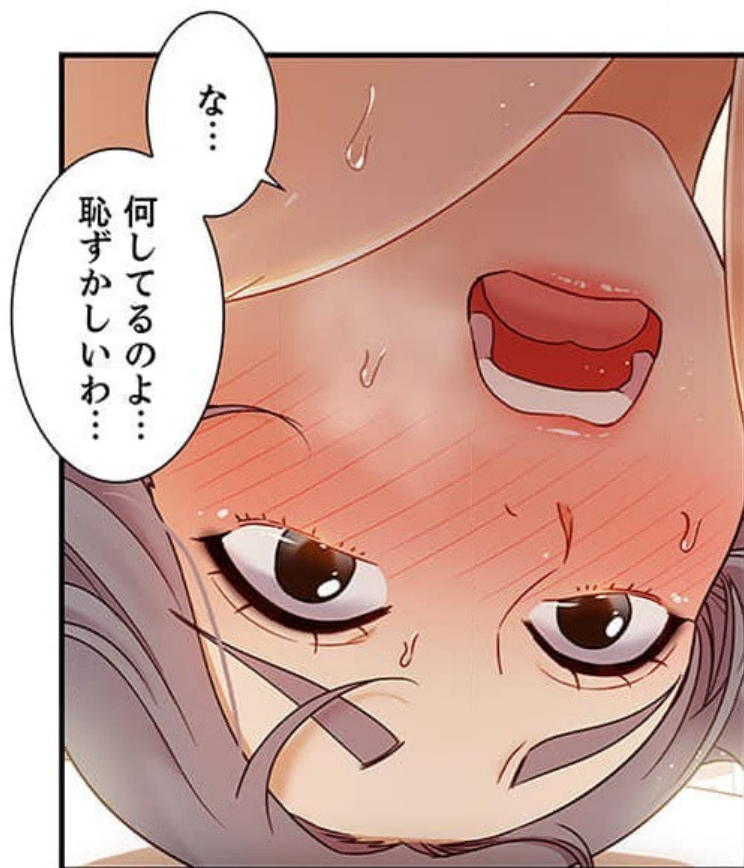
フクッ

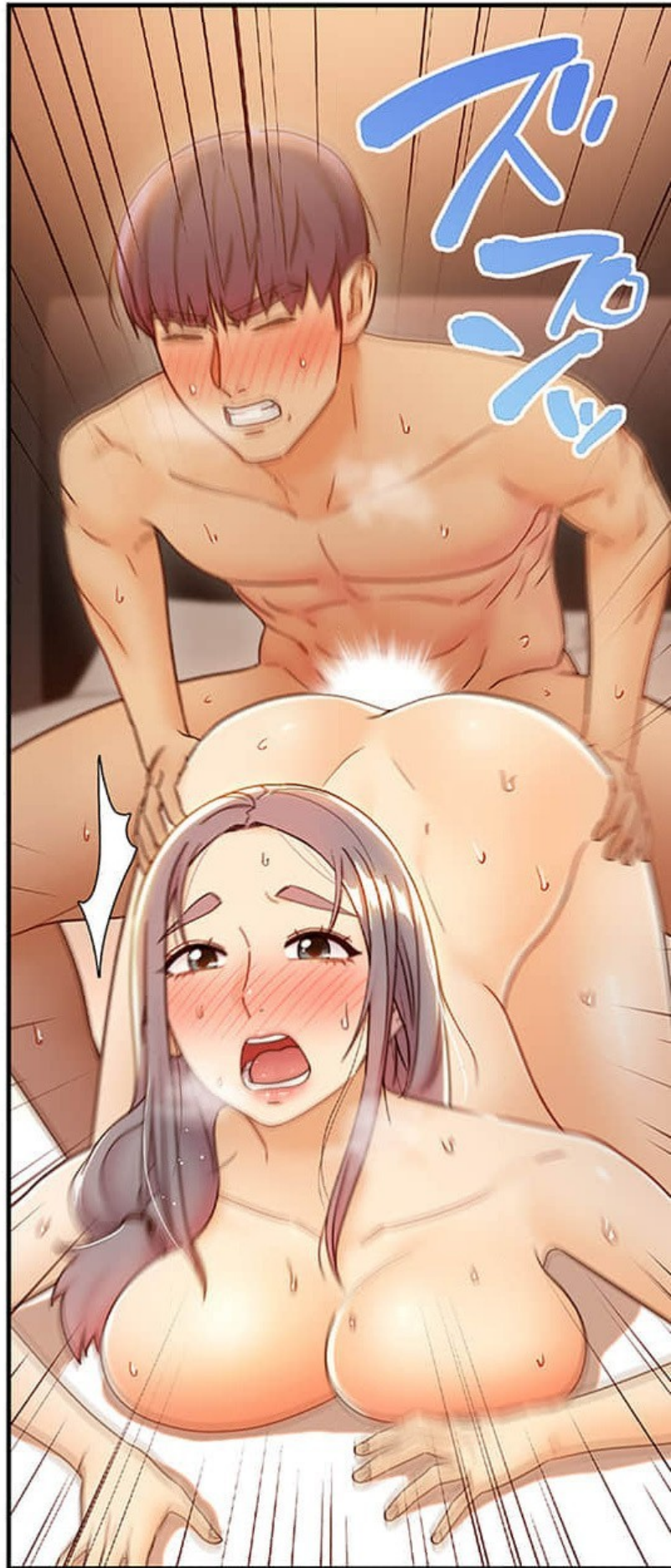
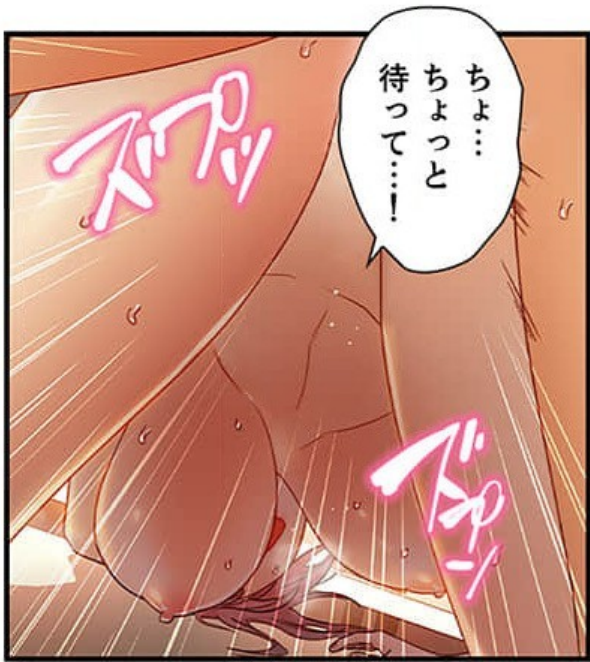
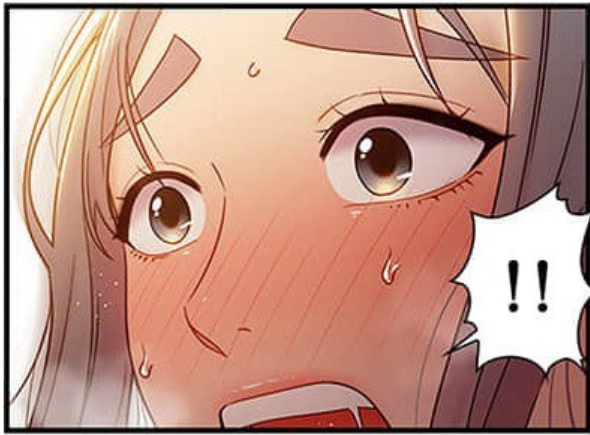


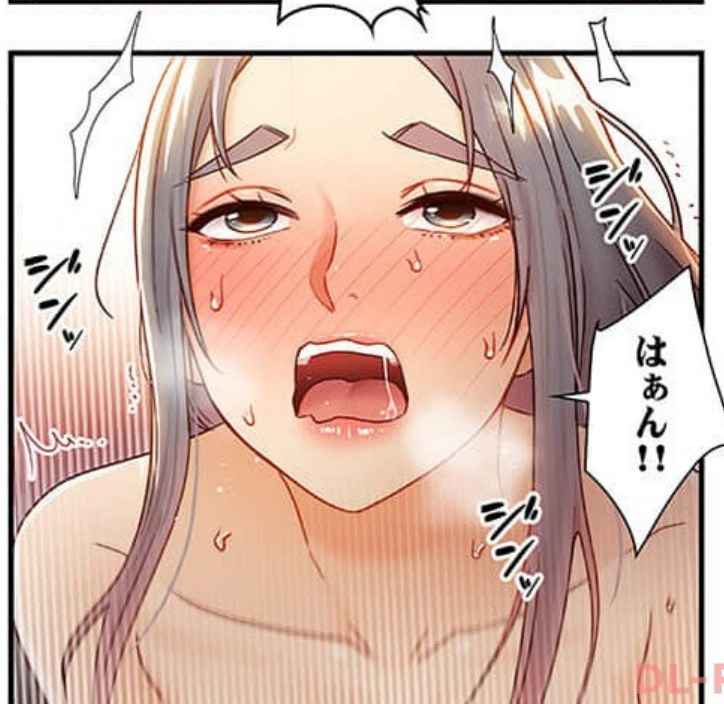
分かった？

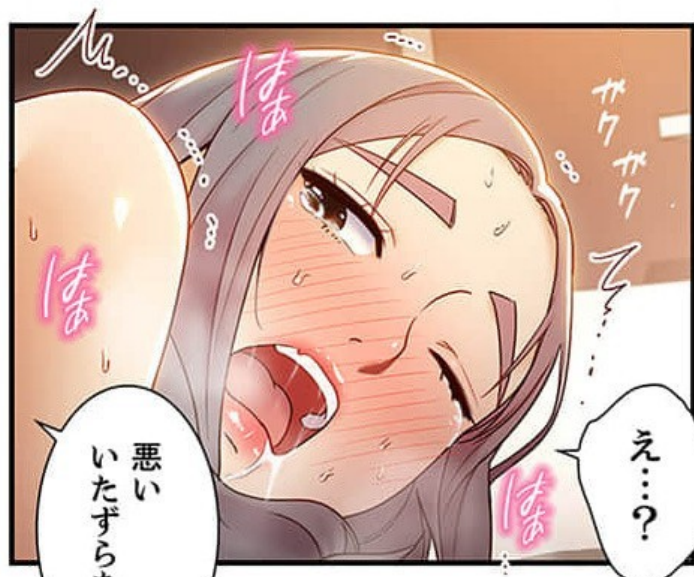




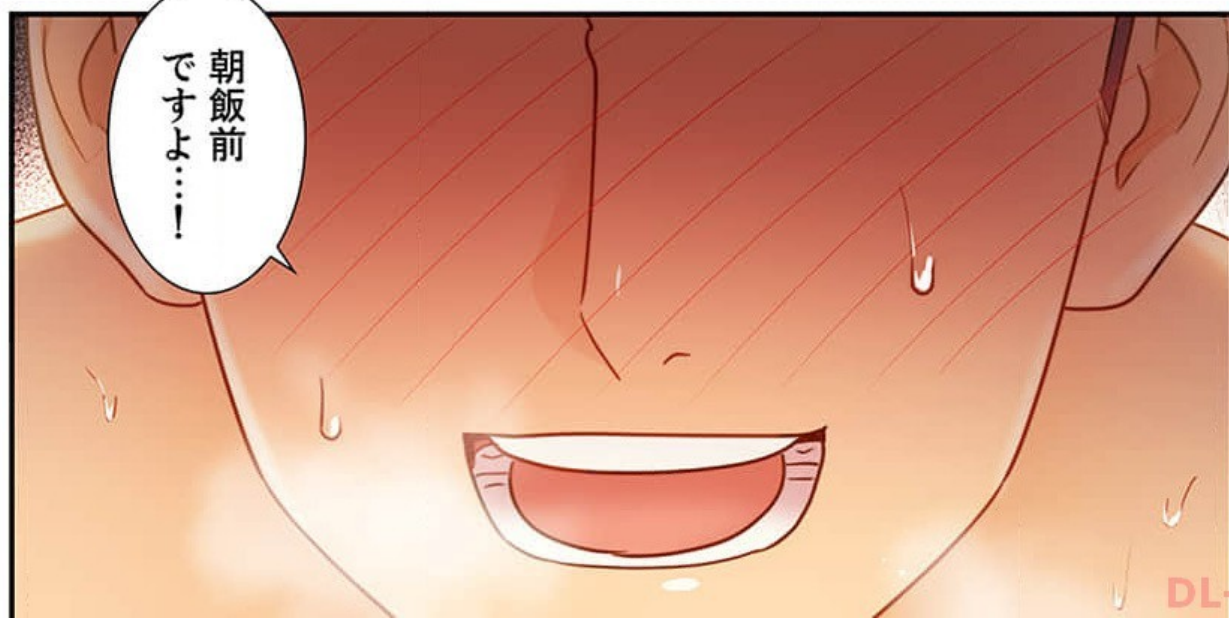
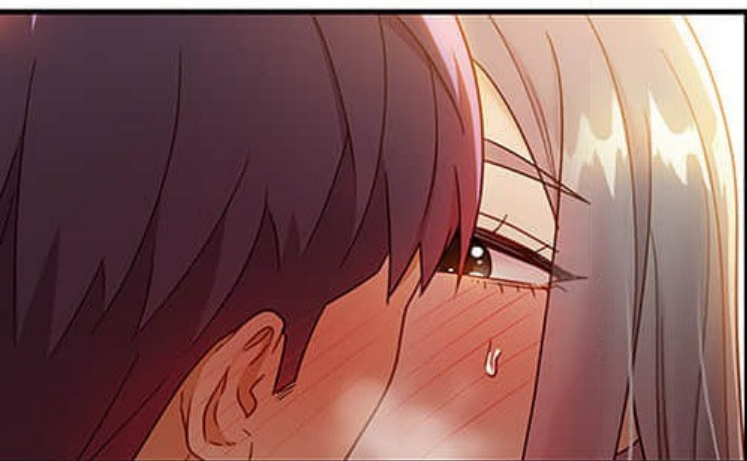


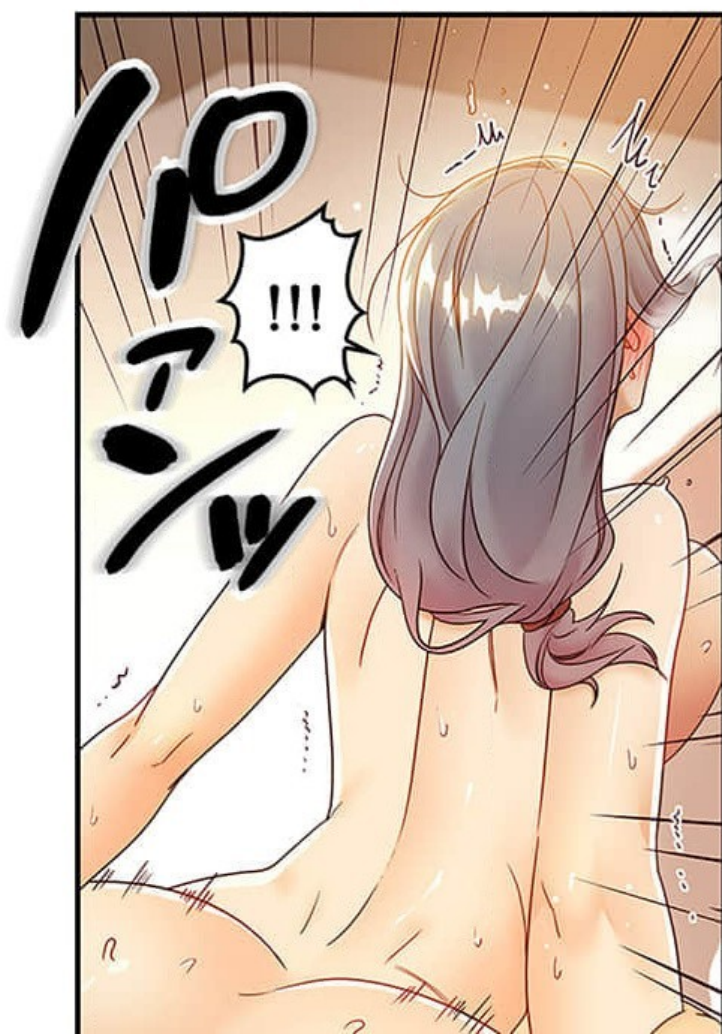
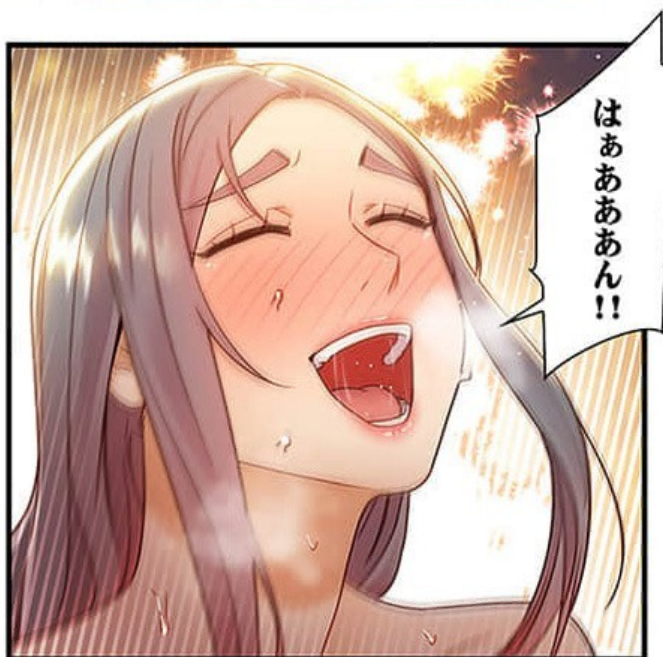


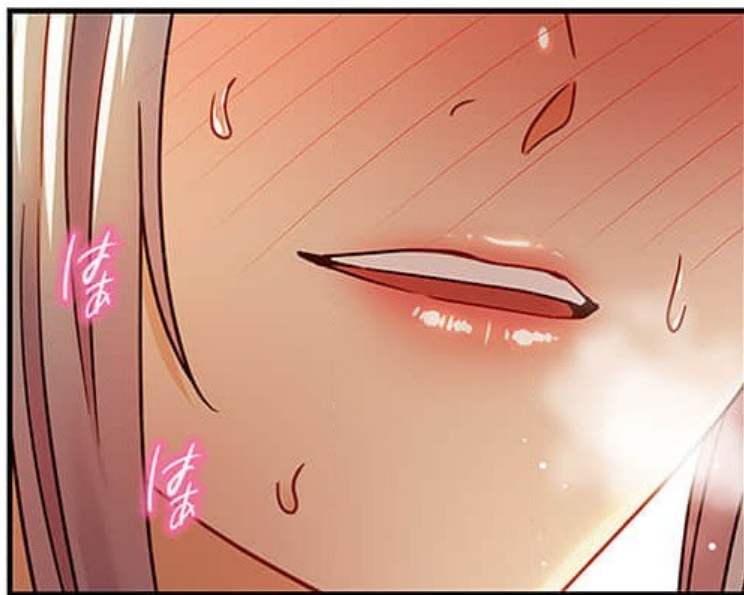
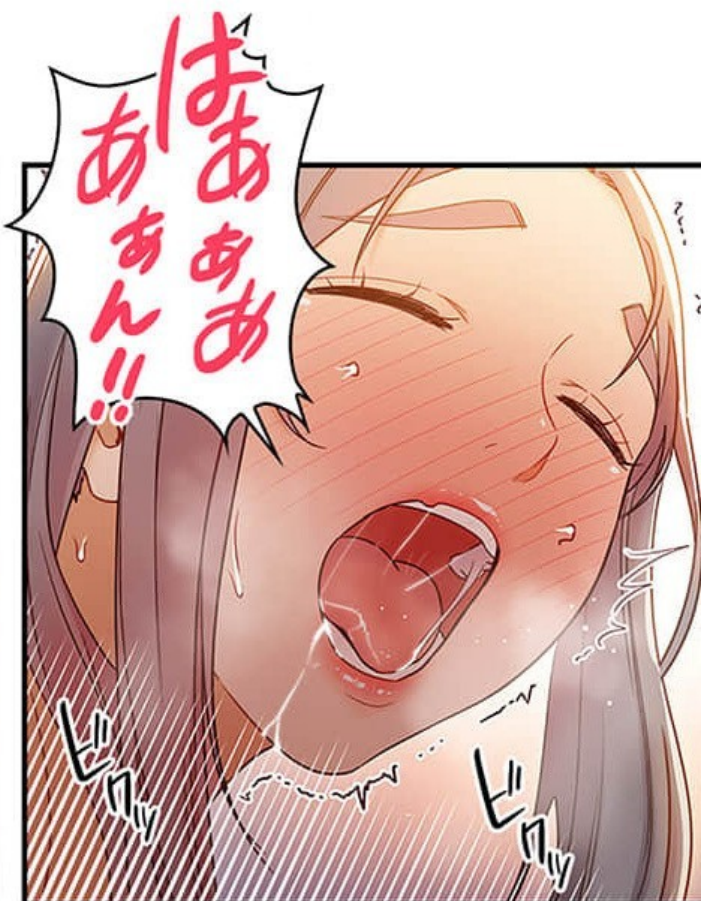


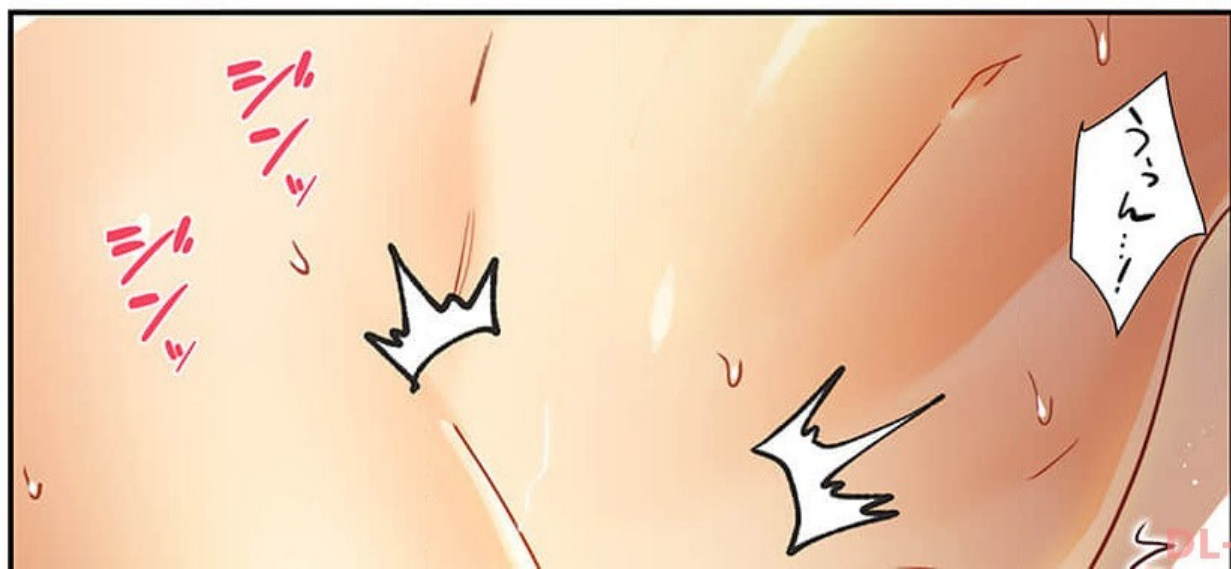
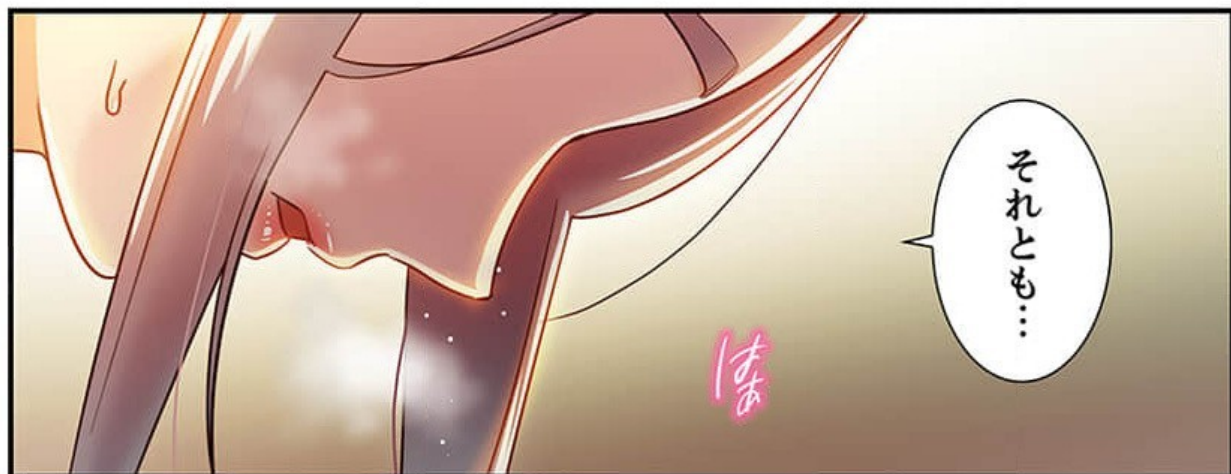


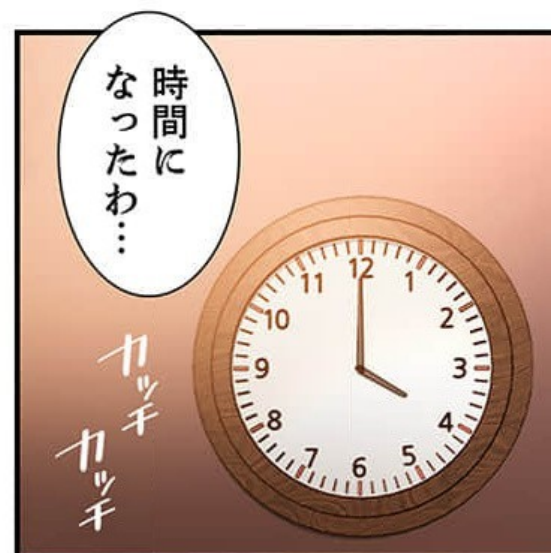


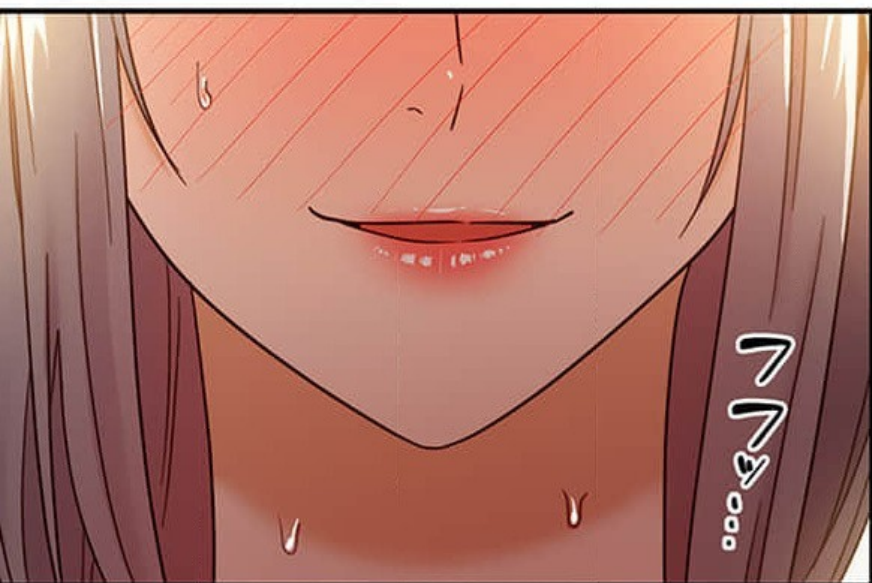














ルーム
サービスで
ワインでも
飲んで…



けど…

運動してる間
ずっとご無沙汰
だったのに…



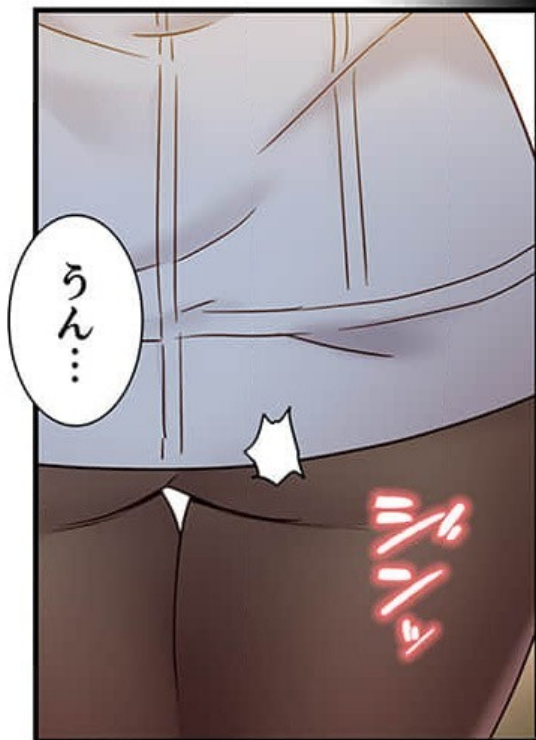
こんな所に
呼ぶなんて…

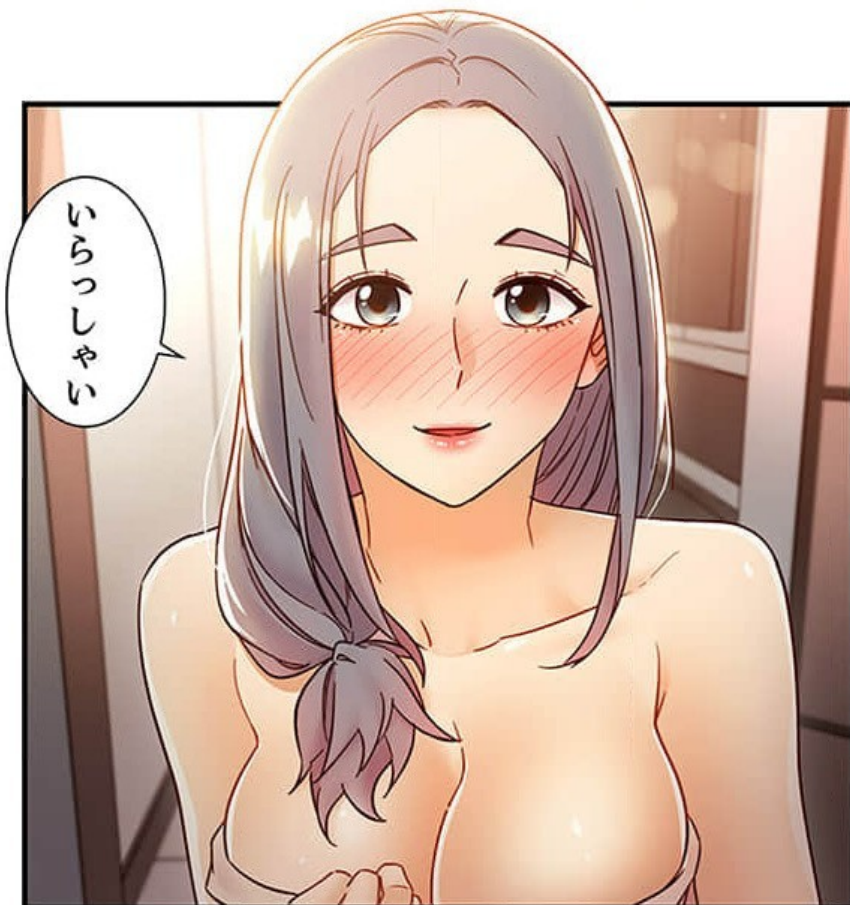
ふう…
愛華さんの
為に3週間
我慢したら

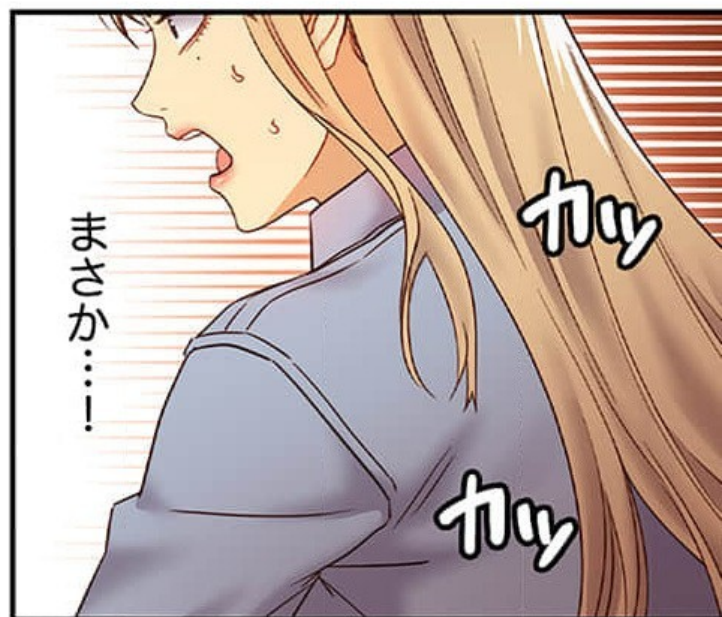
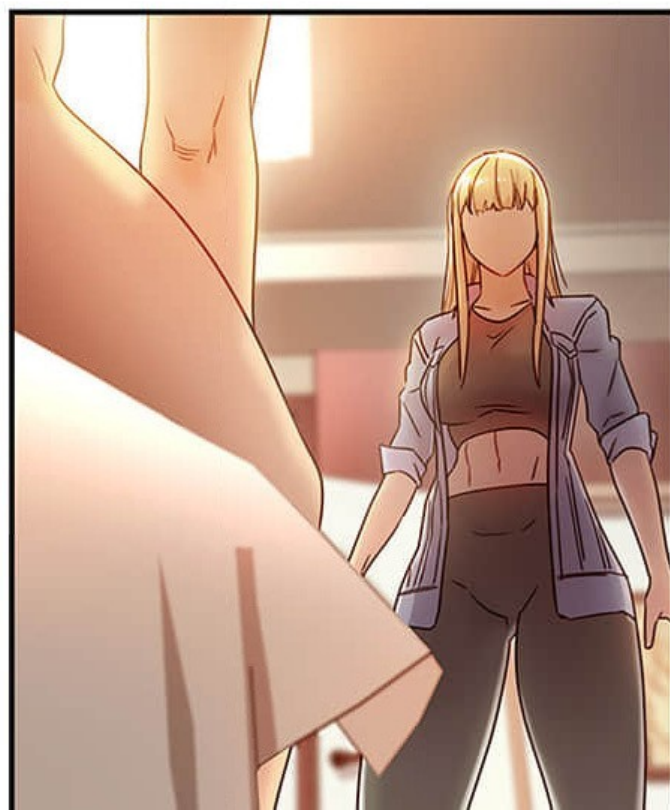
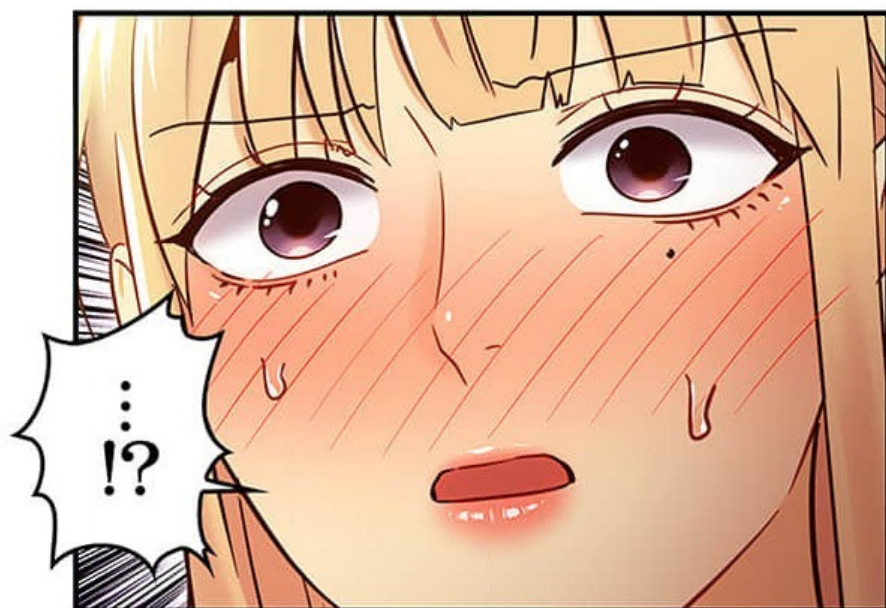
こんな事も
出来るように
なりました

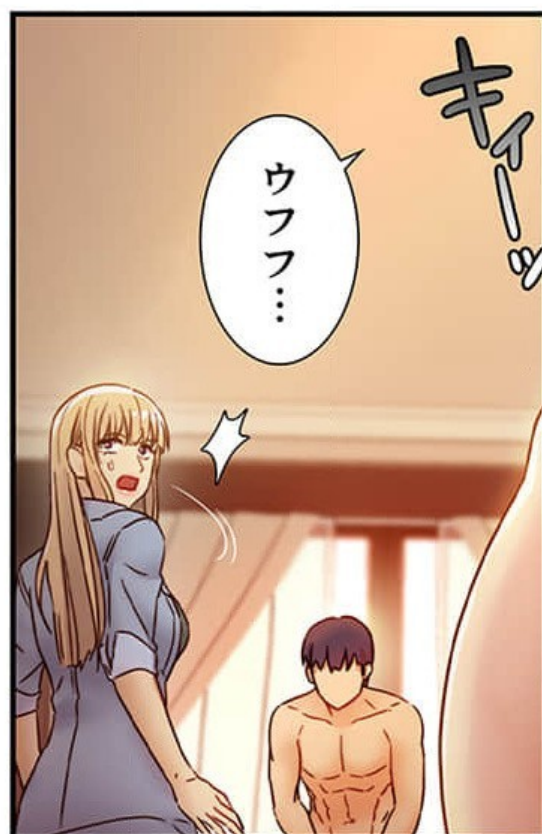
まあっ…

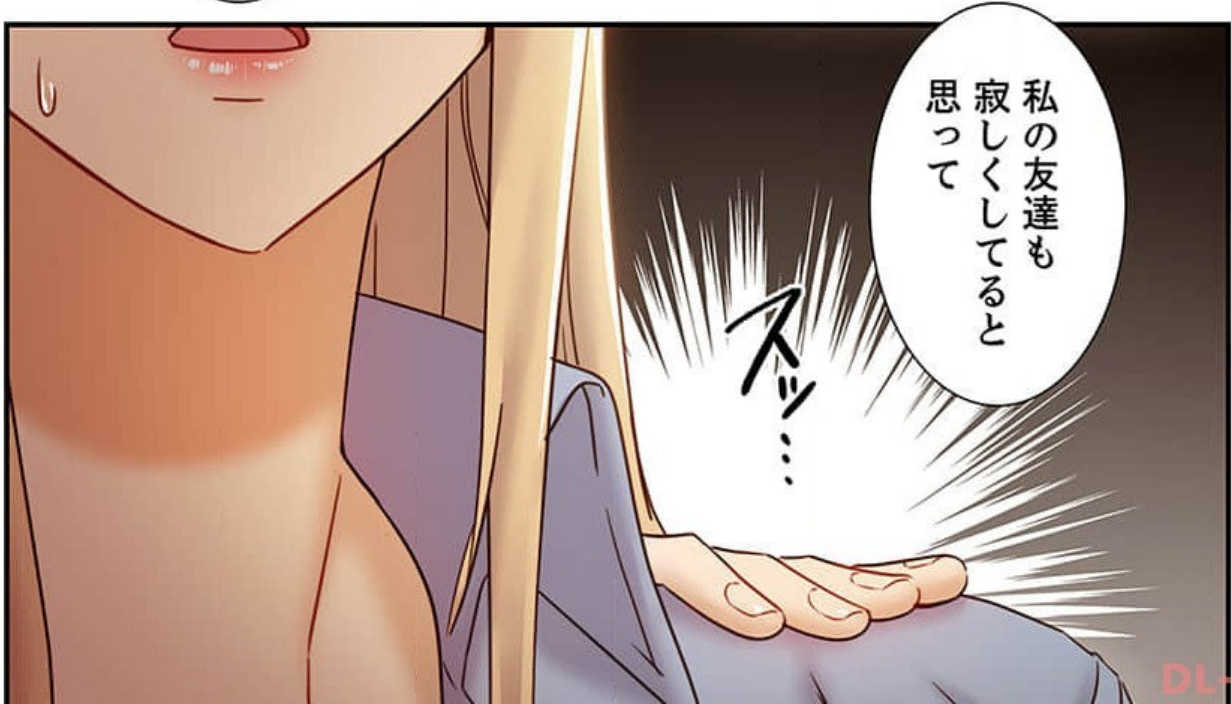
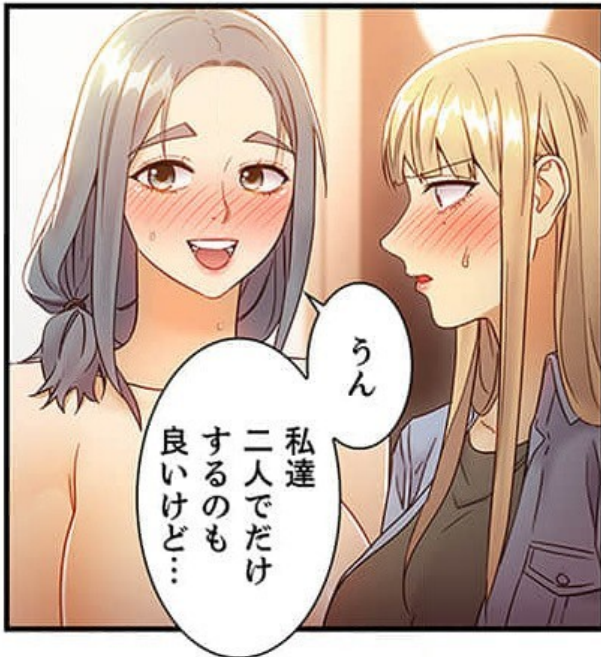
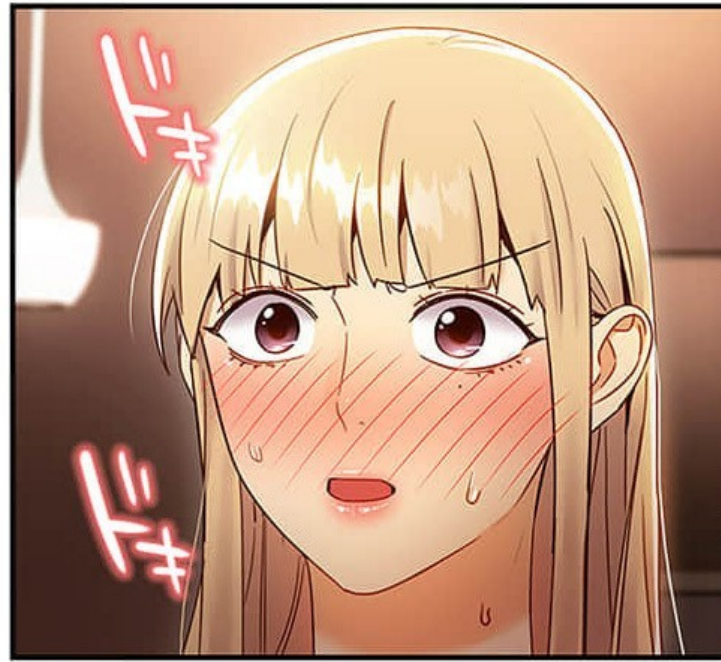


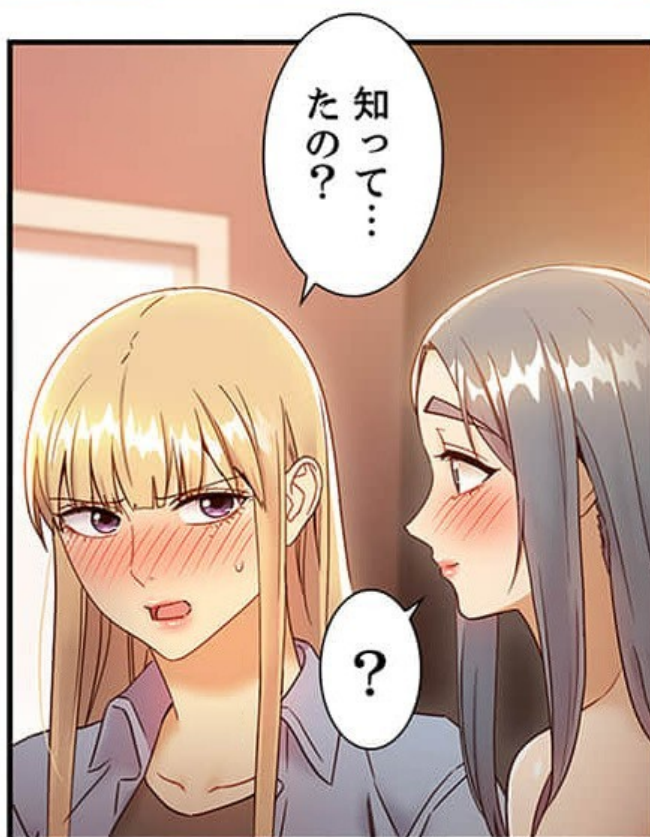
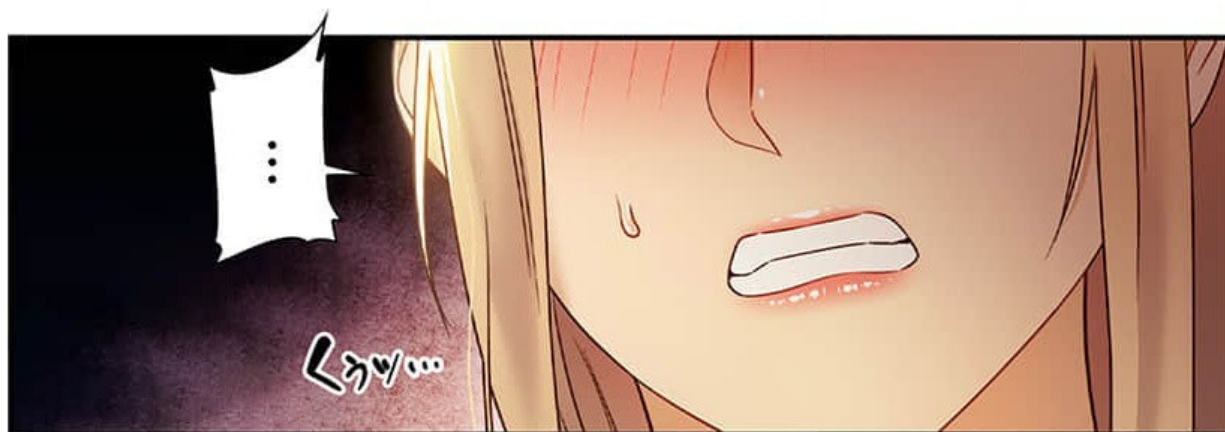
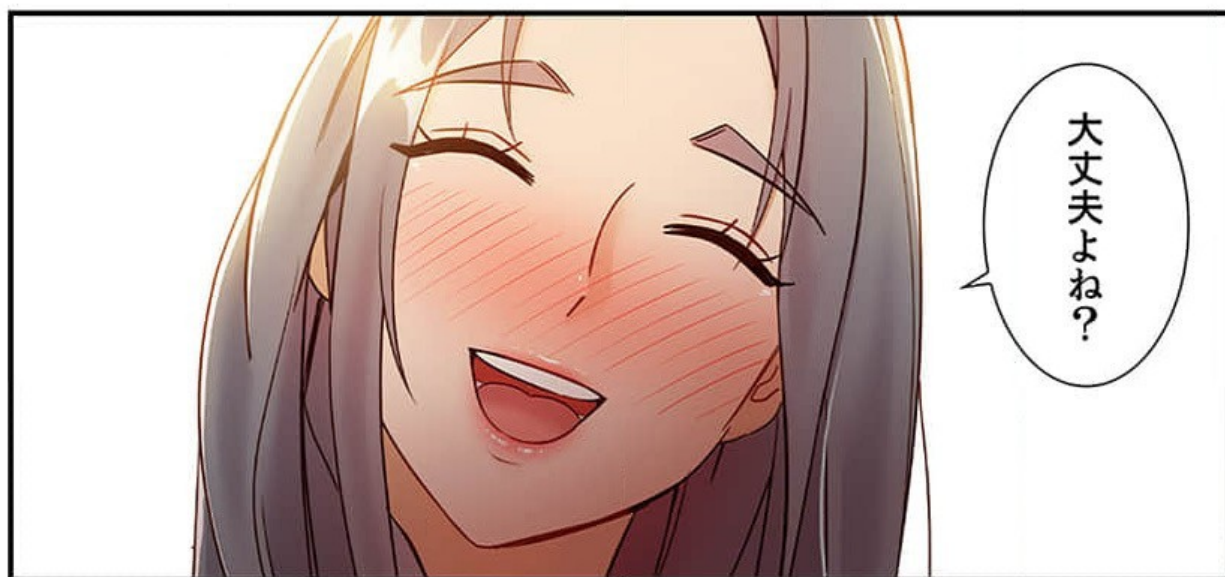


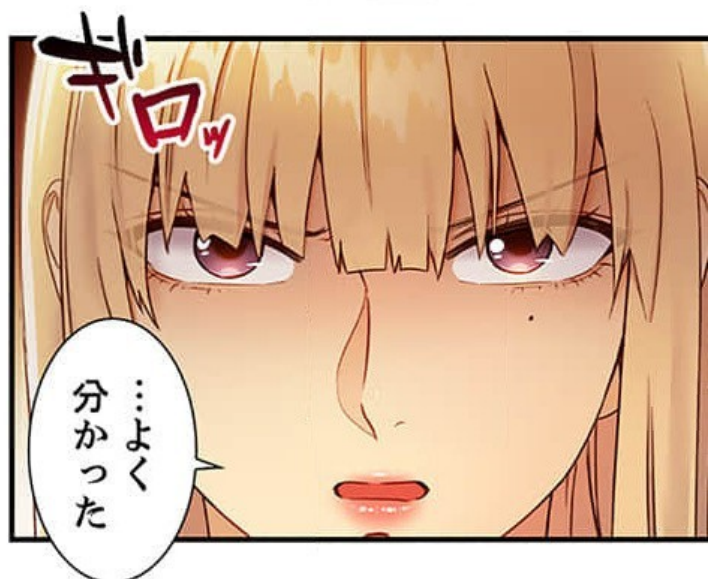
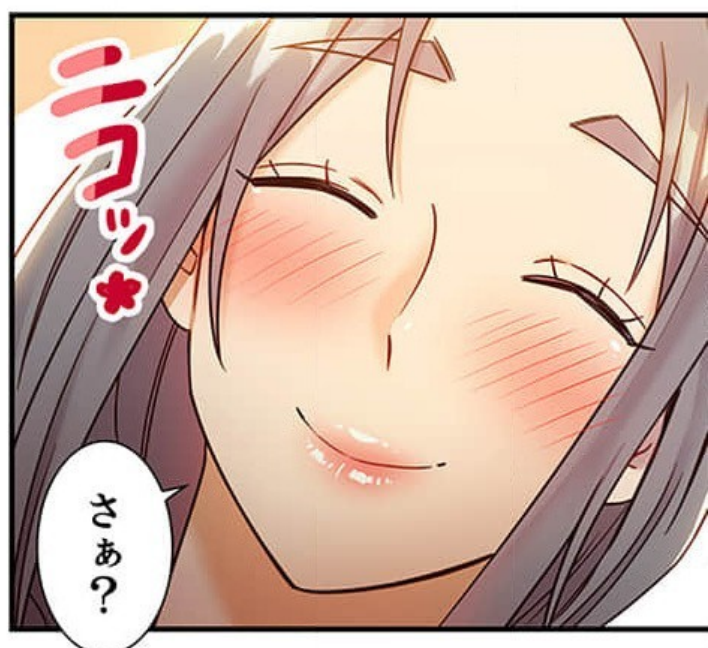




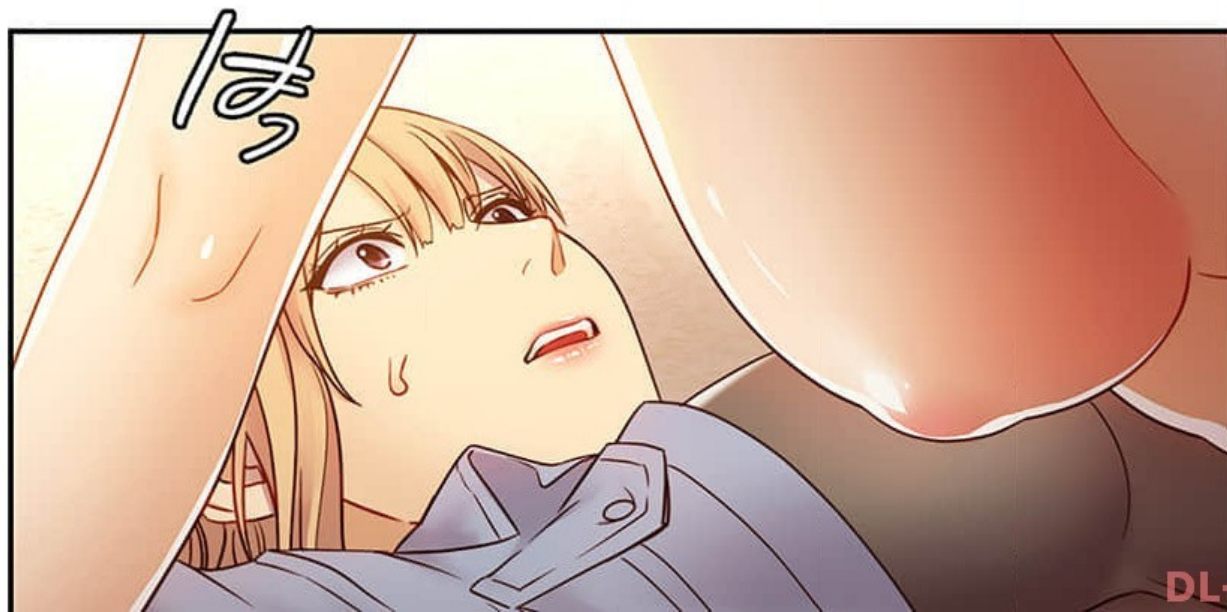
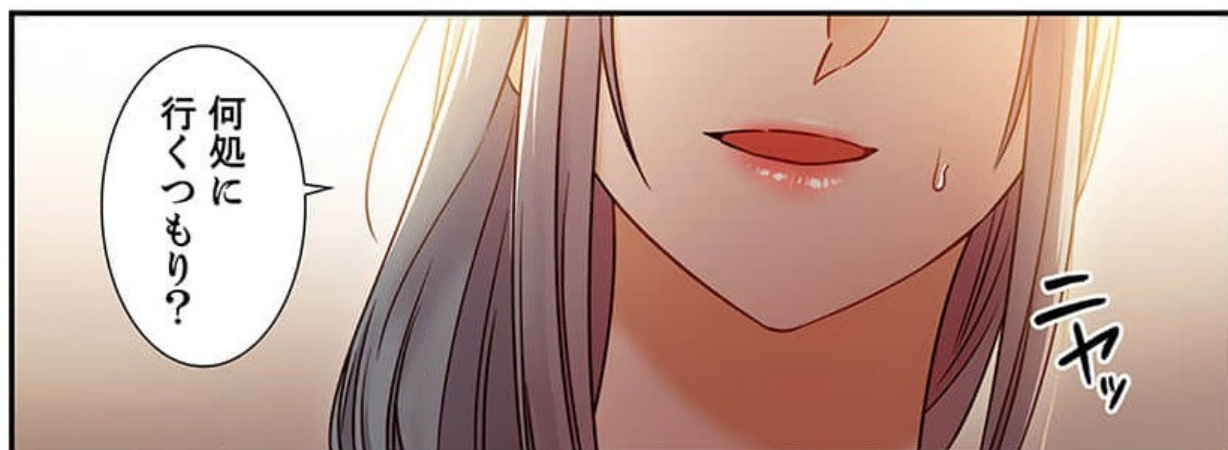


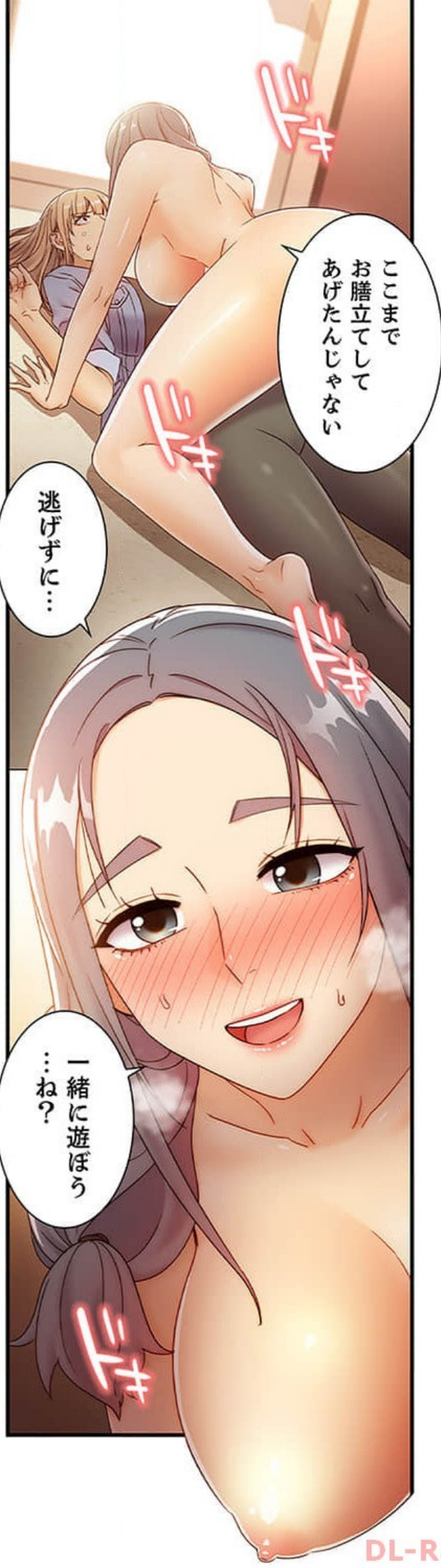
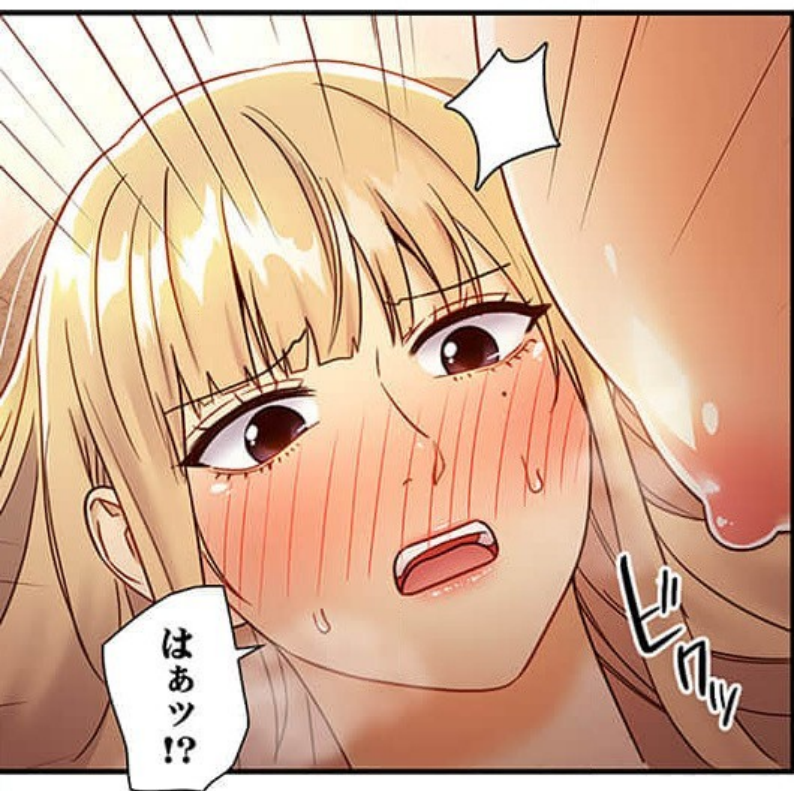
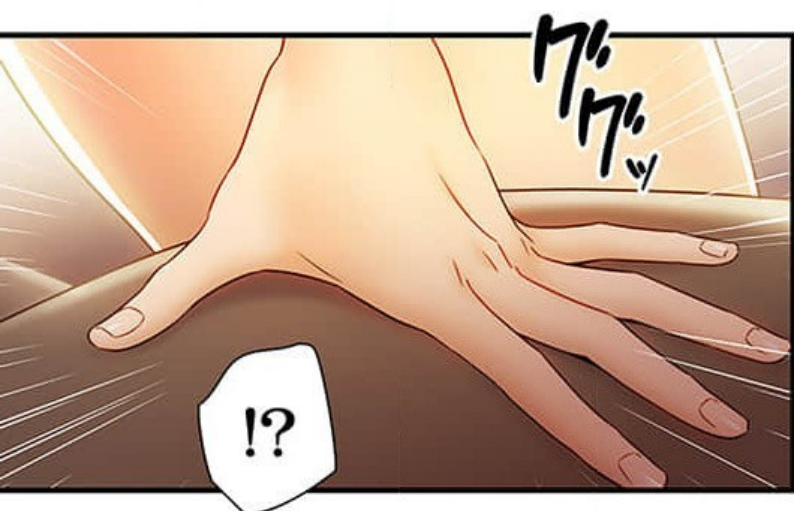
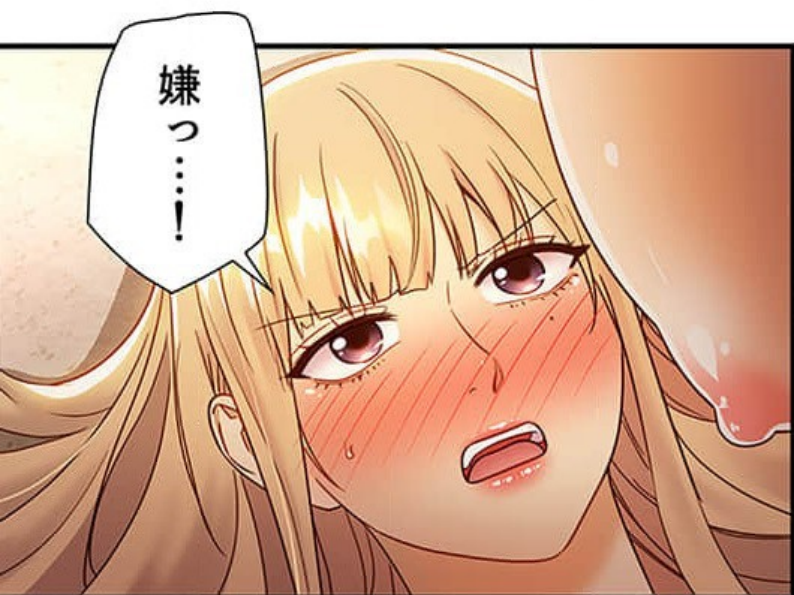


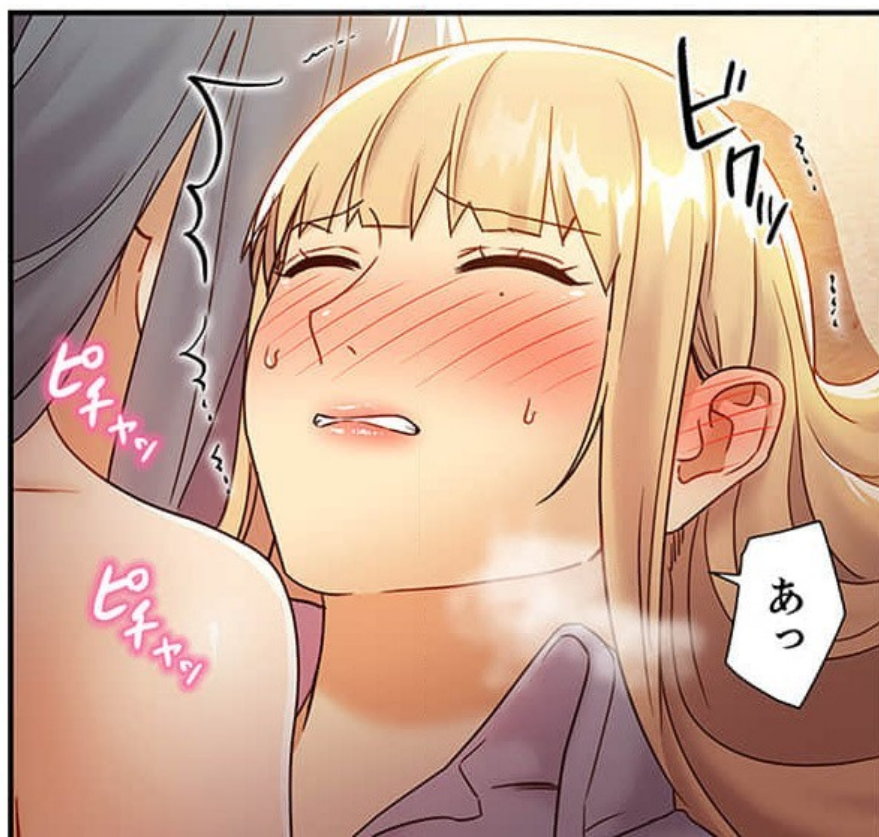
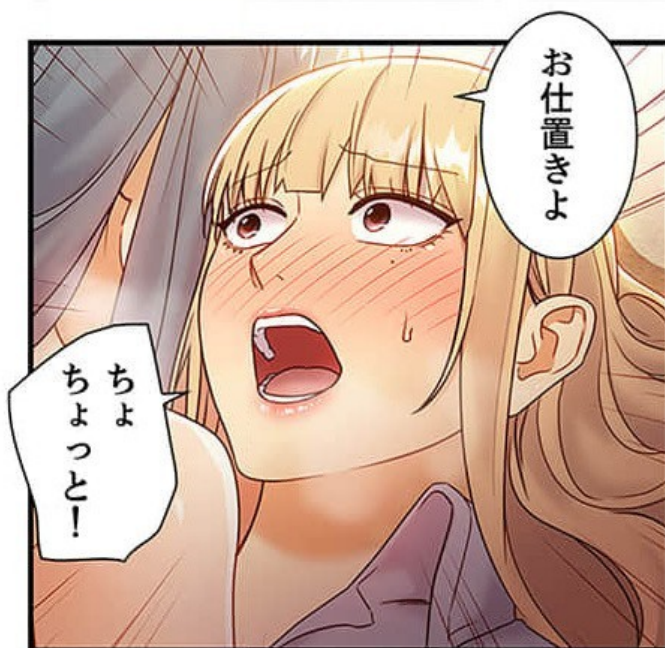


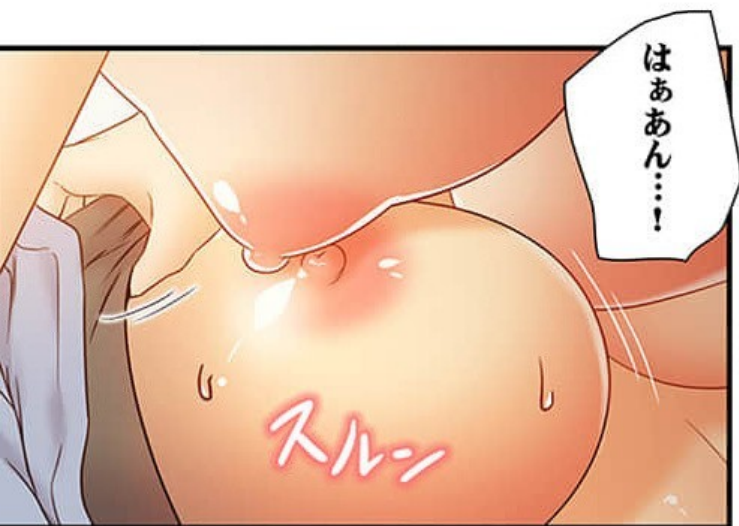


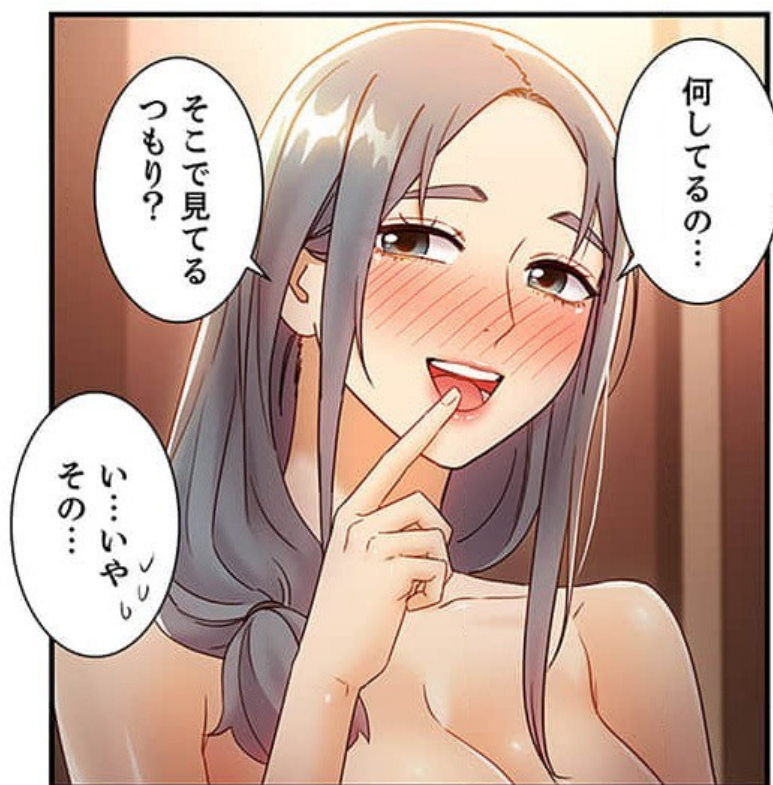
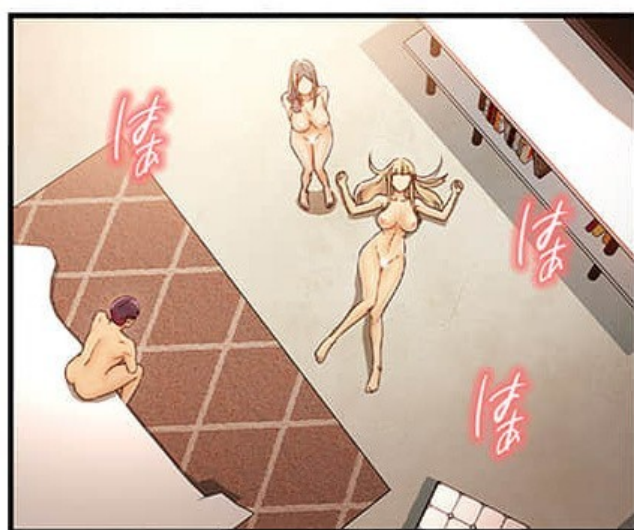


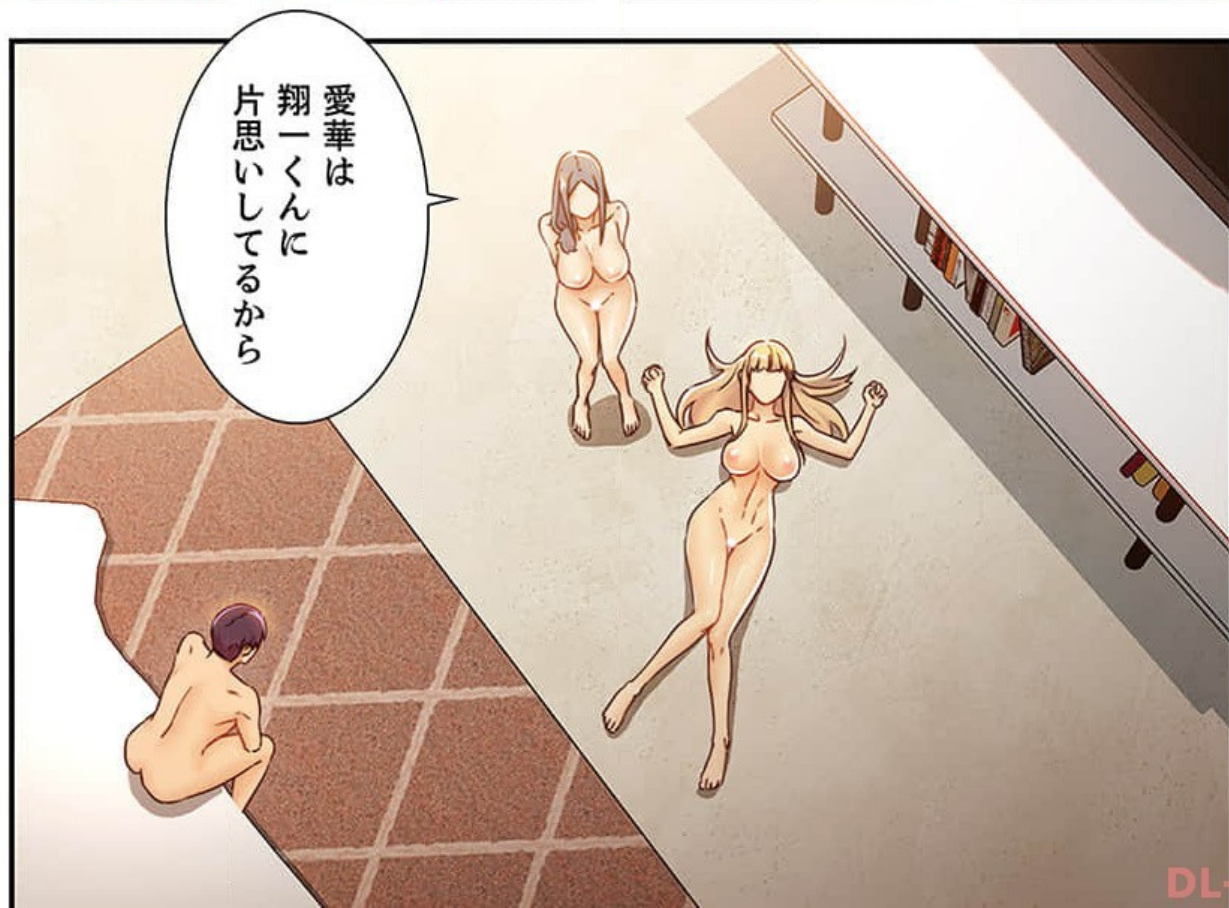
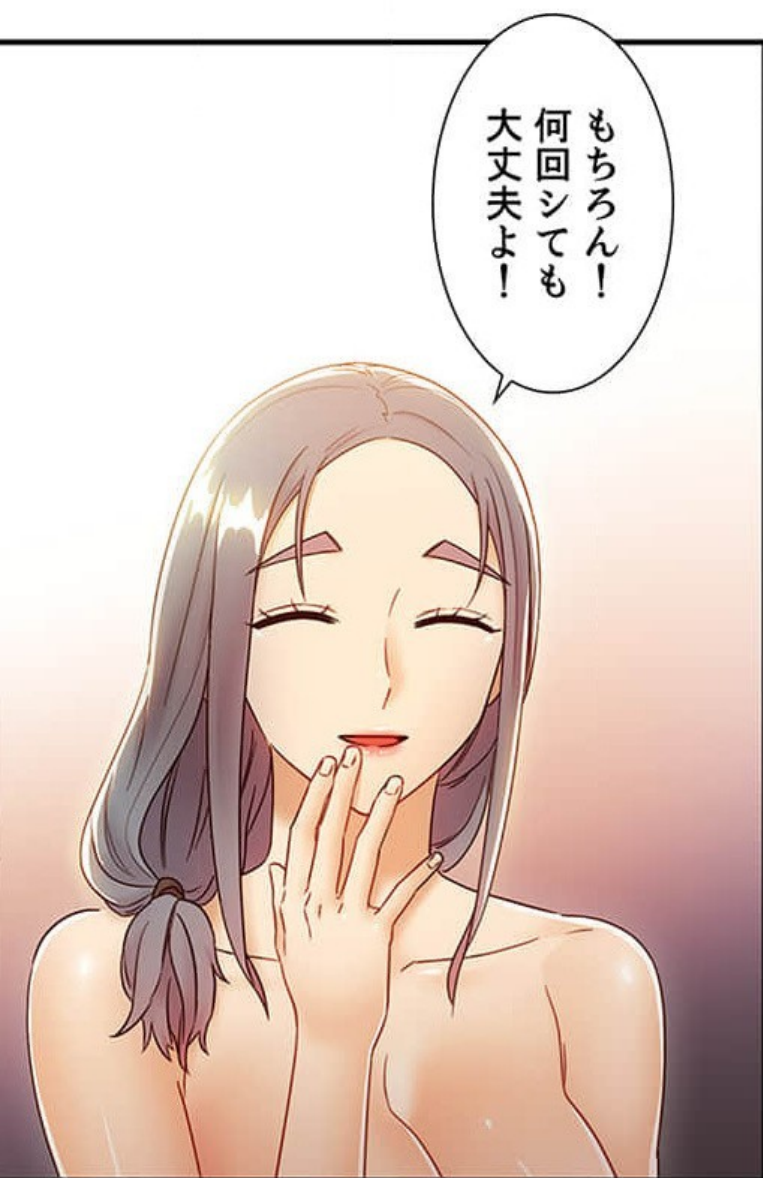


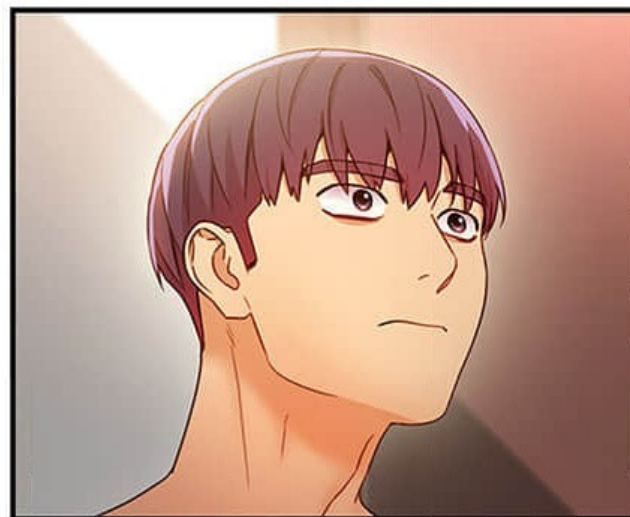




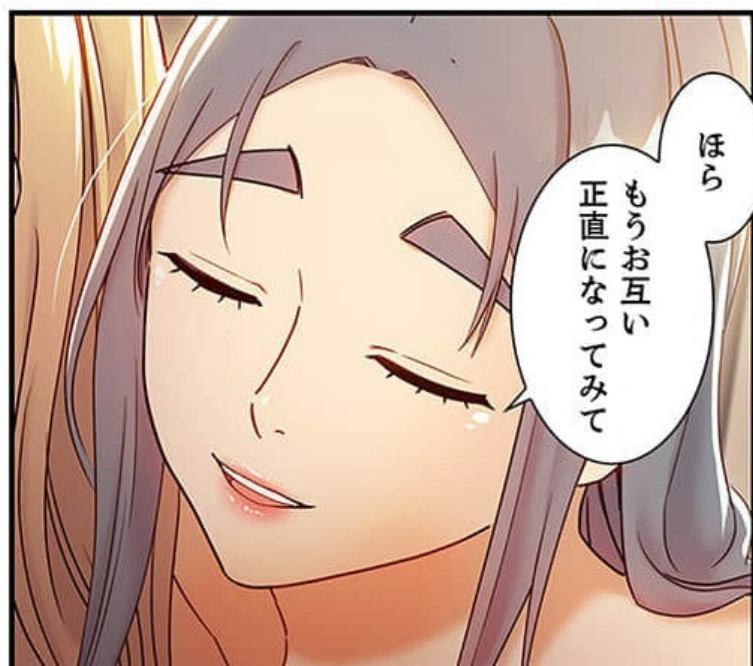
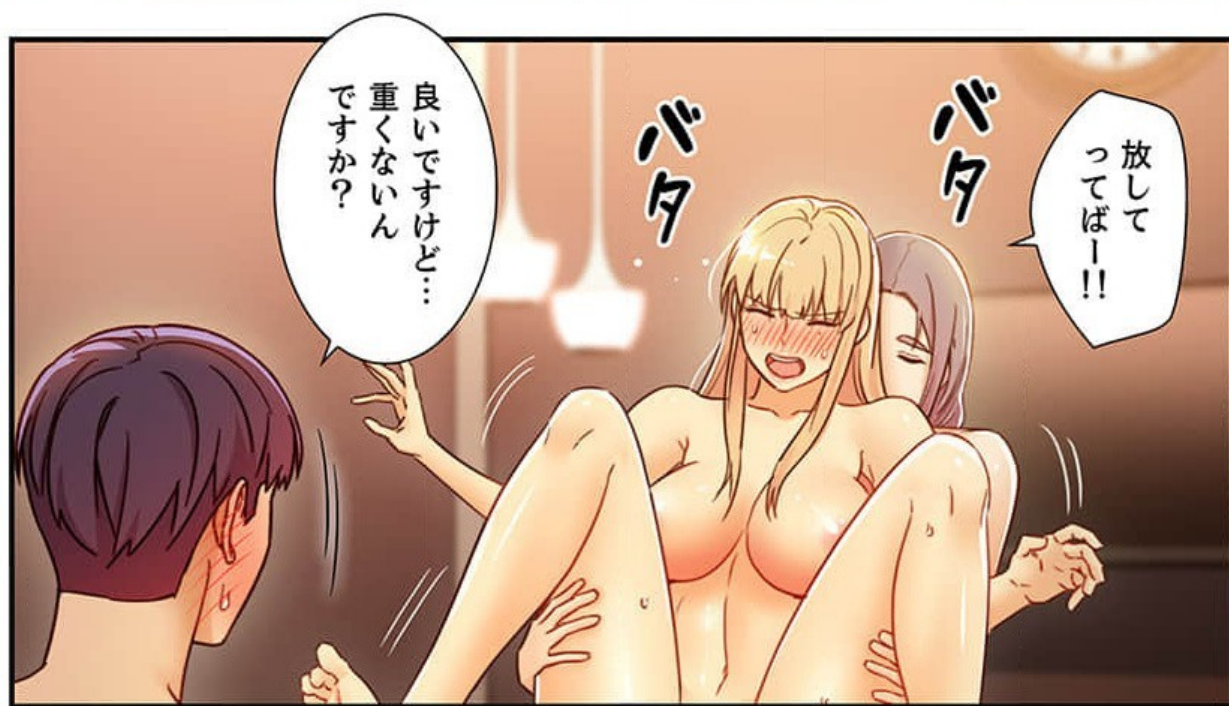
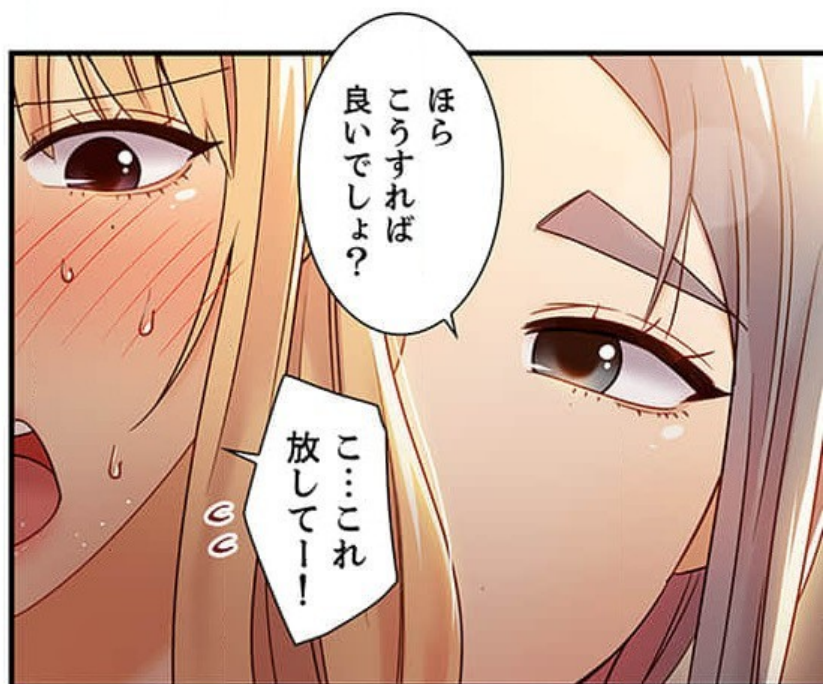




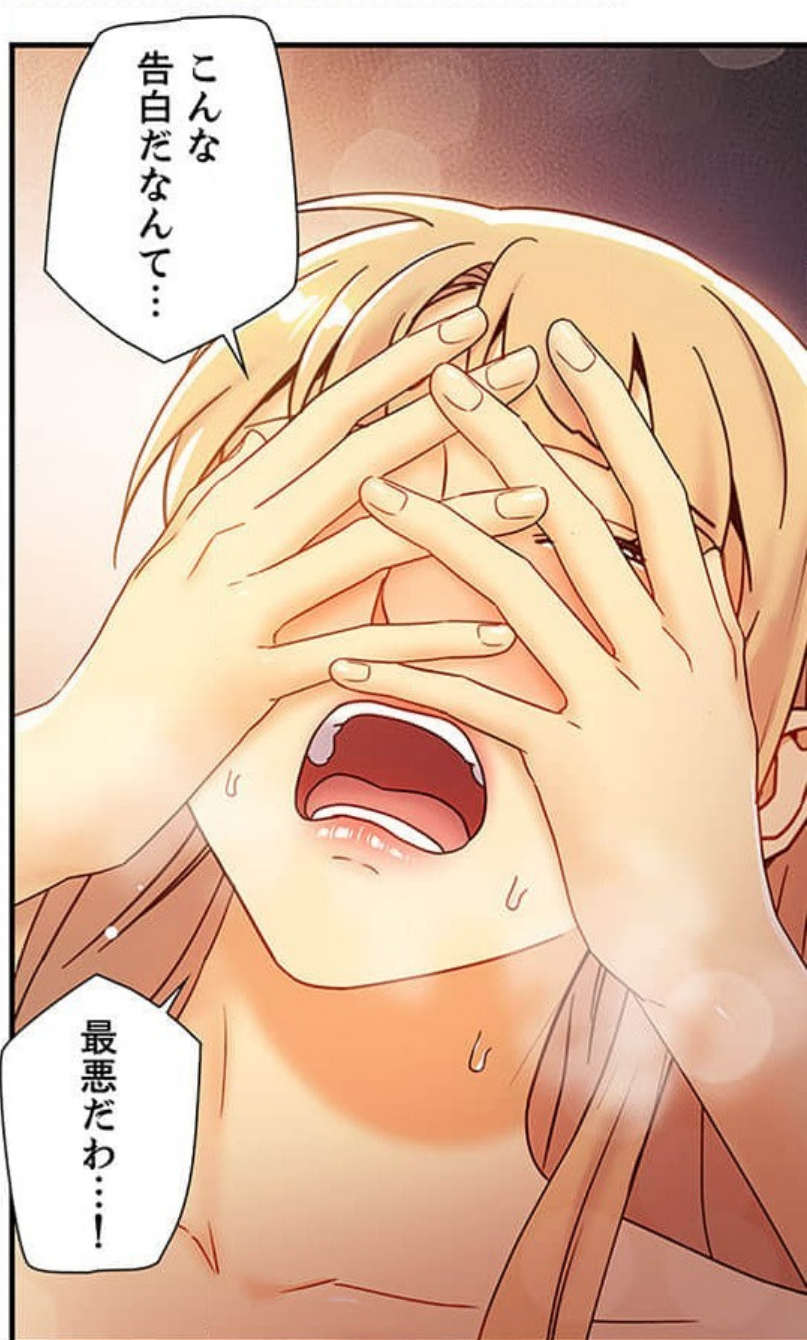
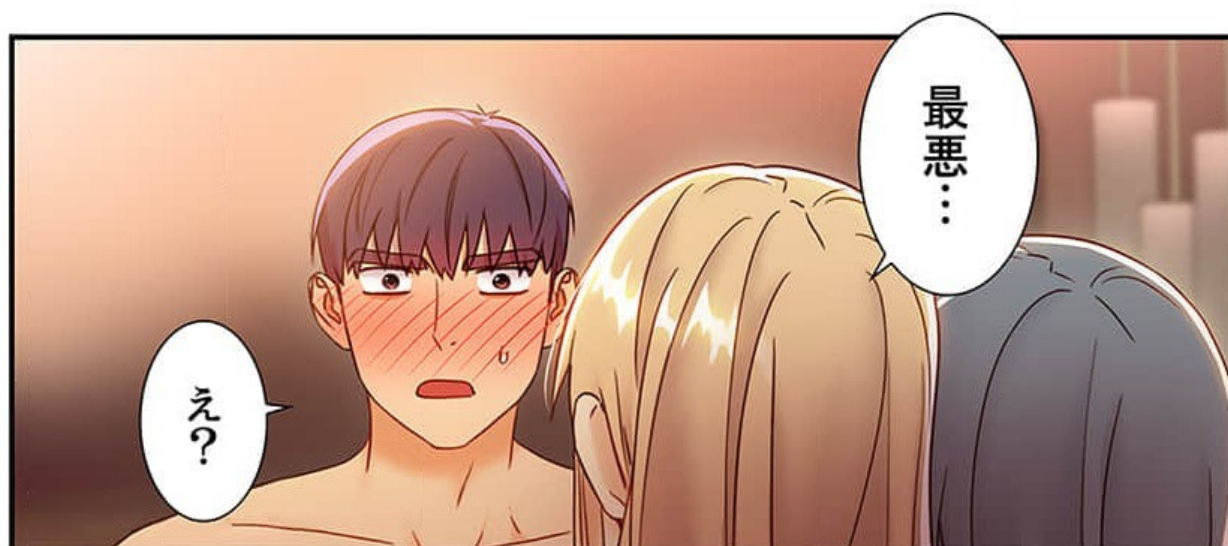


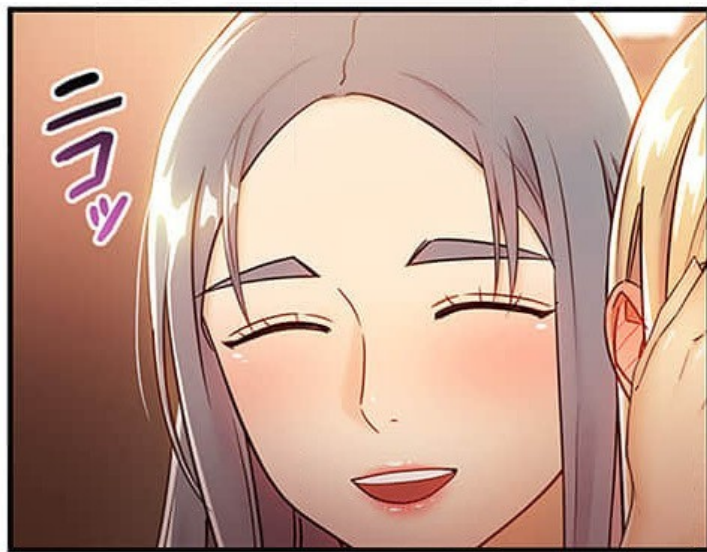
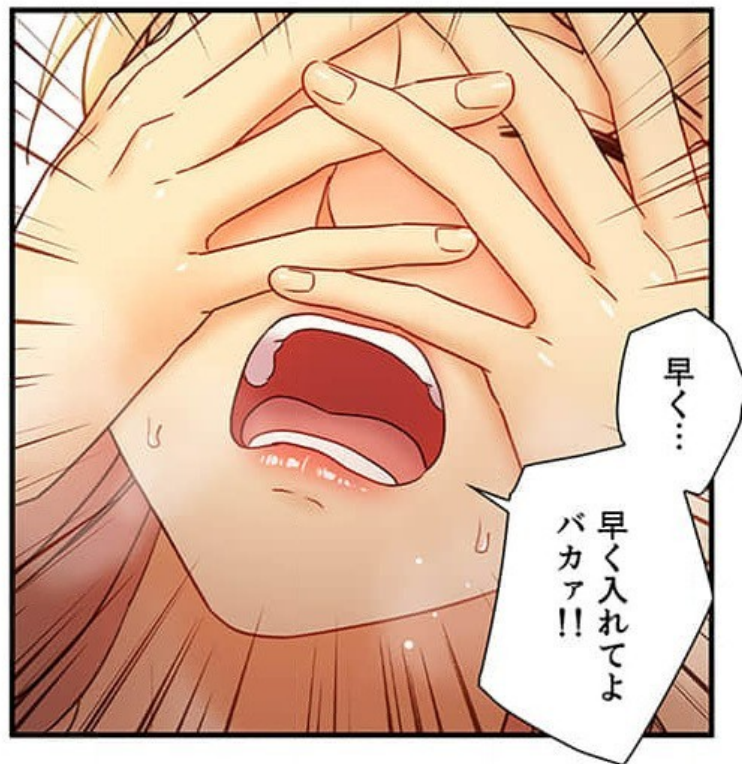


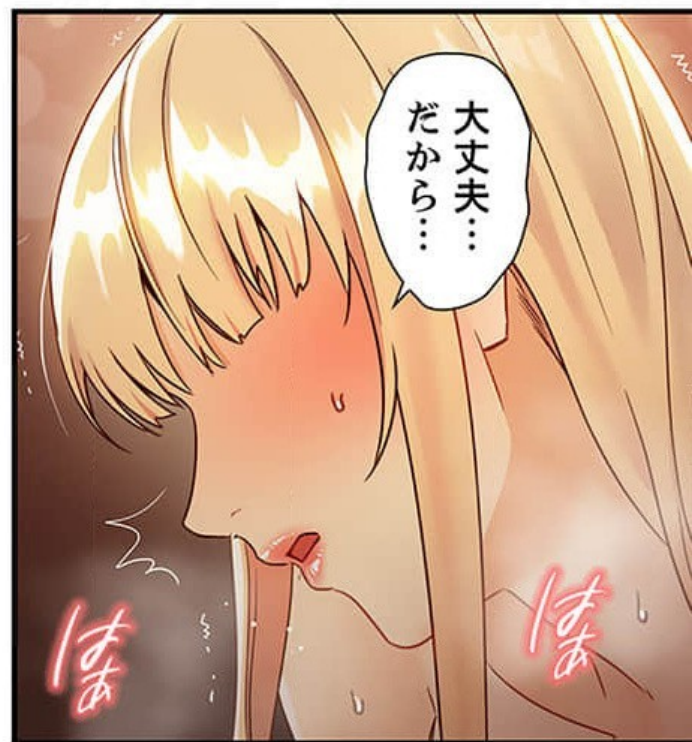




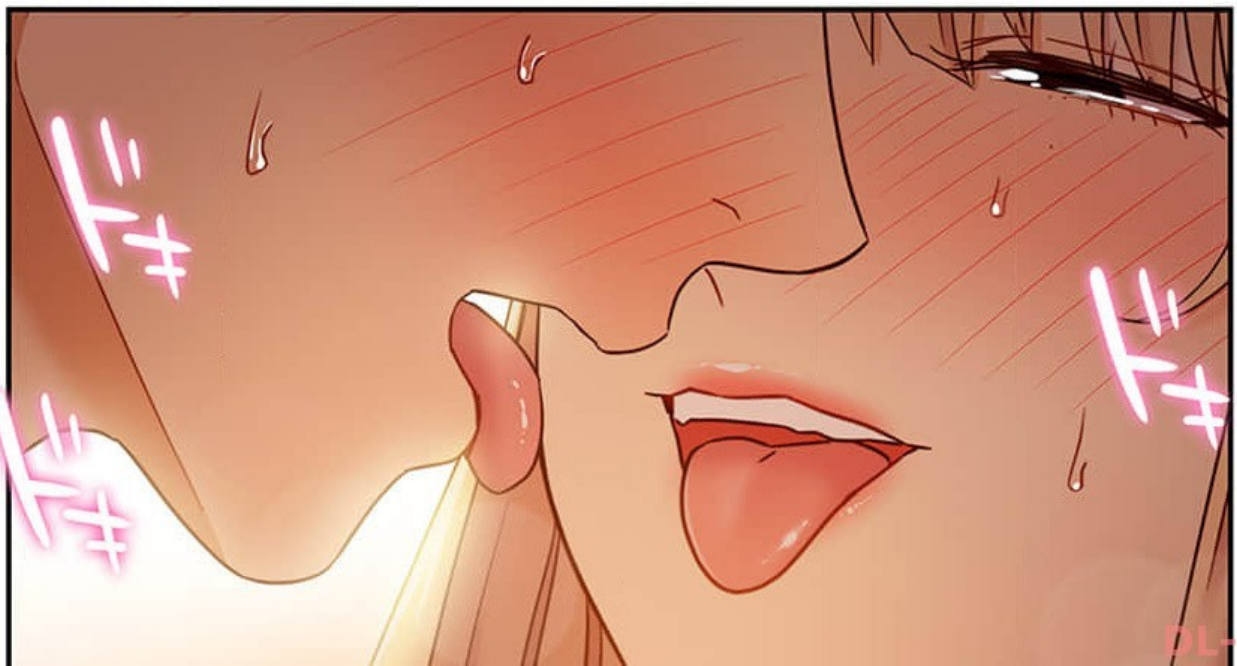
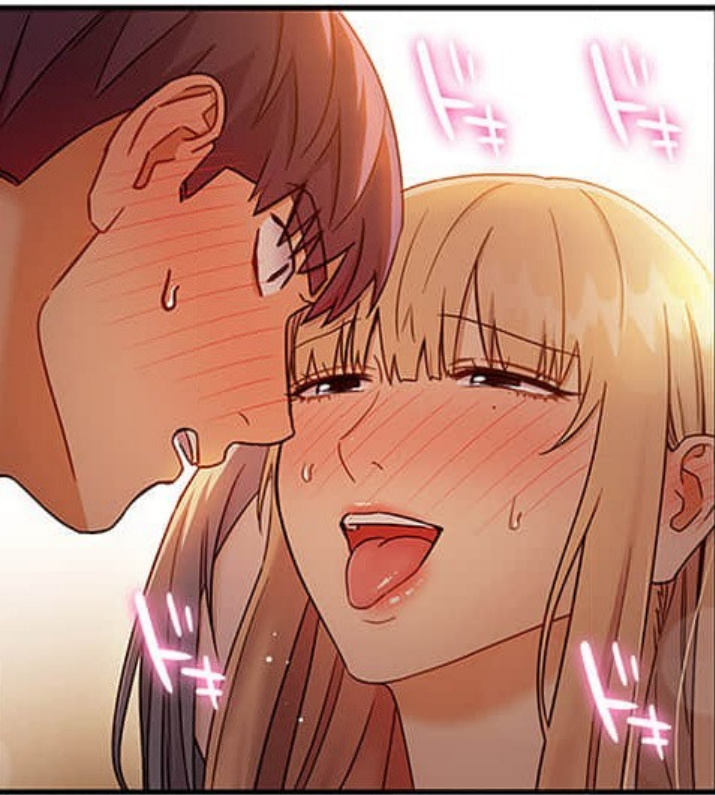


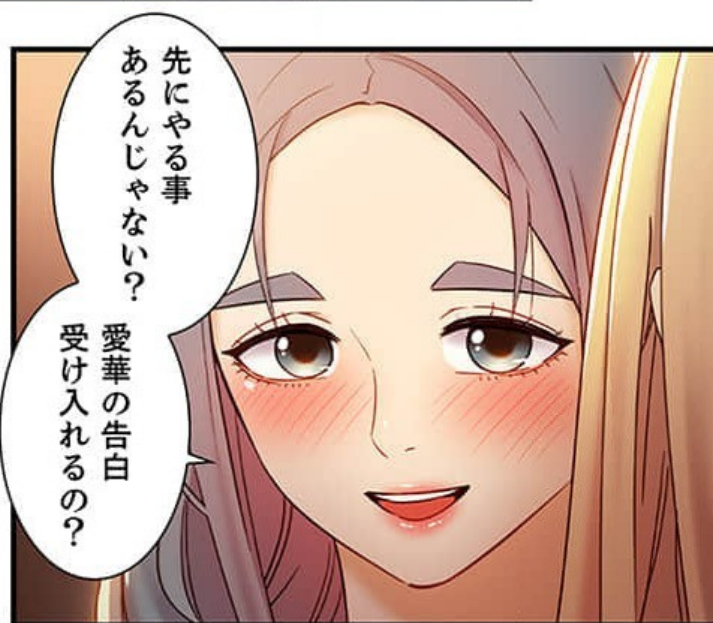
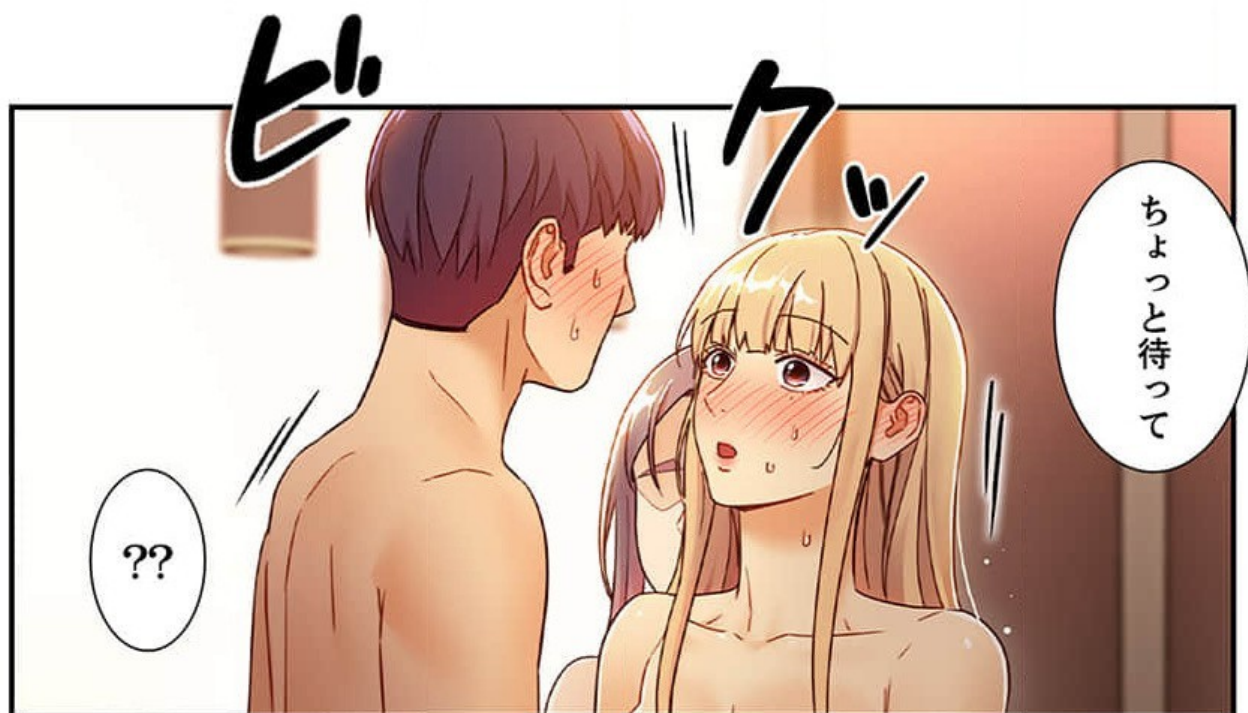


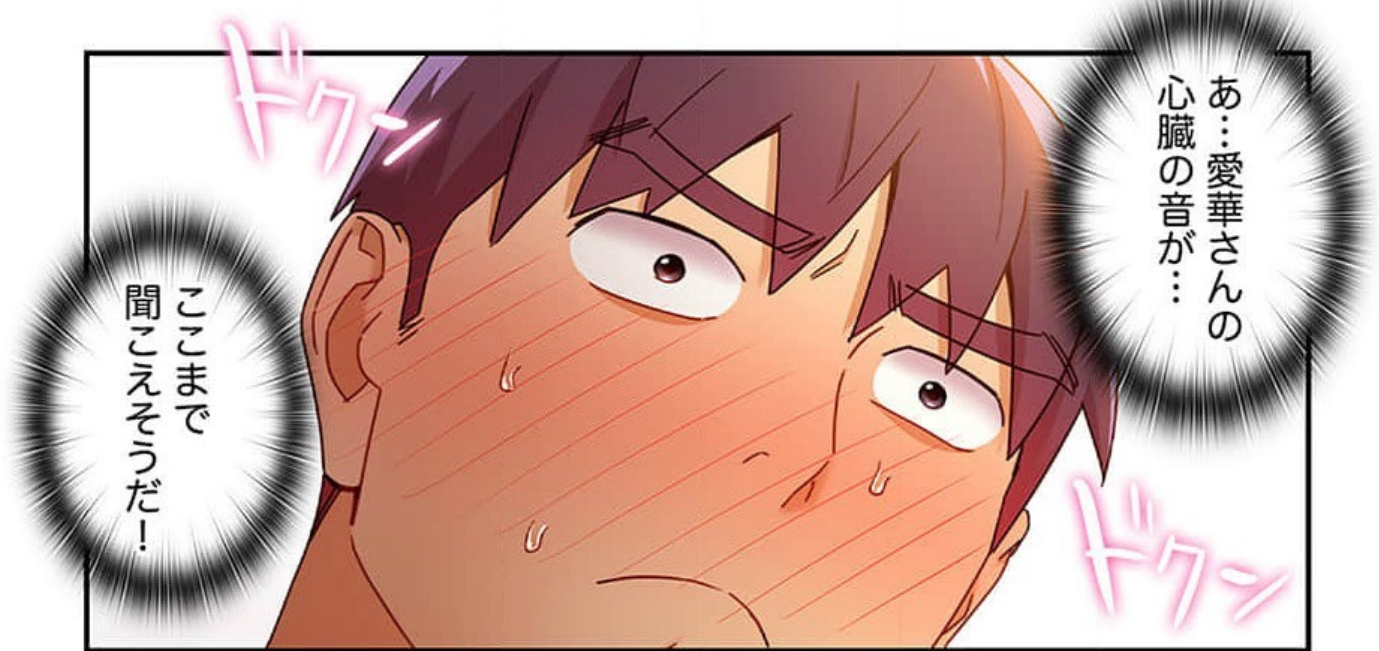




ハーレムXハーレム









いや…
落ち着け俺



付き合っ
てしま
うか!!

うわあー!!

ドン



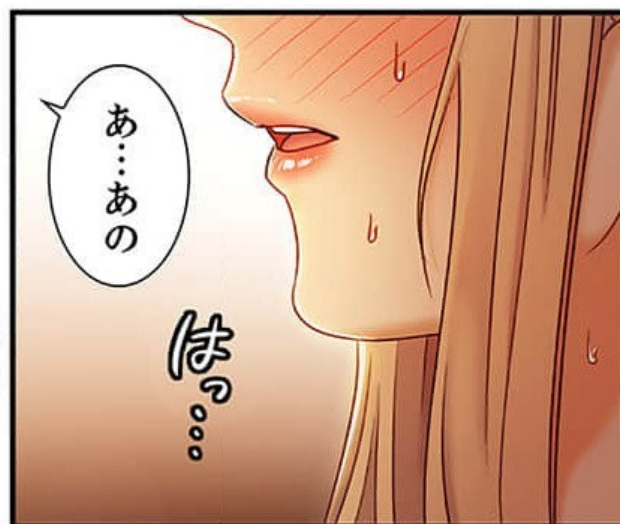
俺の人生で
初めての恋人って
事だ…!!

もし付き合っ
となると…



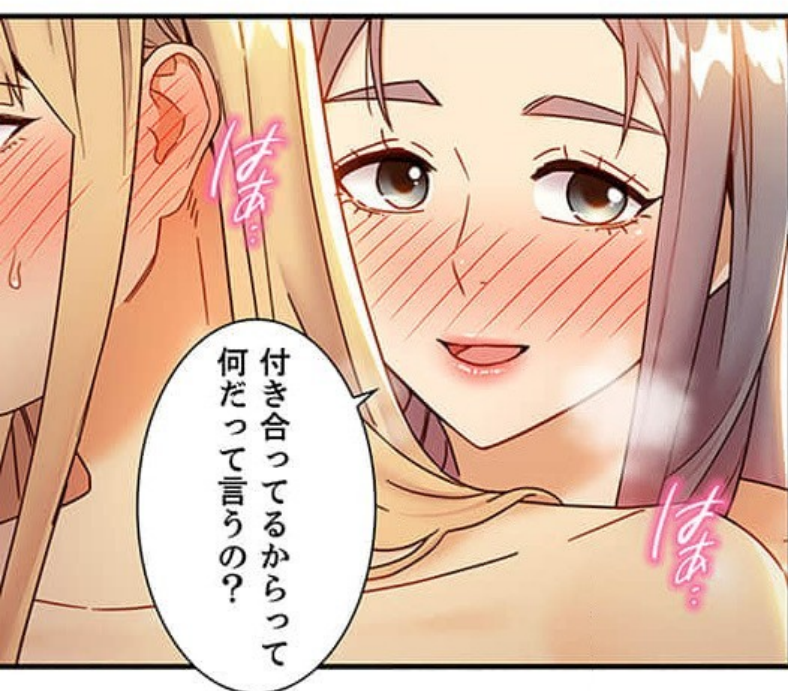
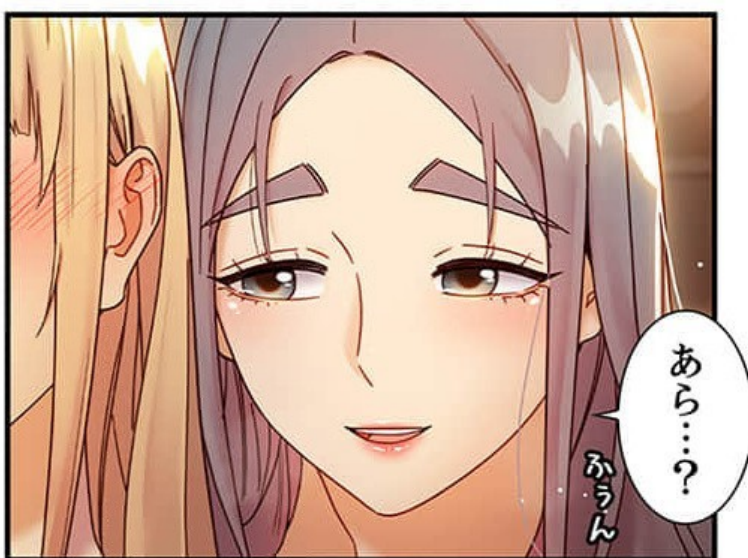
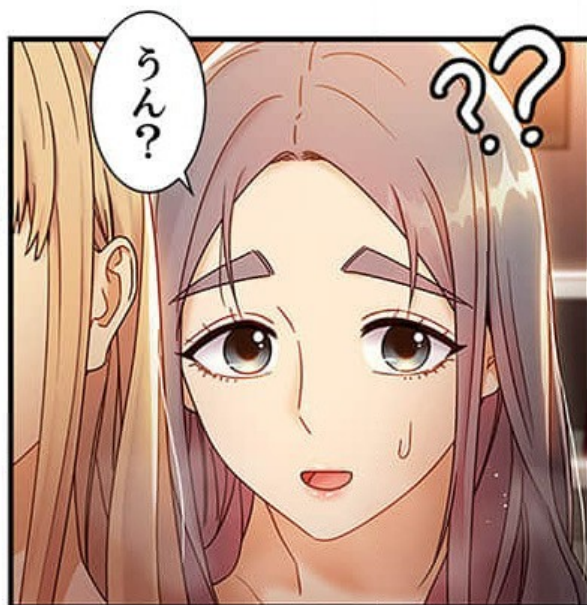
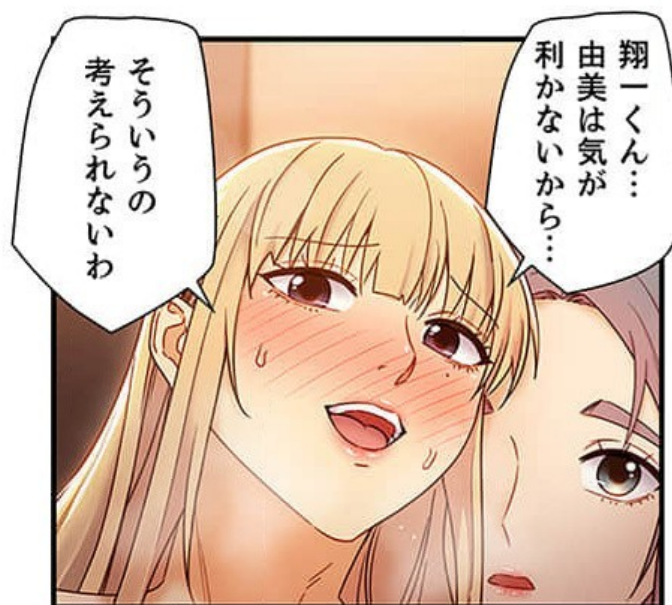
こんな
重要な事を
話すには…

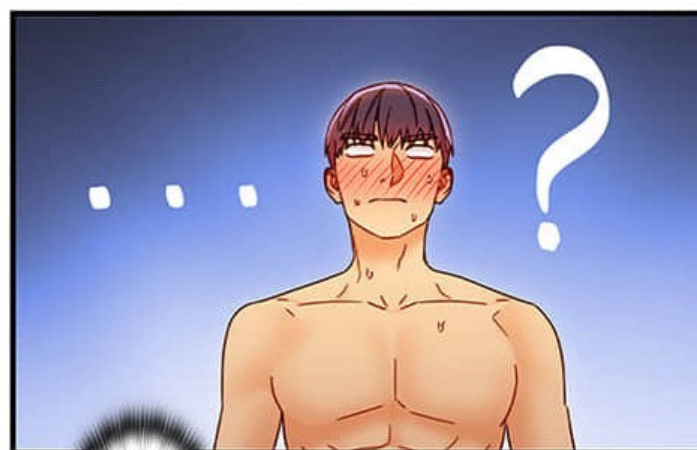
こういう状況は
ちよつと…
俺達同士個別に
ちよつと話を…

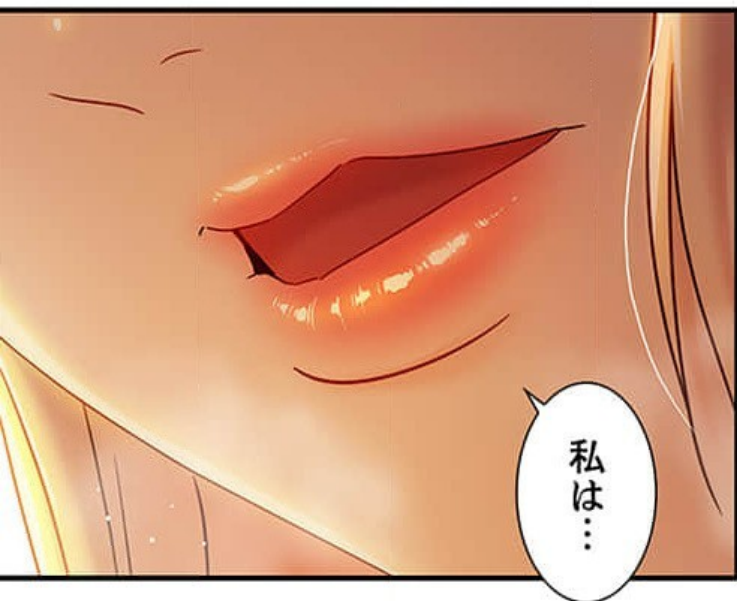


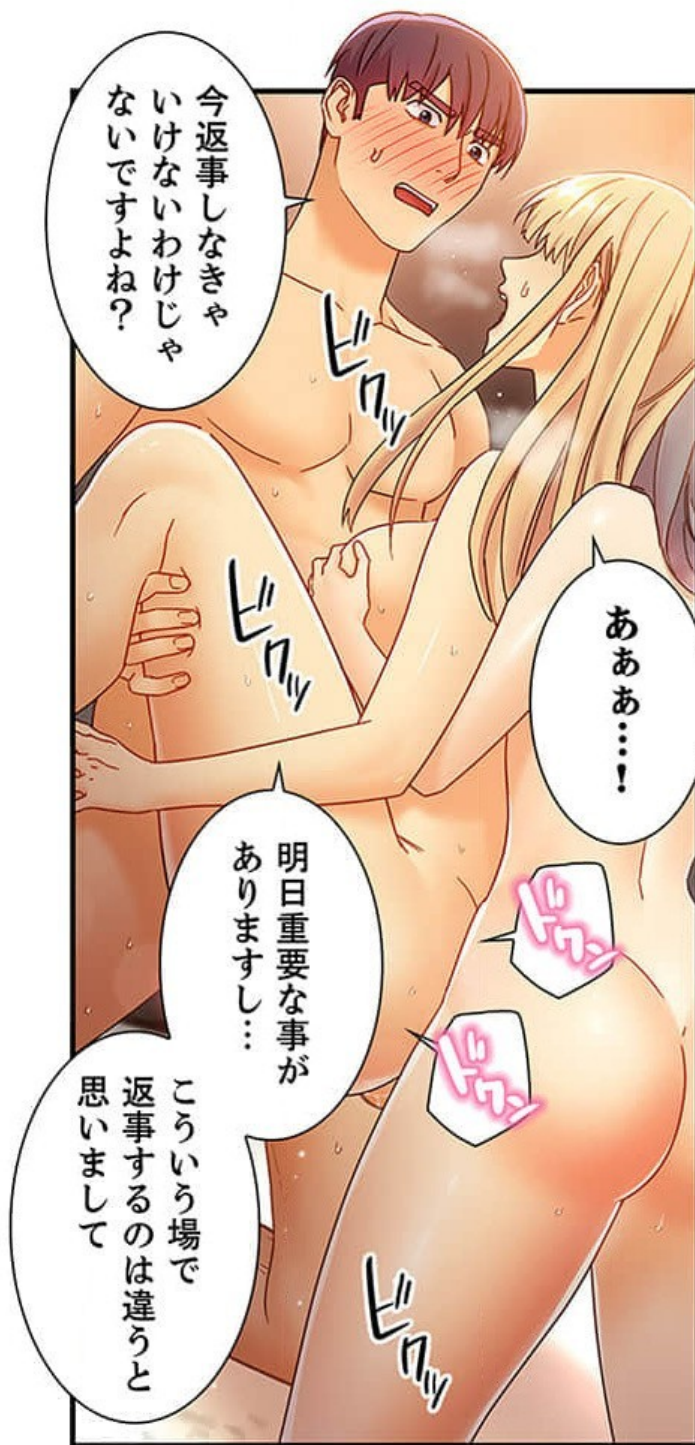
あ…あの

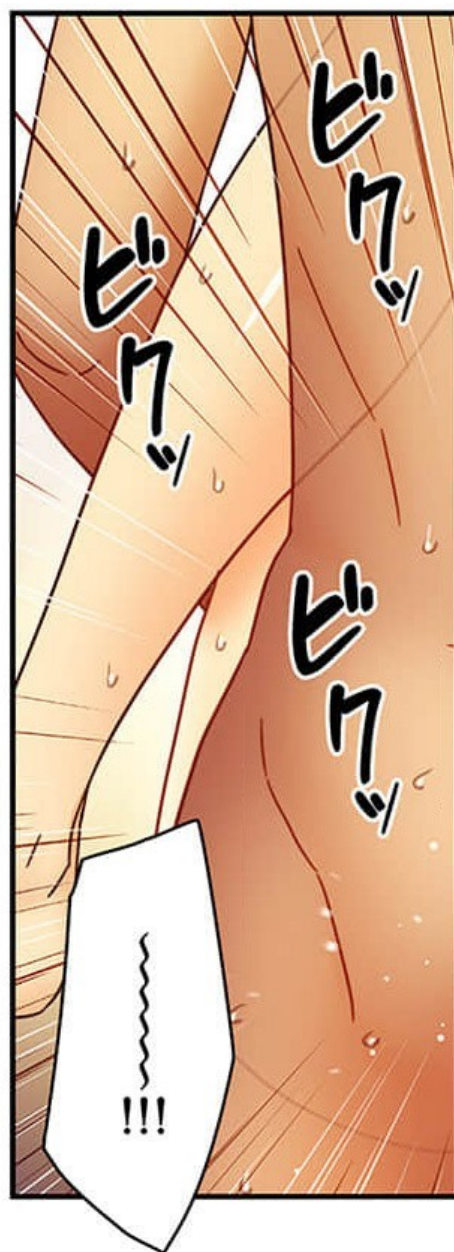
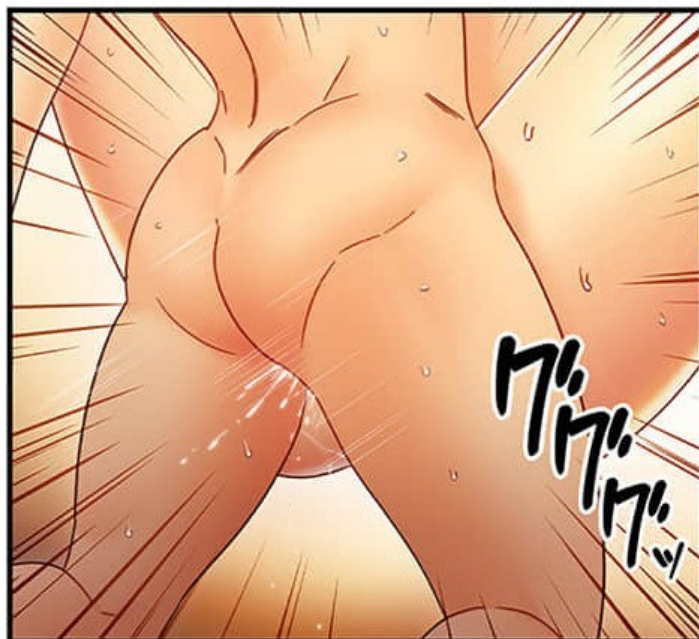
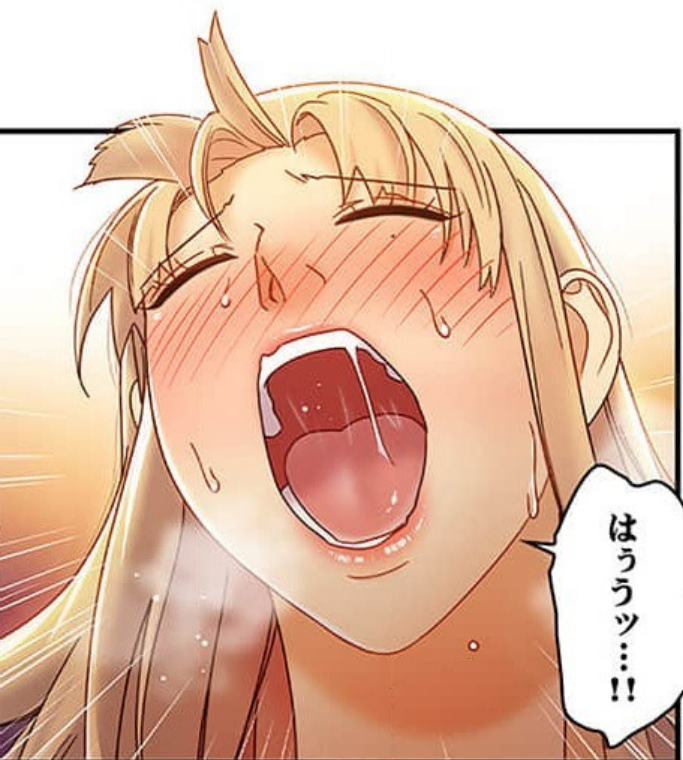
はっ…

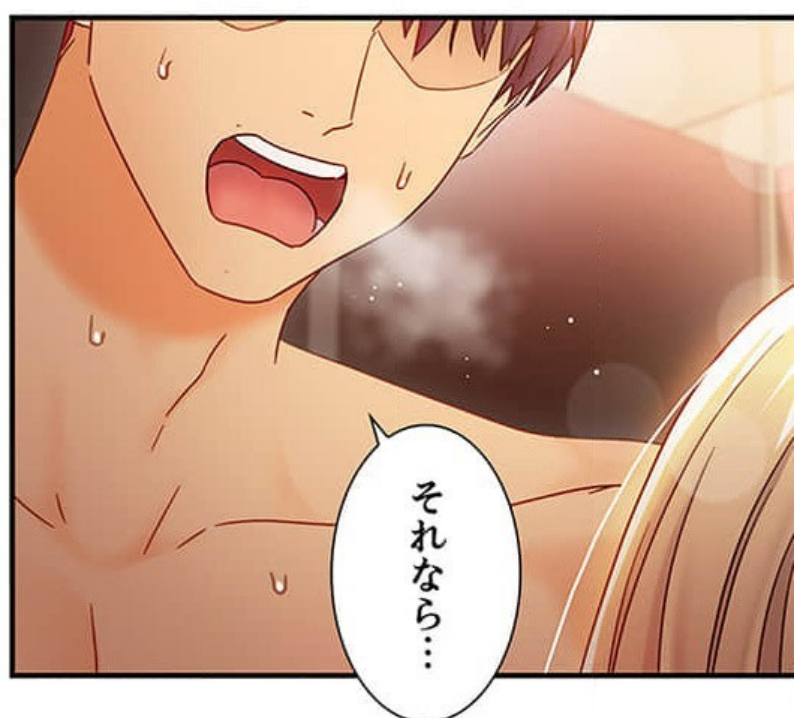
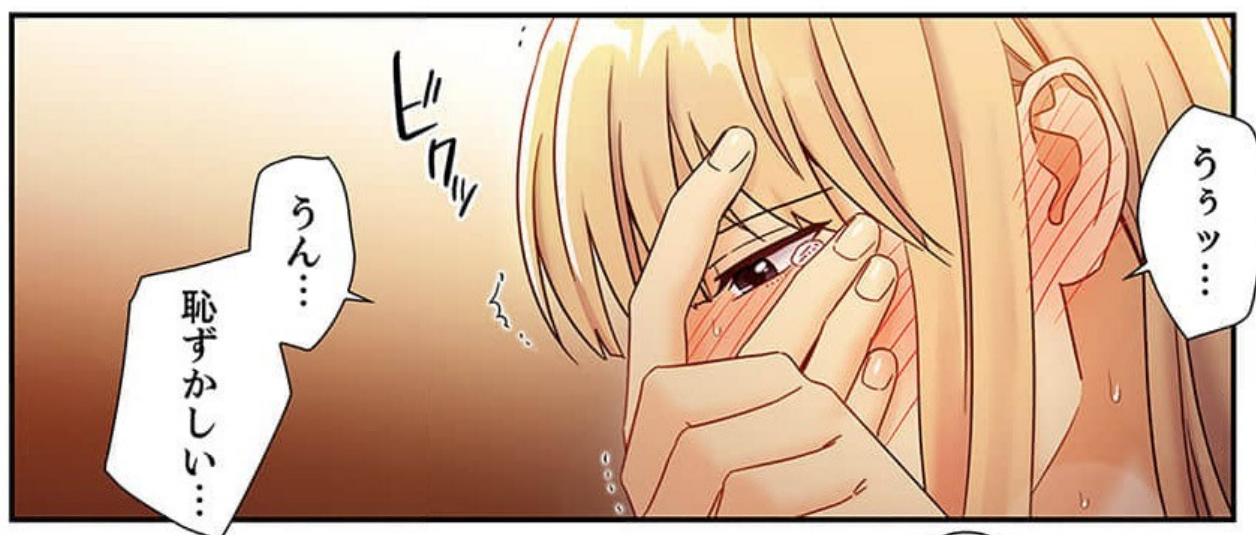


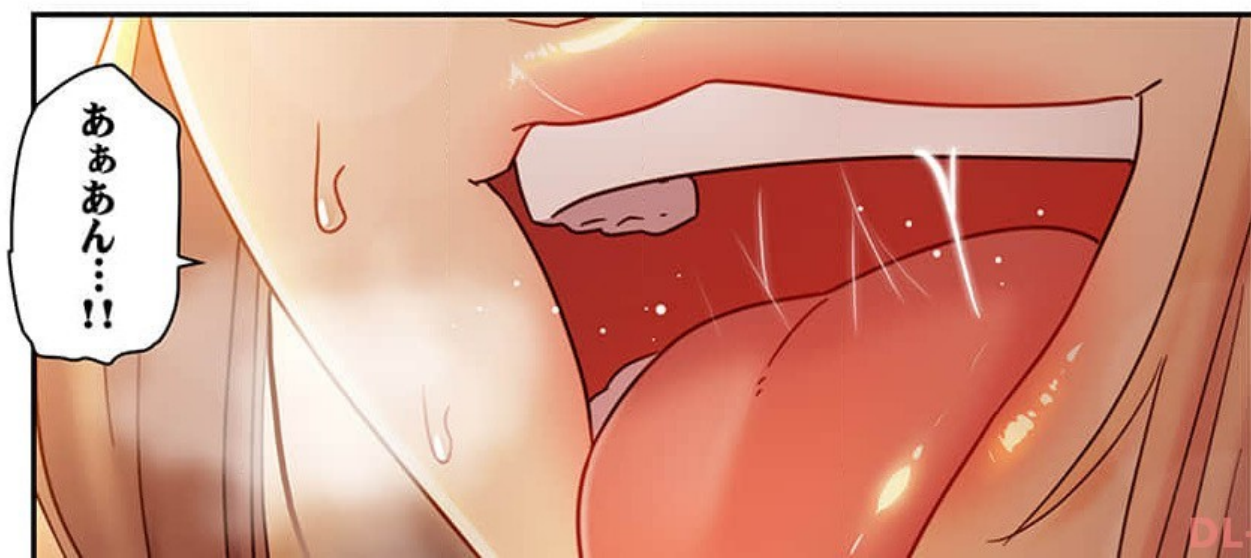
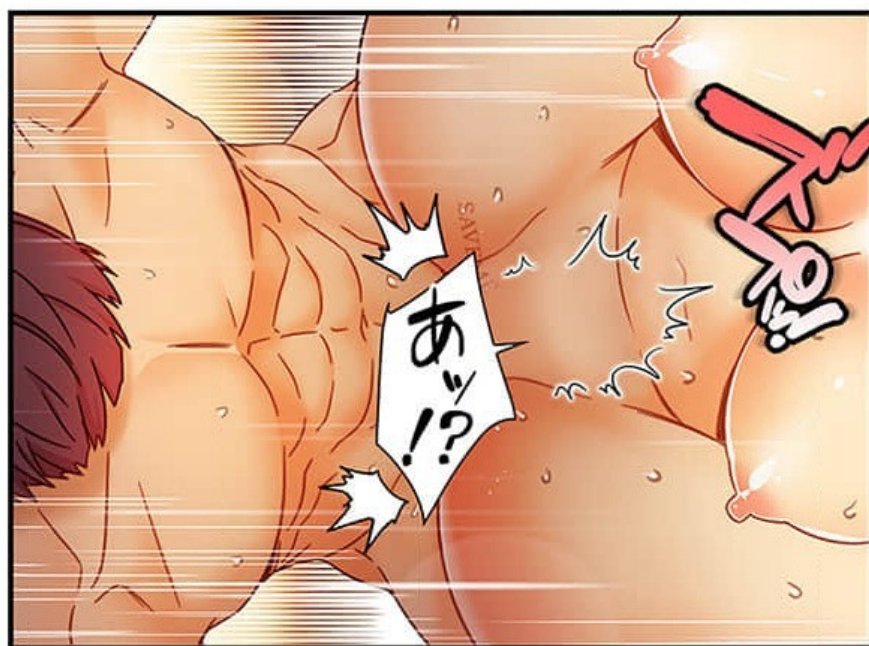


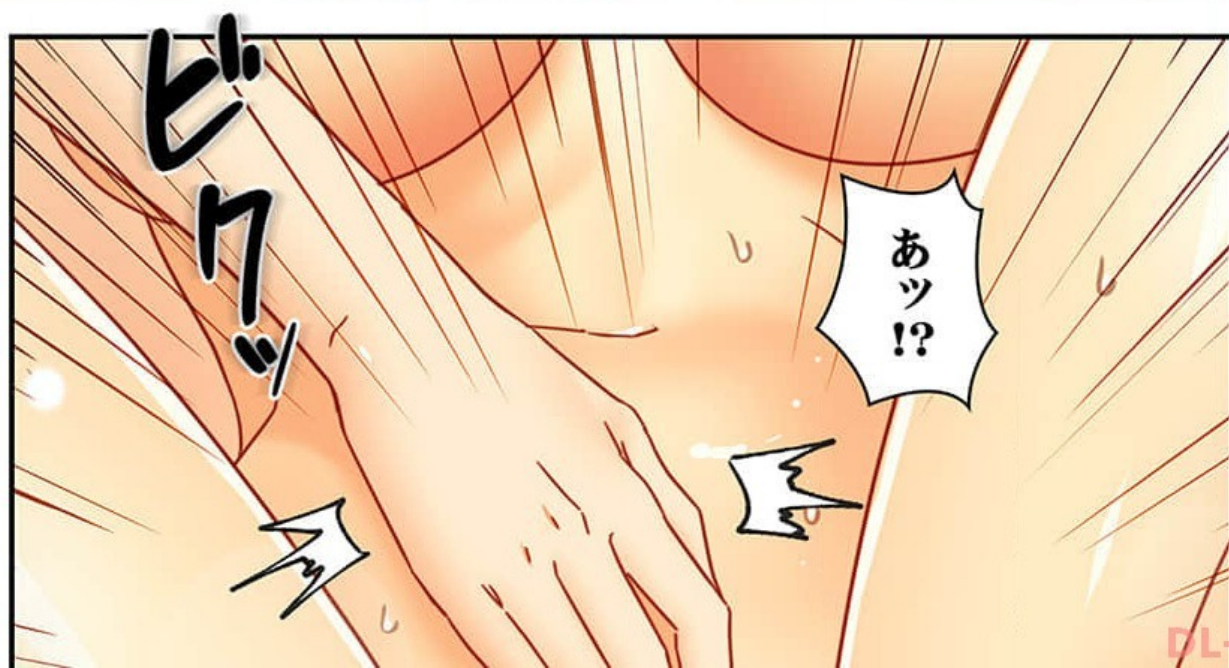
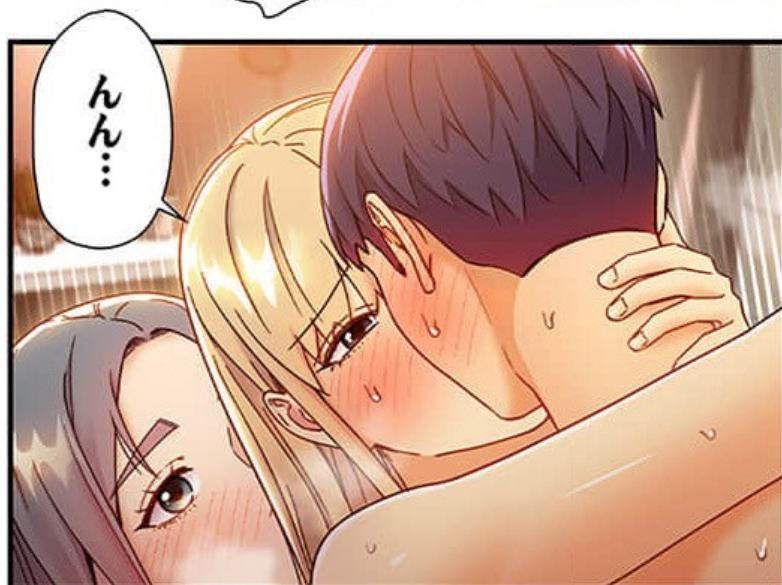
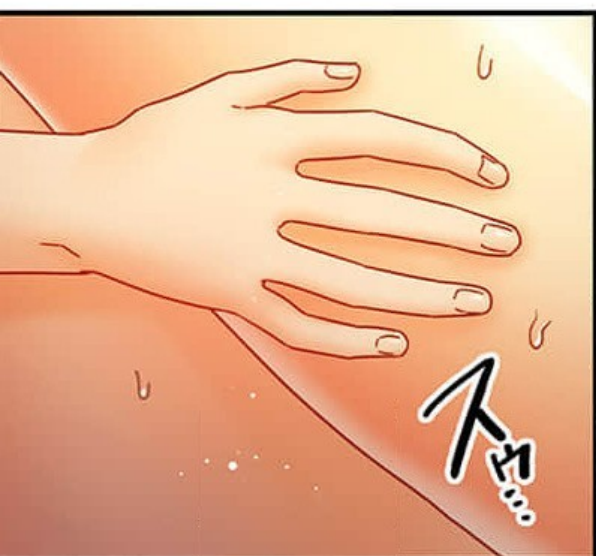


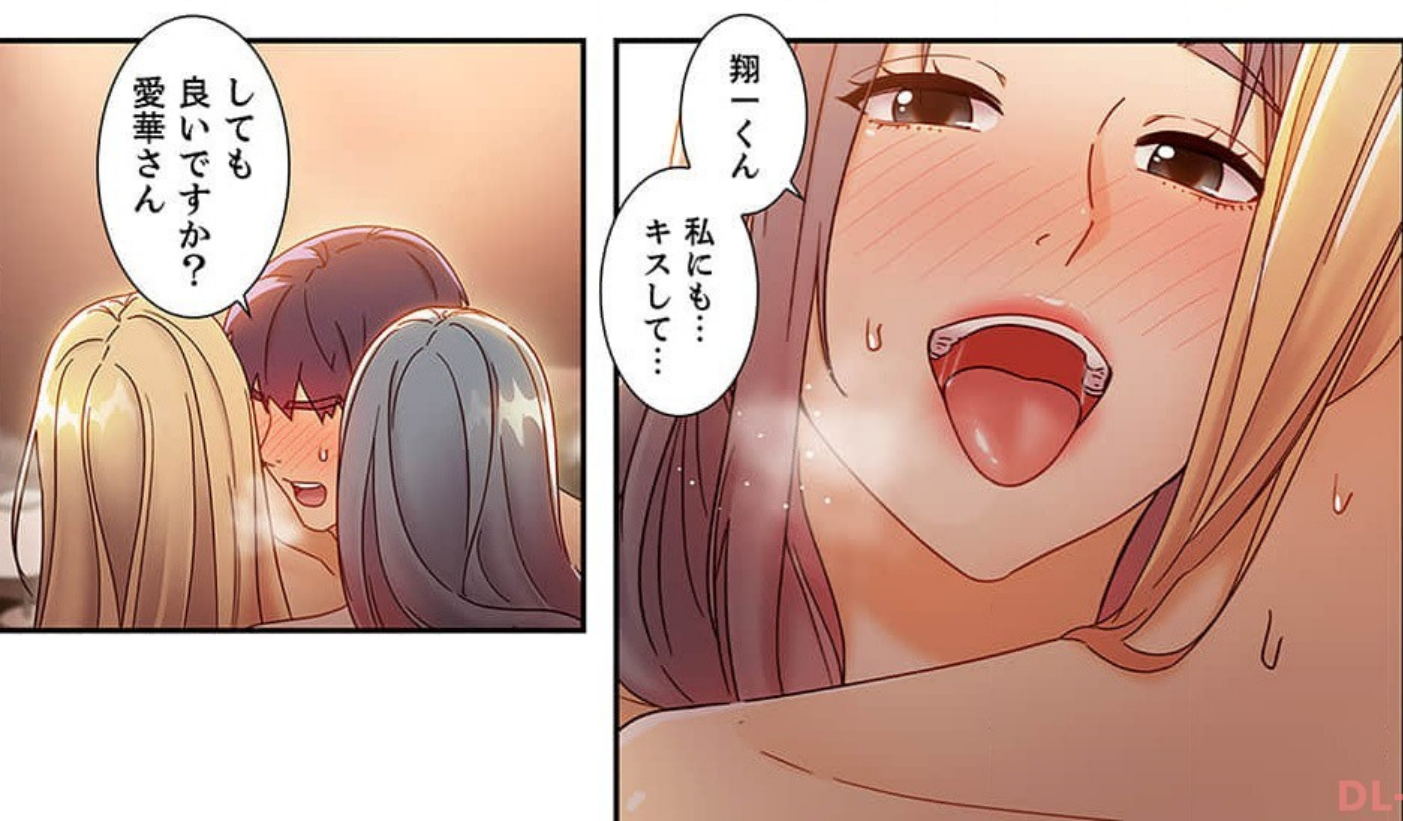
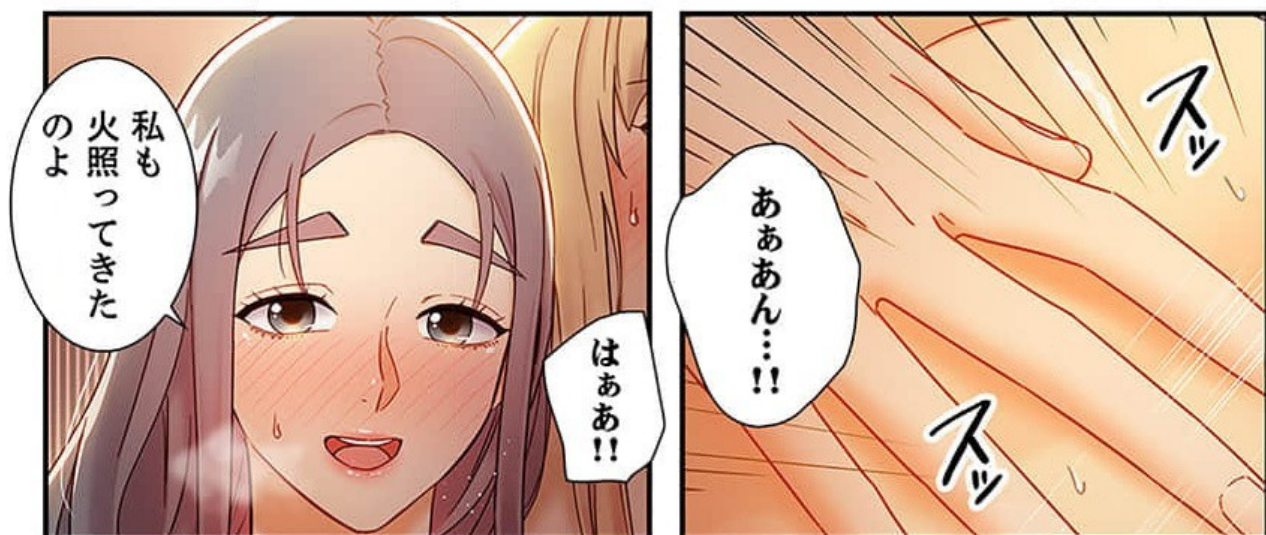
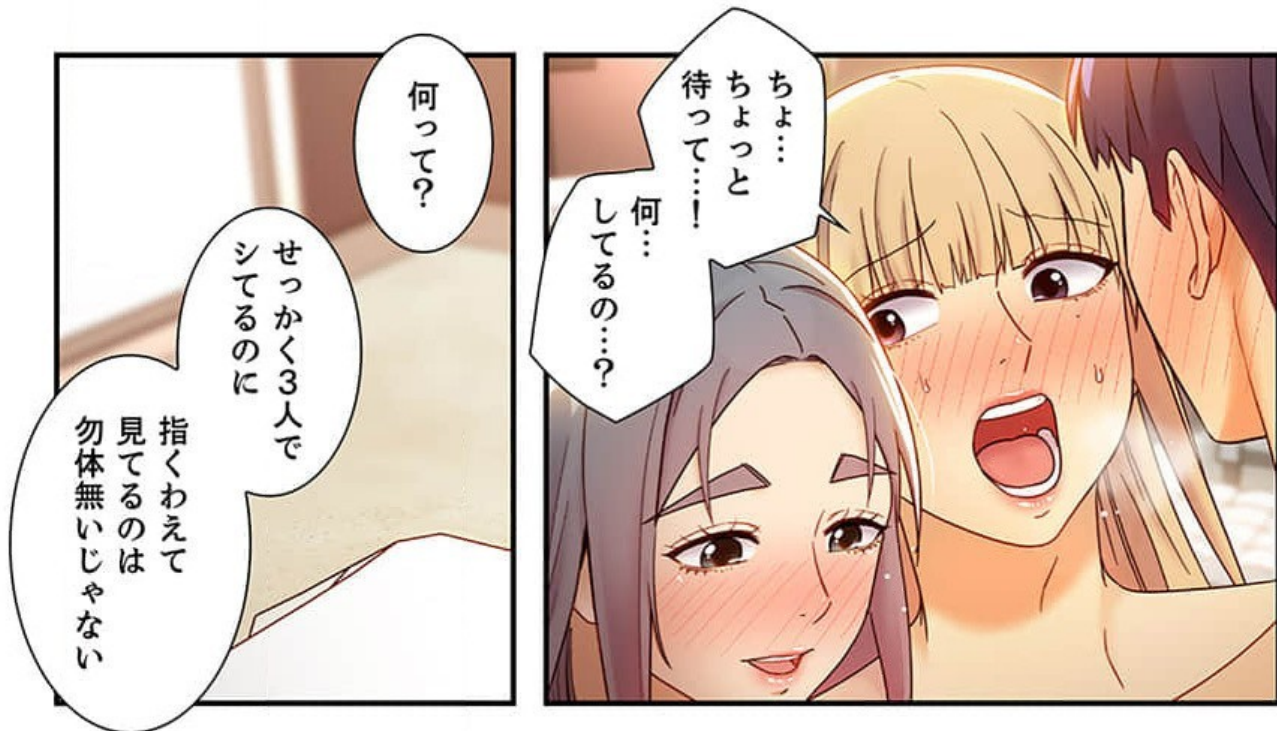


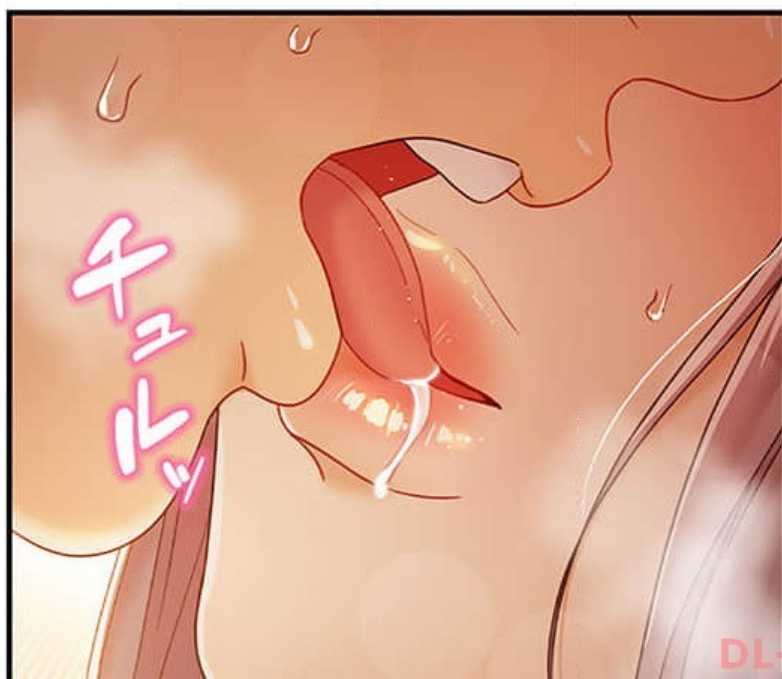


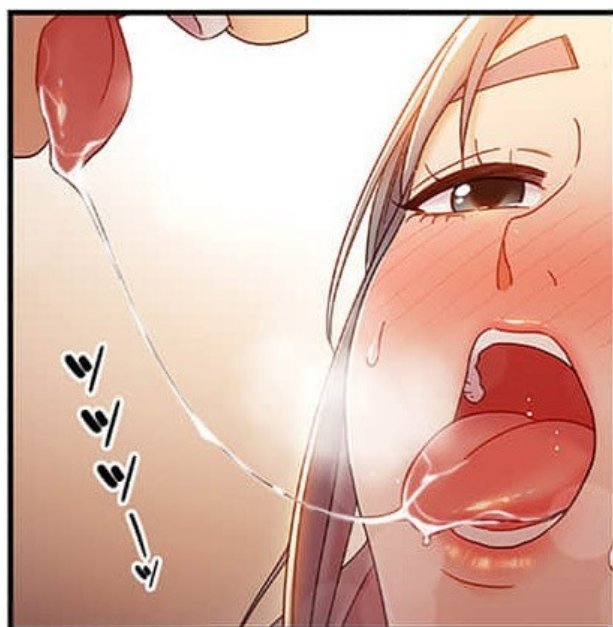
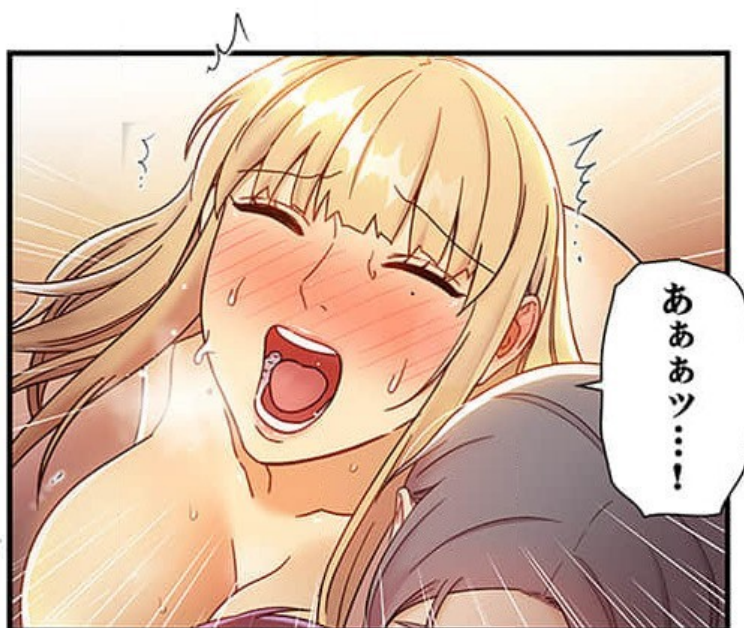
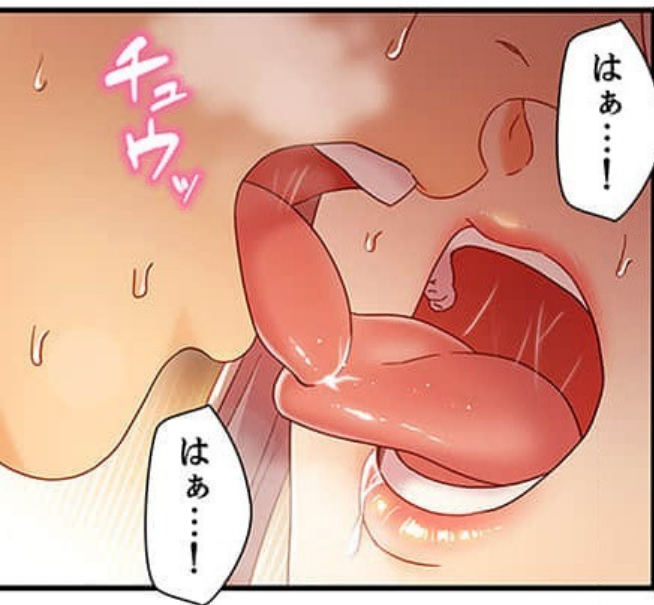


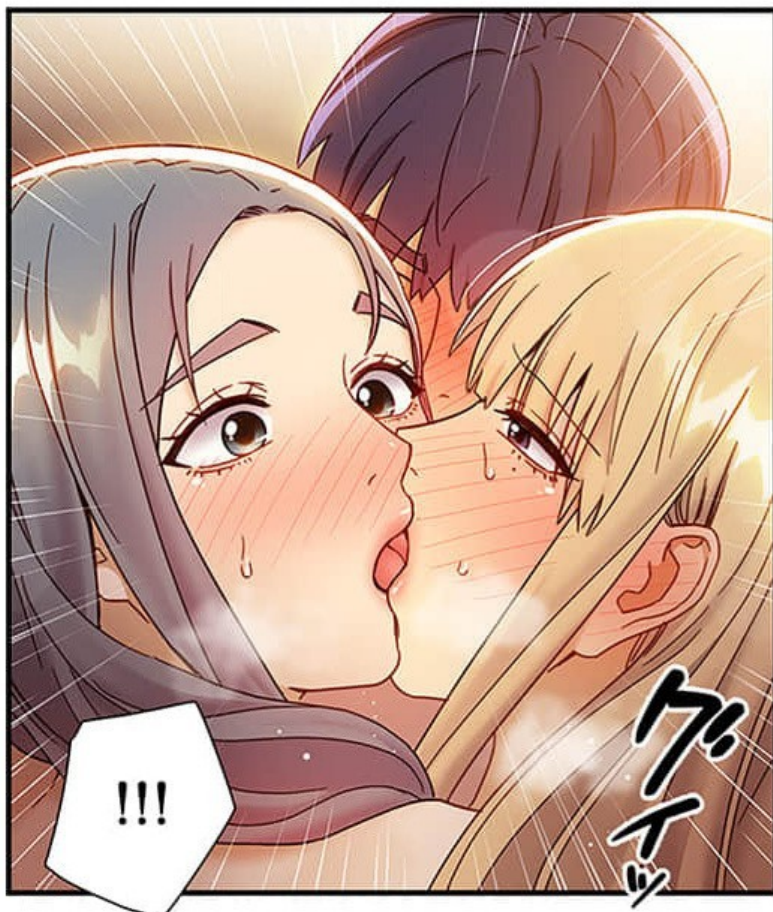


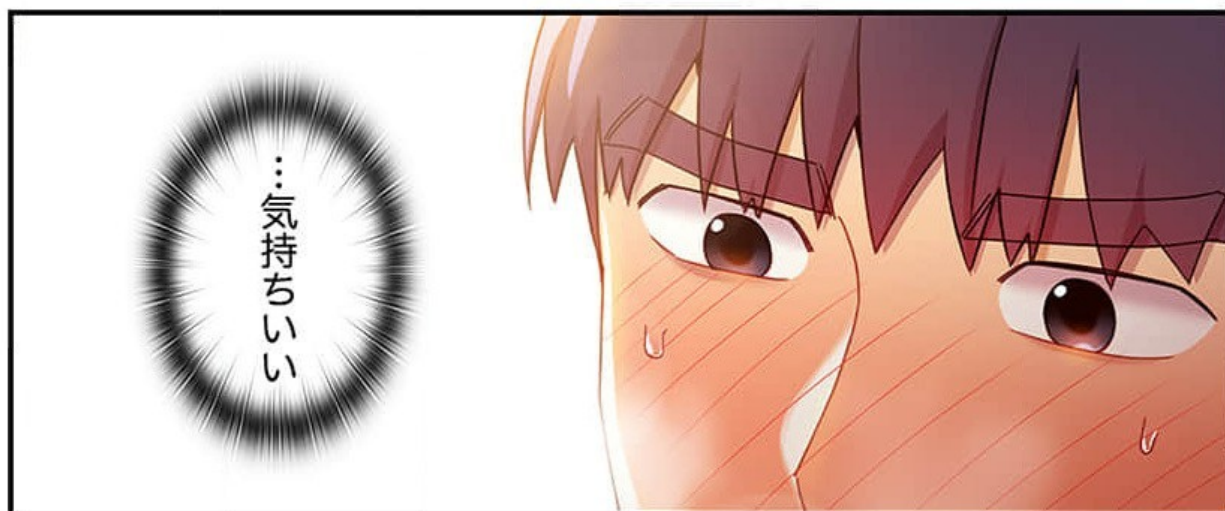
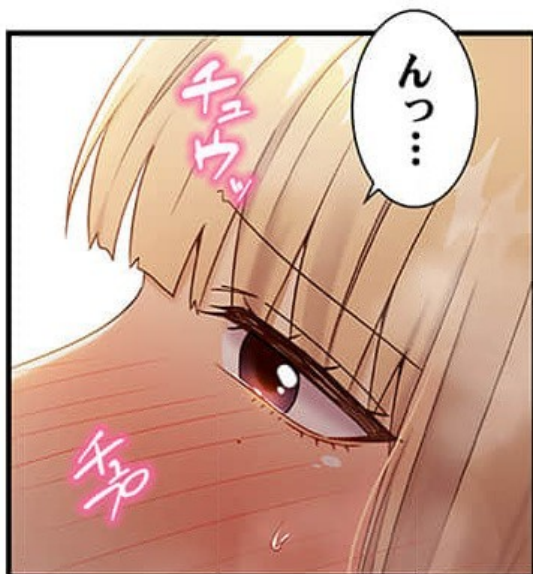


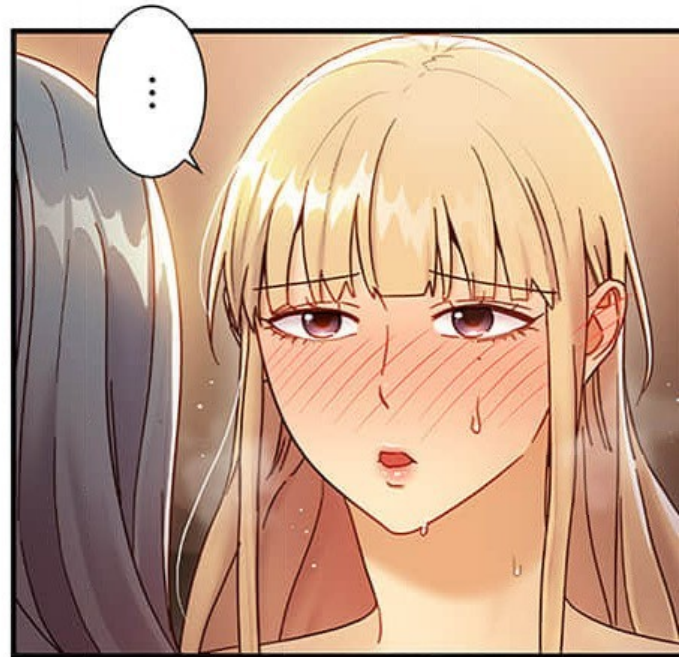
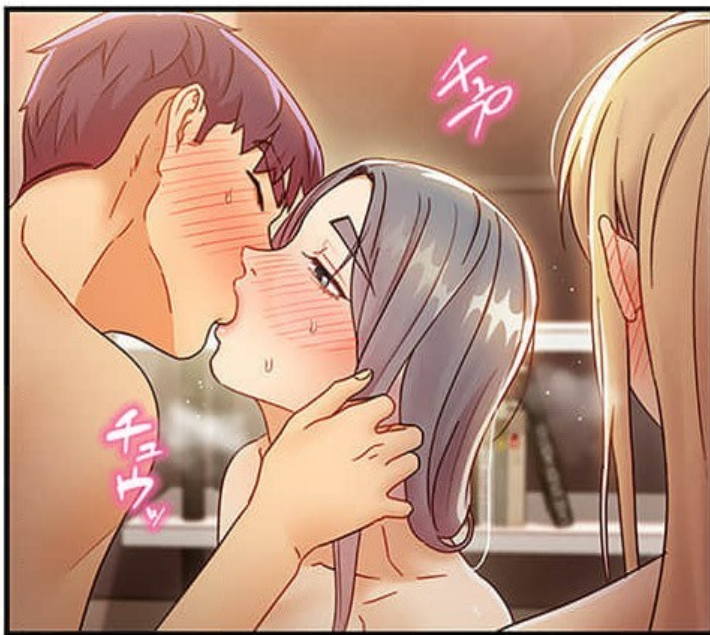
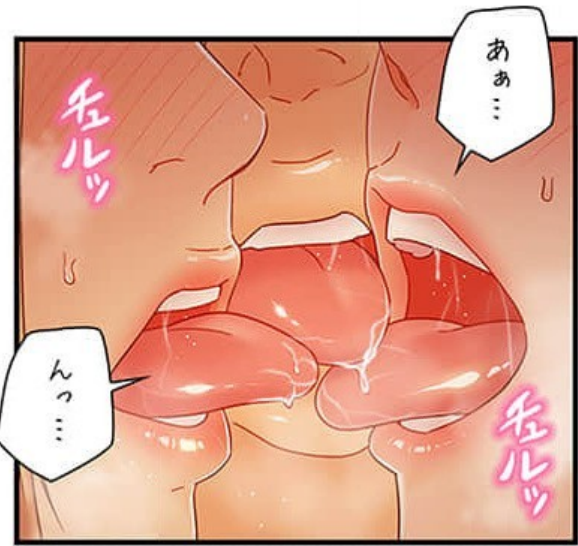
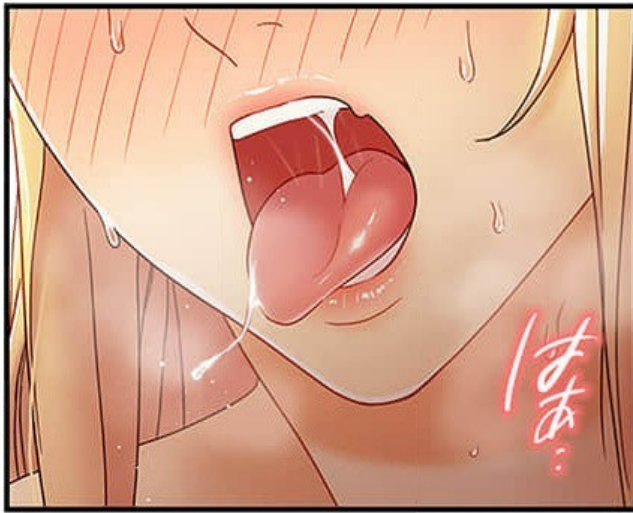






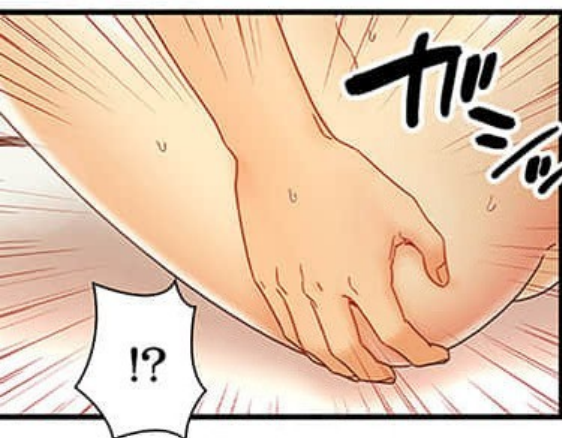


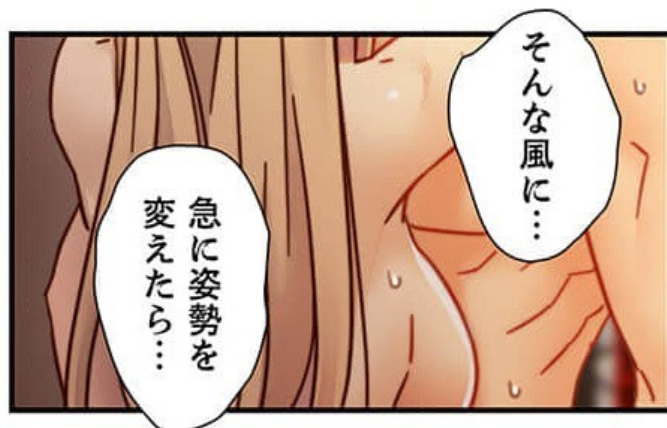


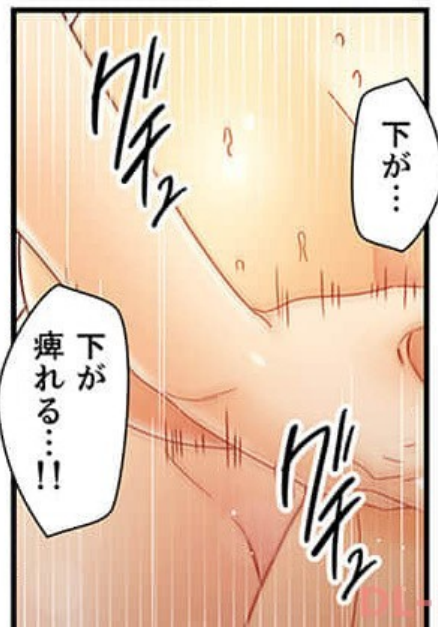
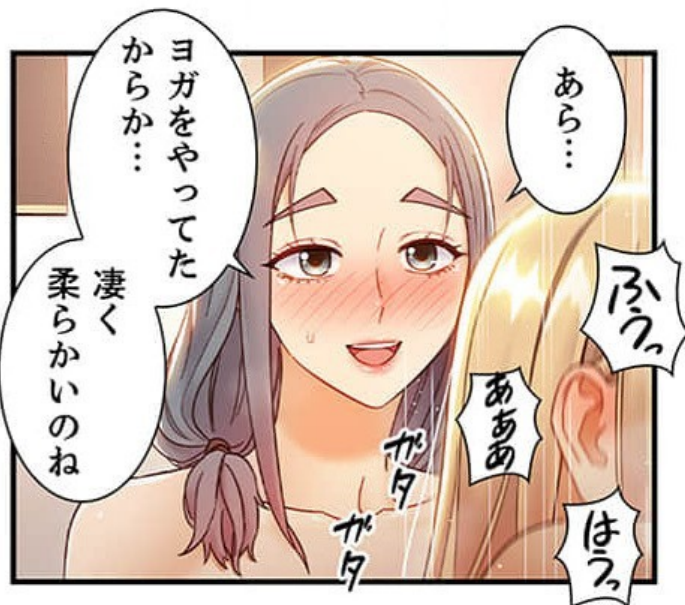
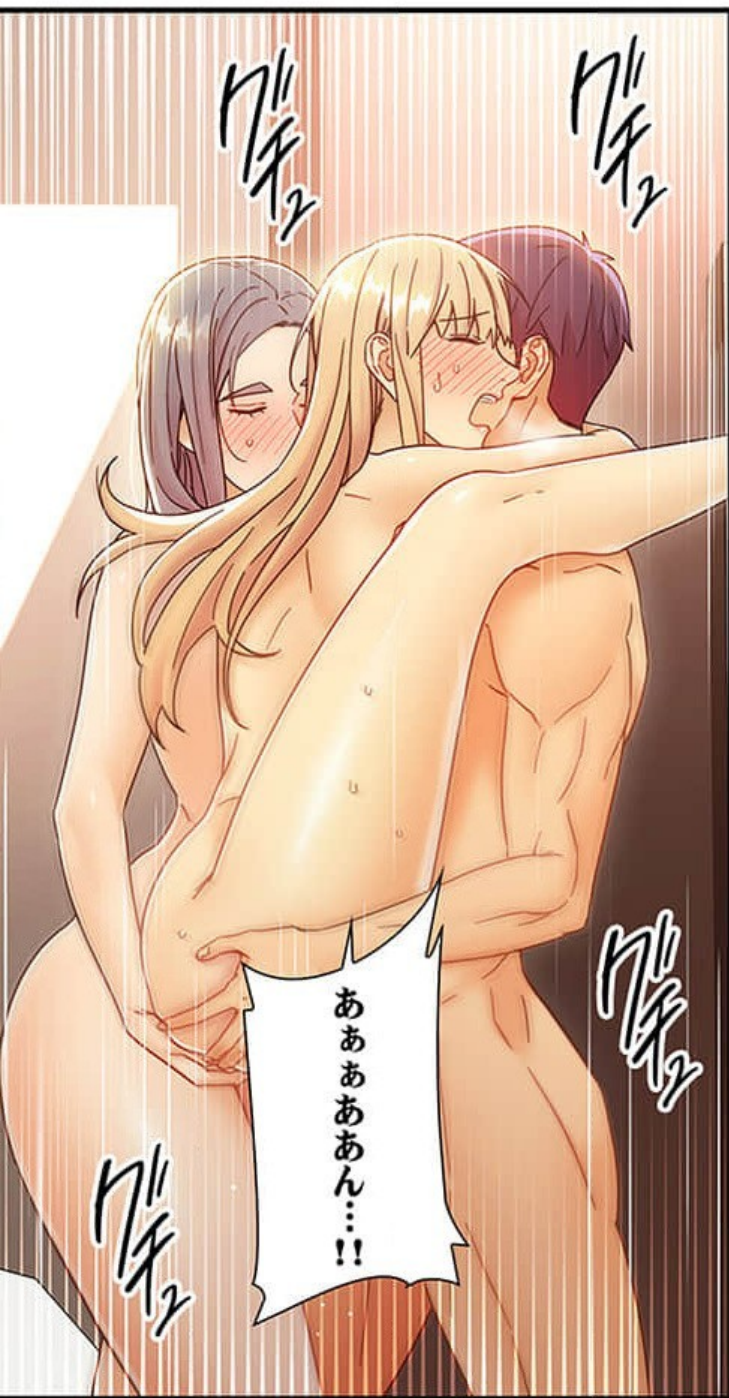








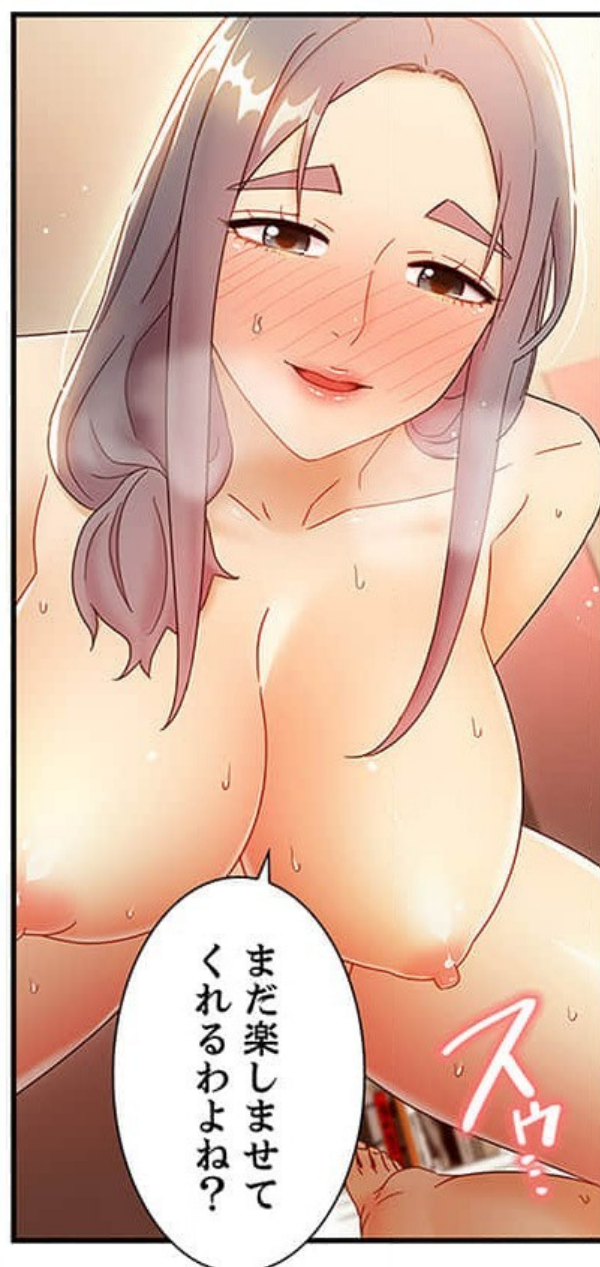


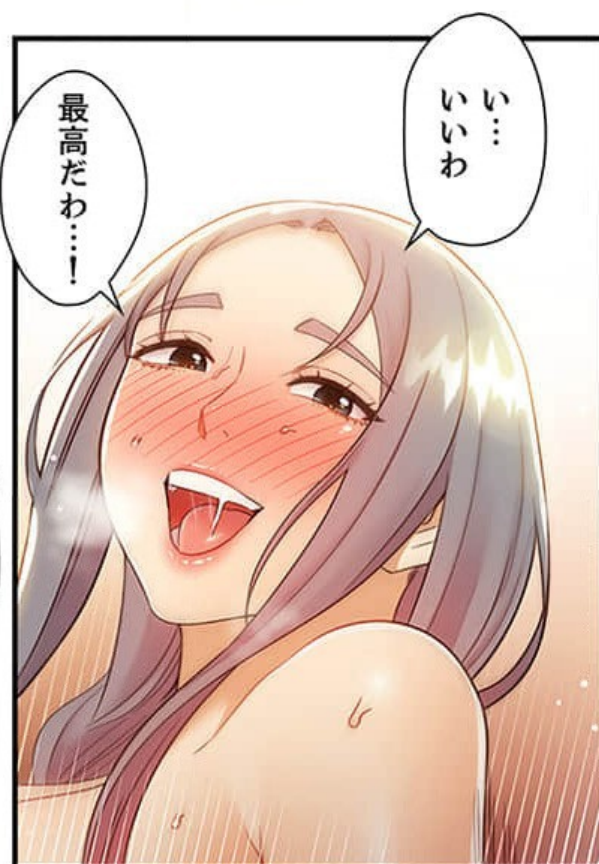




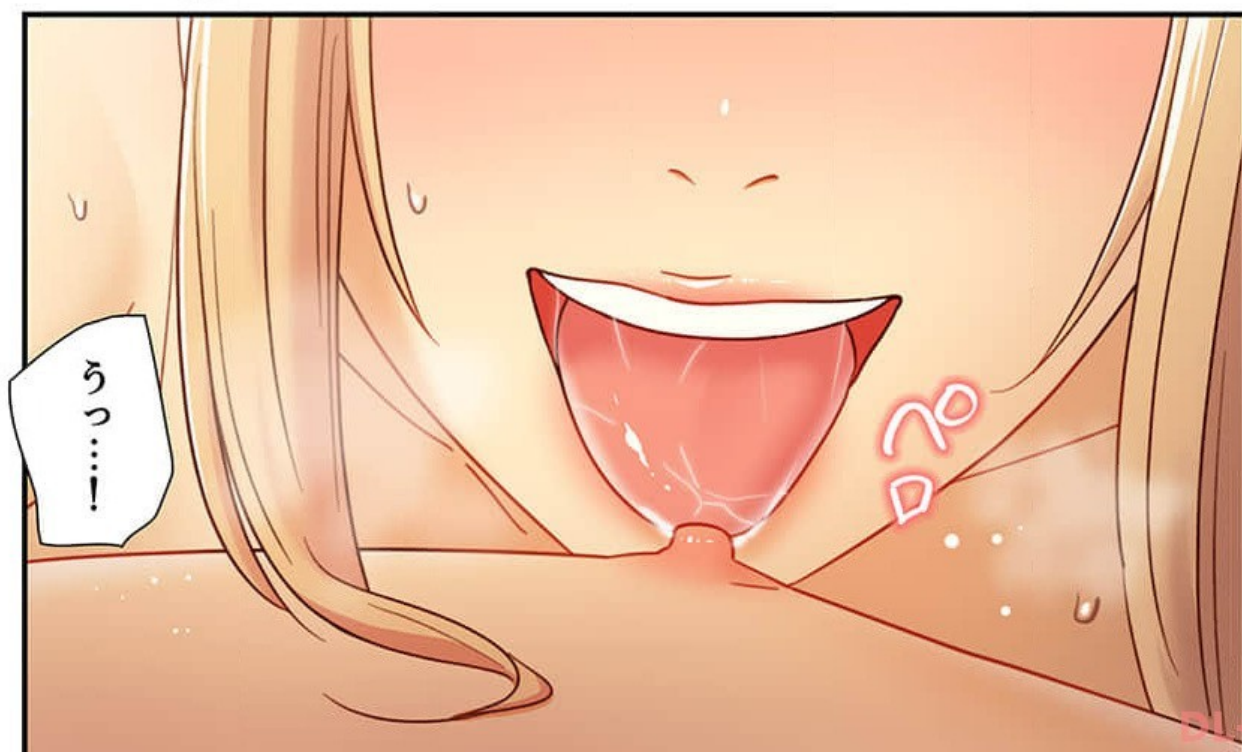
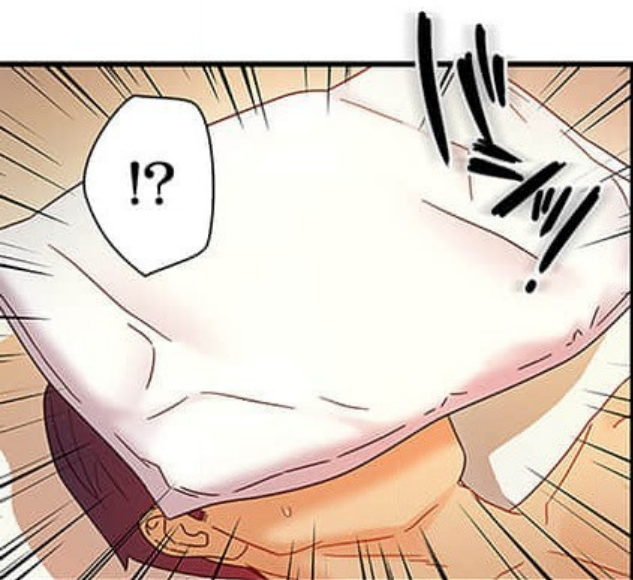


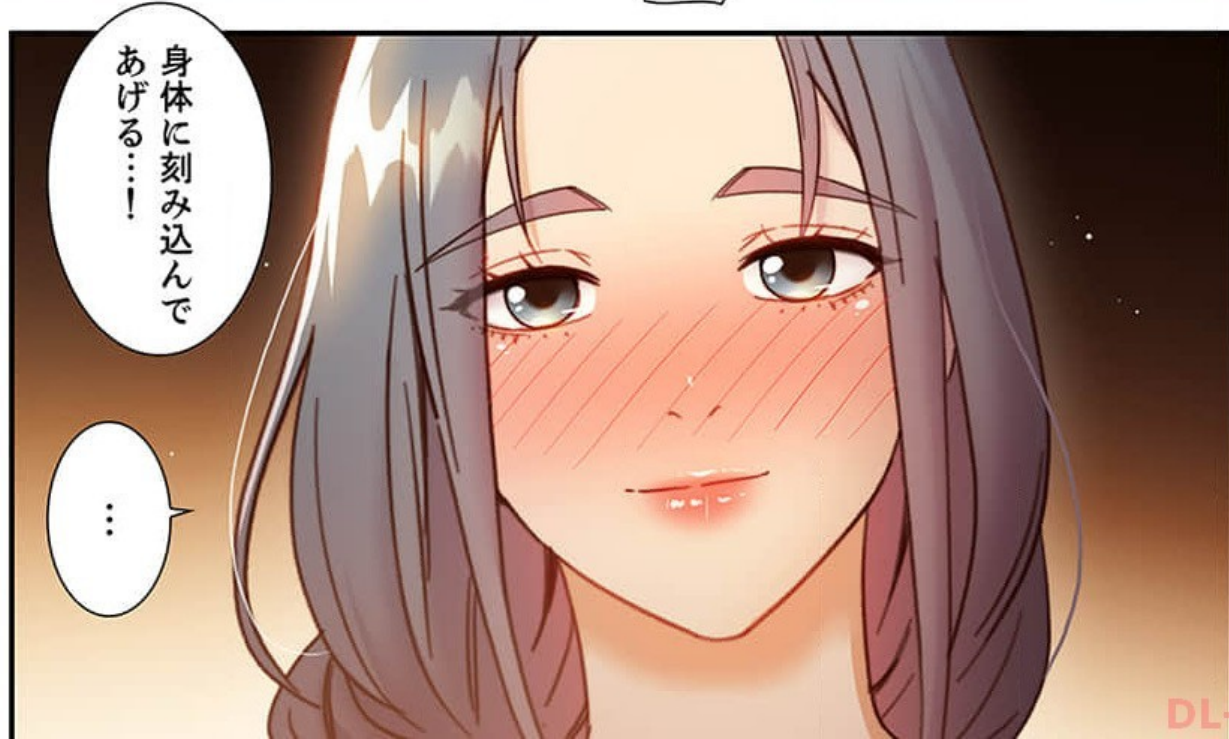
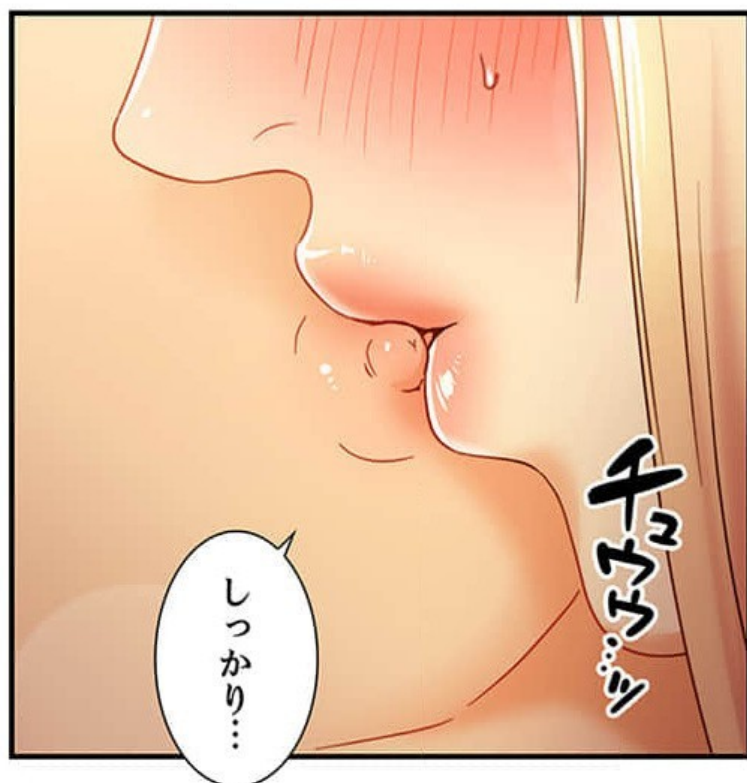
















ねえ？



そんなはず
ないでしょ？

！



翔くんが…

愛華一人で
満足するはずが
ないじゃない

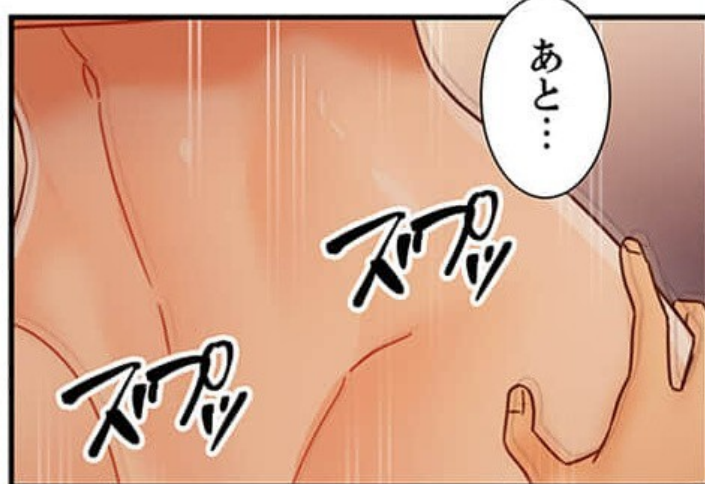


さっきも
言ったわよね

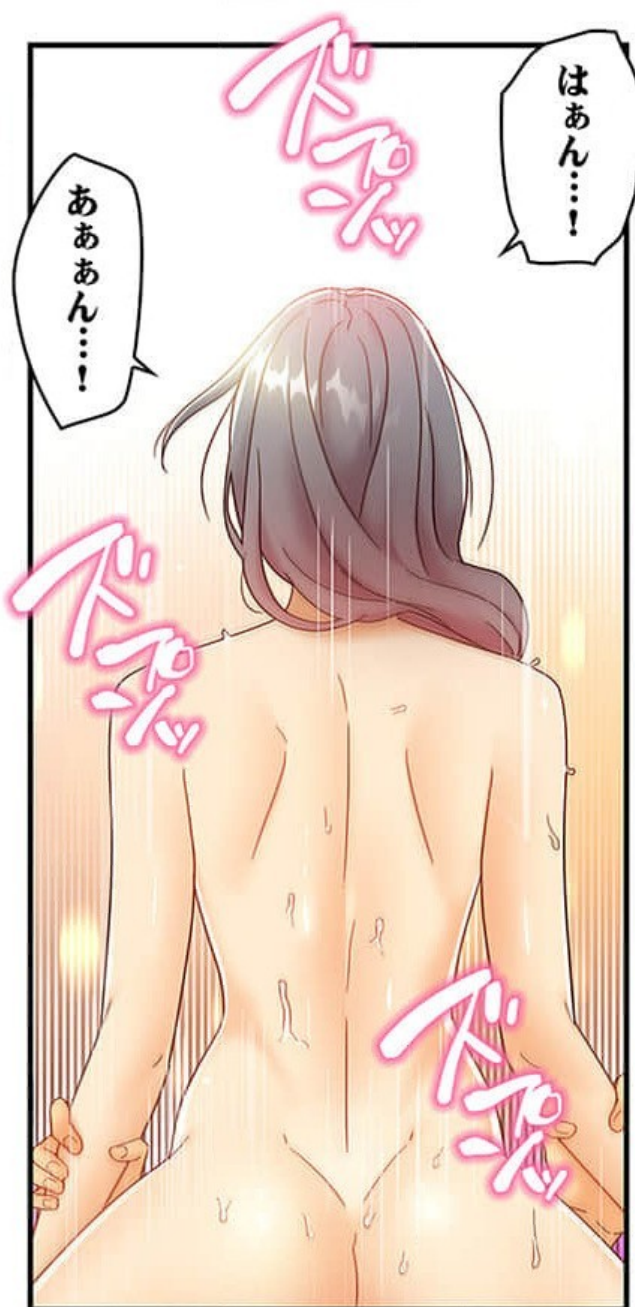
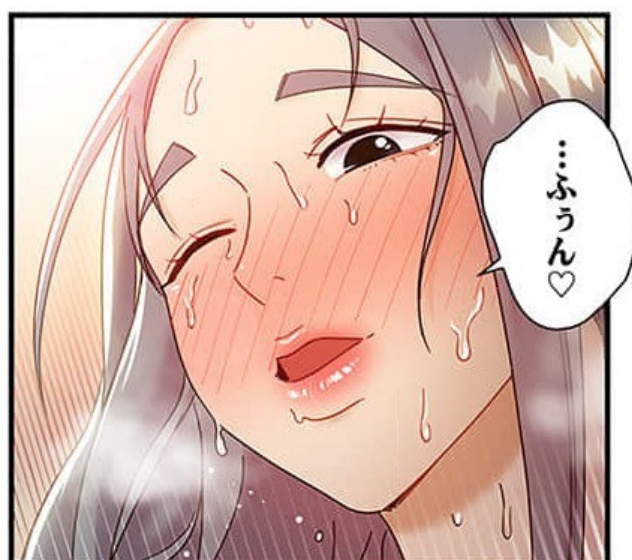
今回は
私の番だって…！

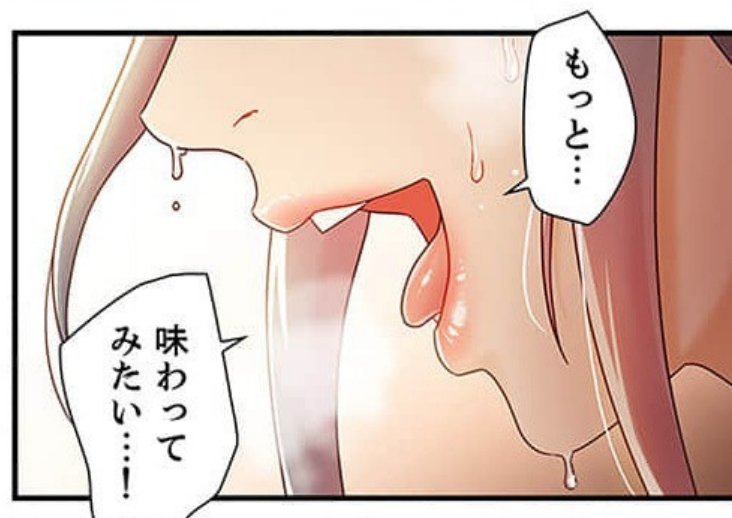


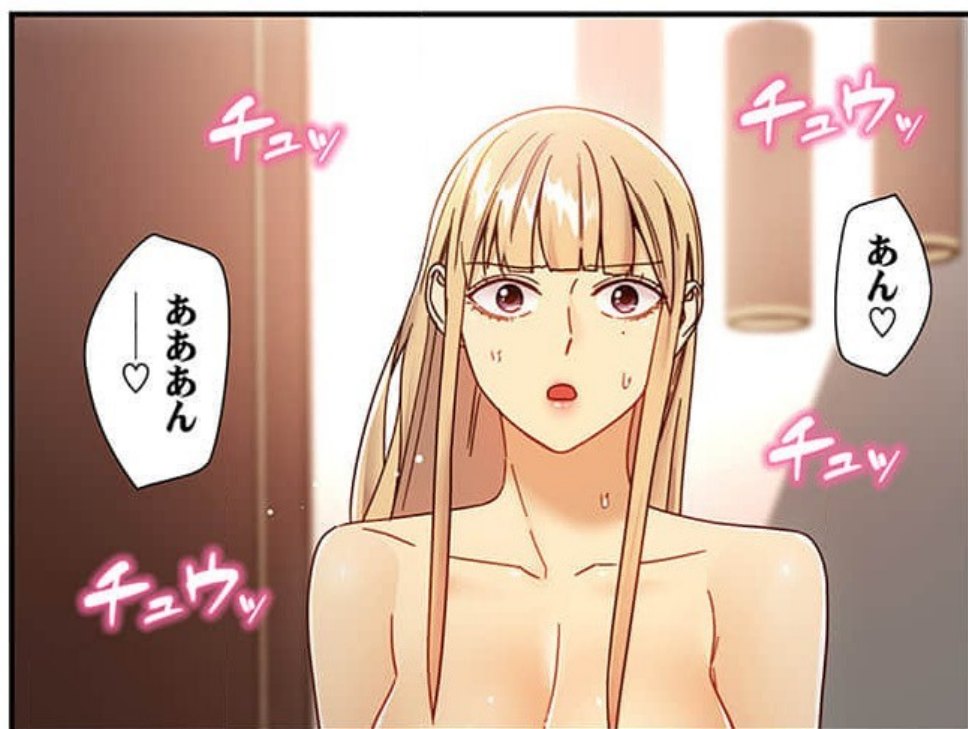
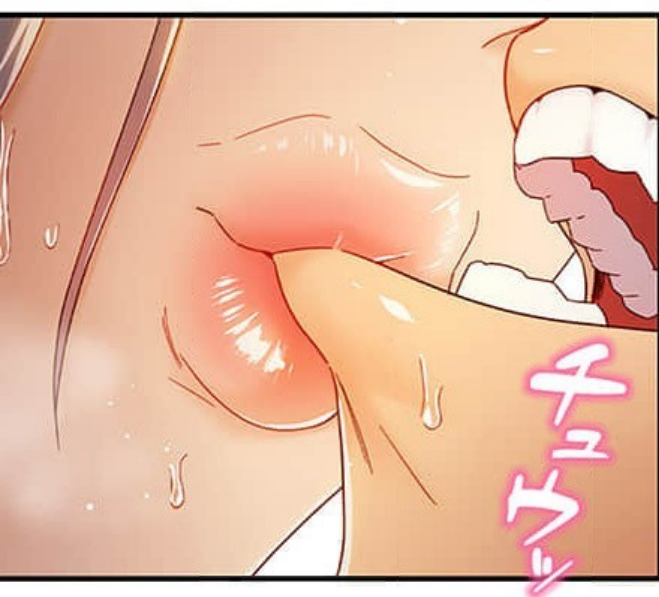
…

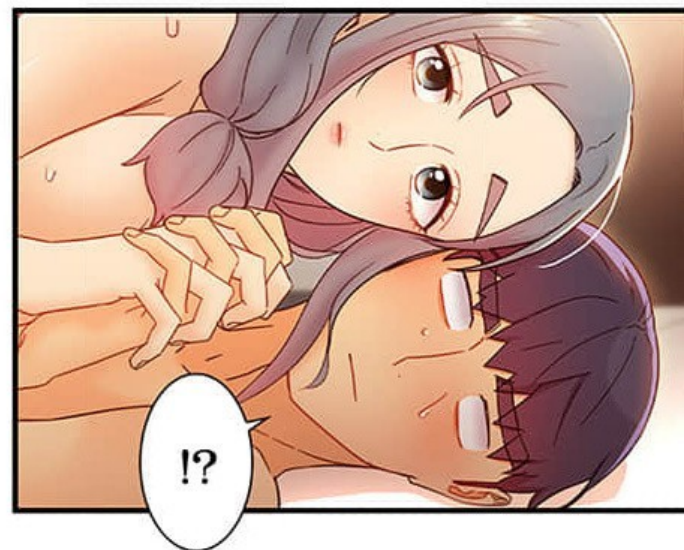
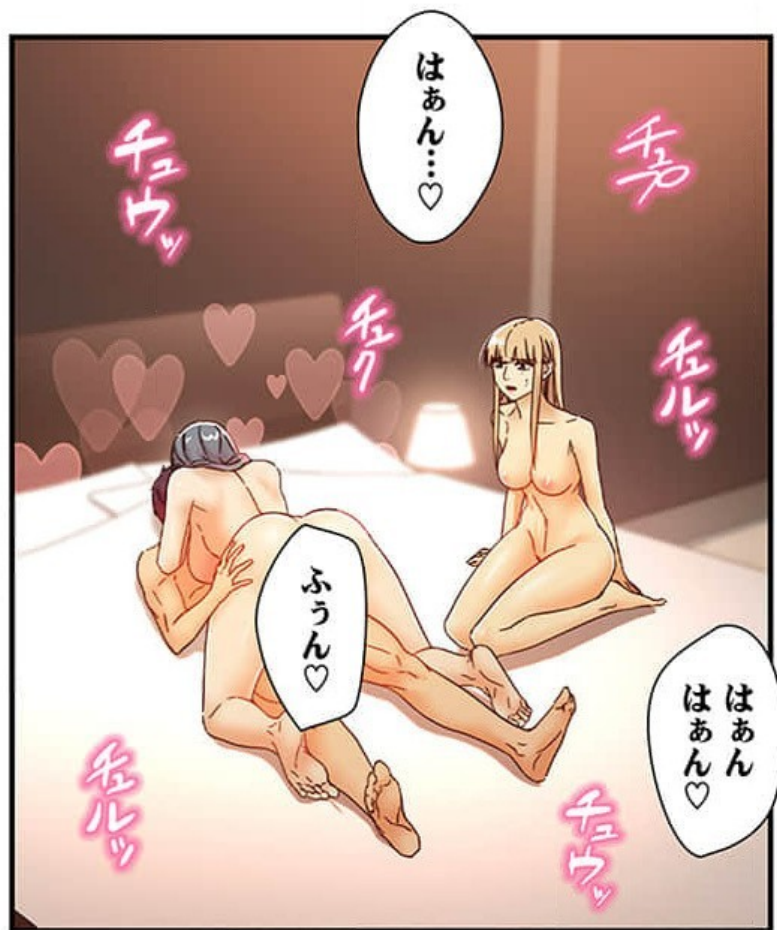
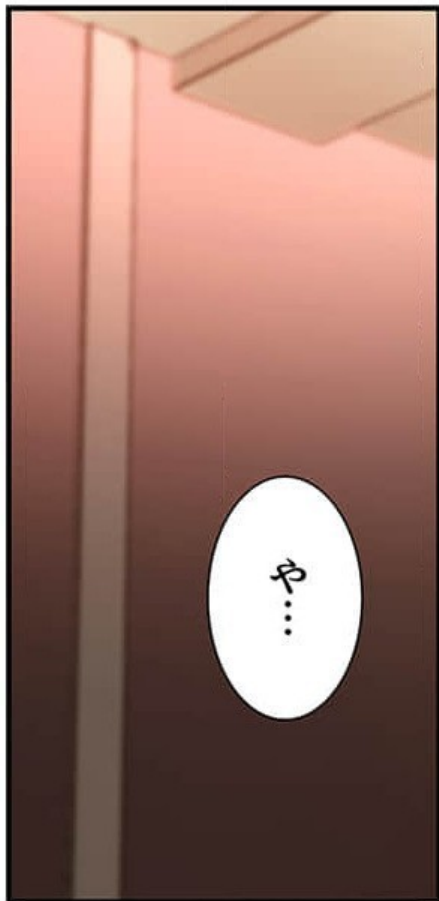


あと…

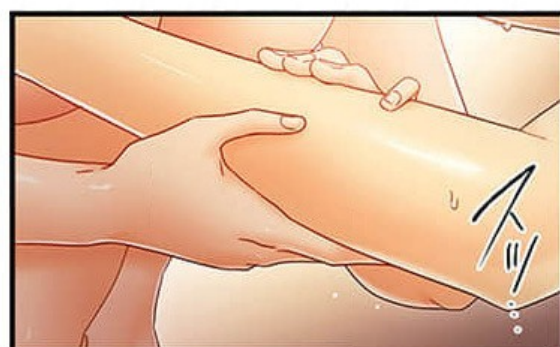
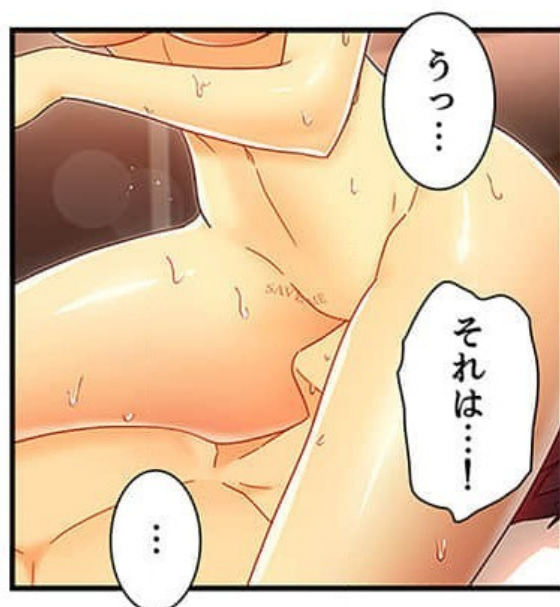
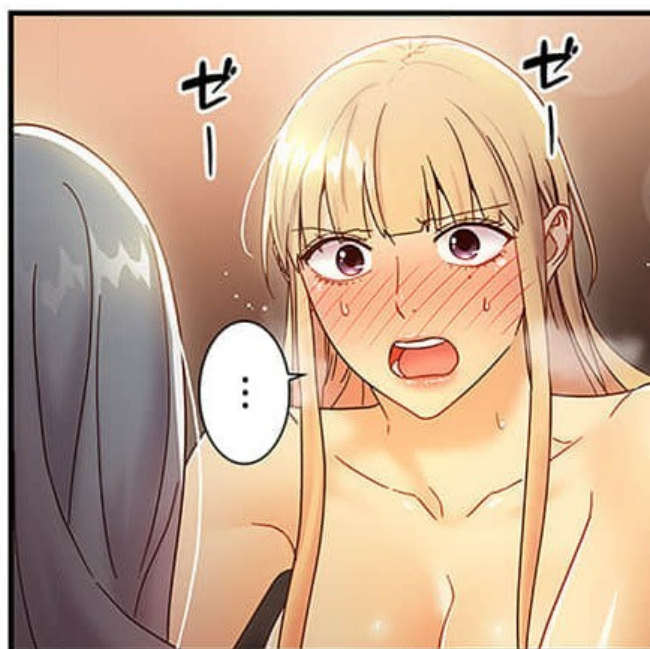
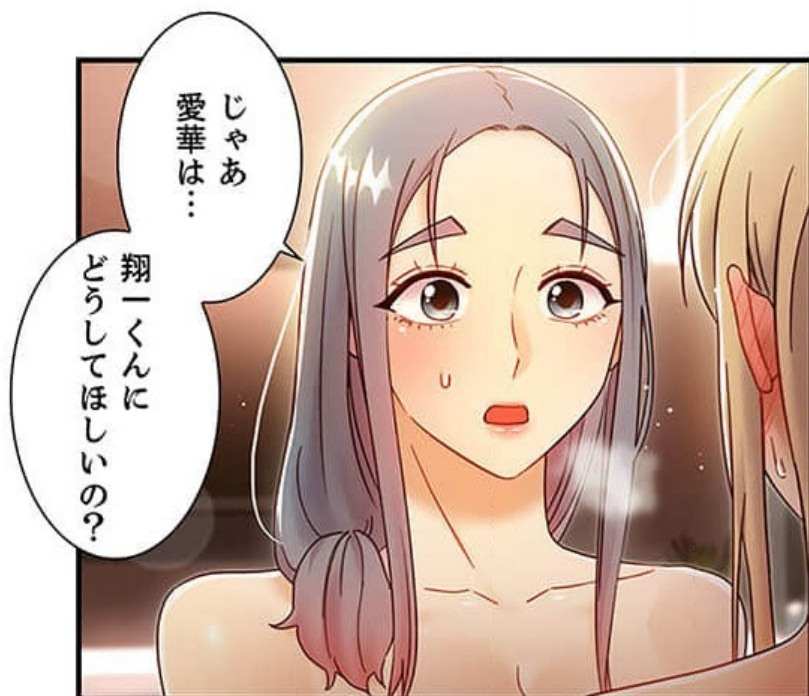


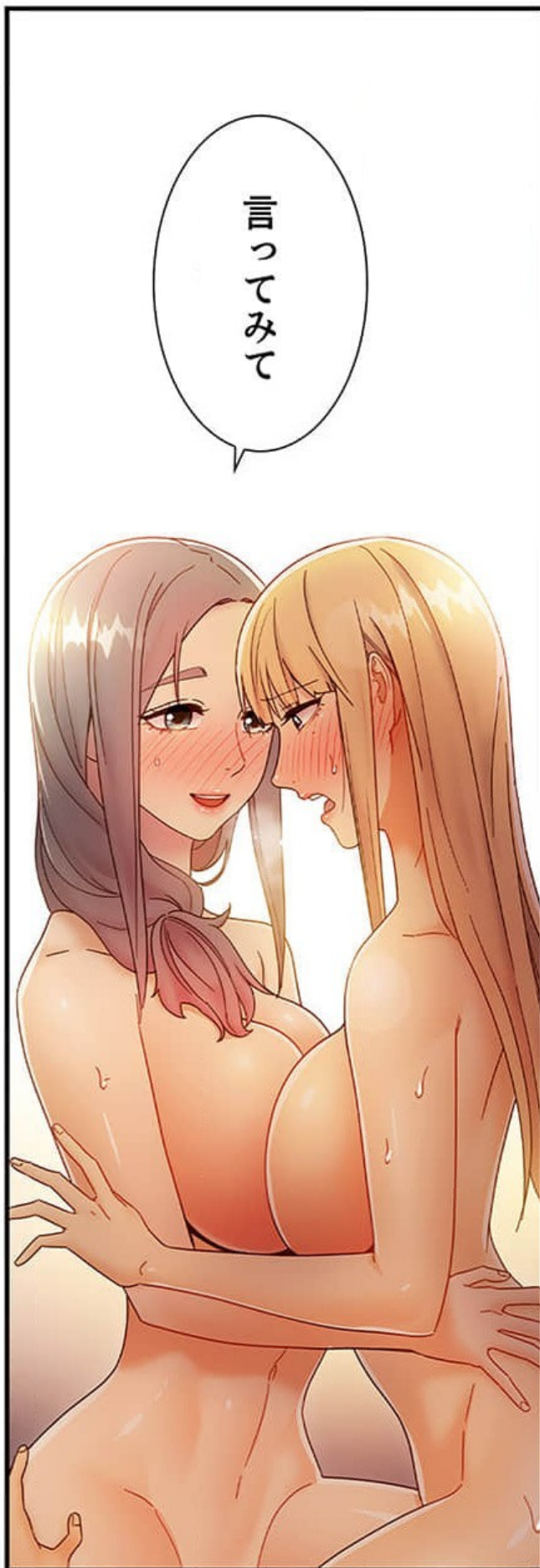




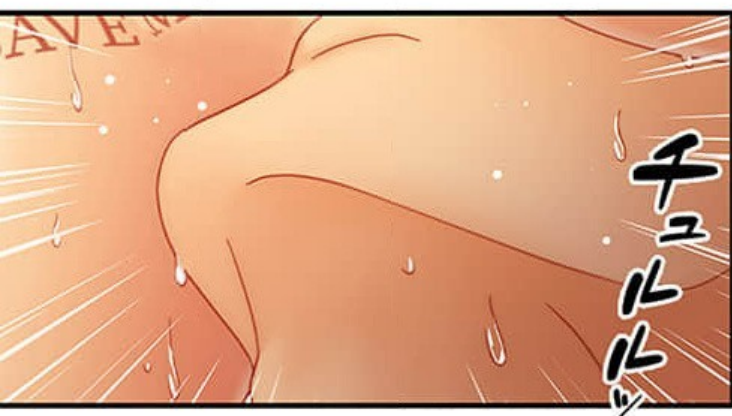
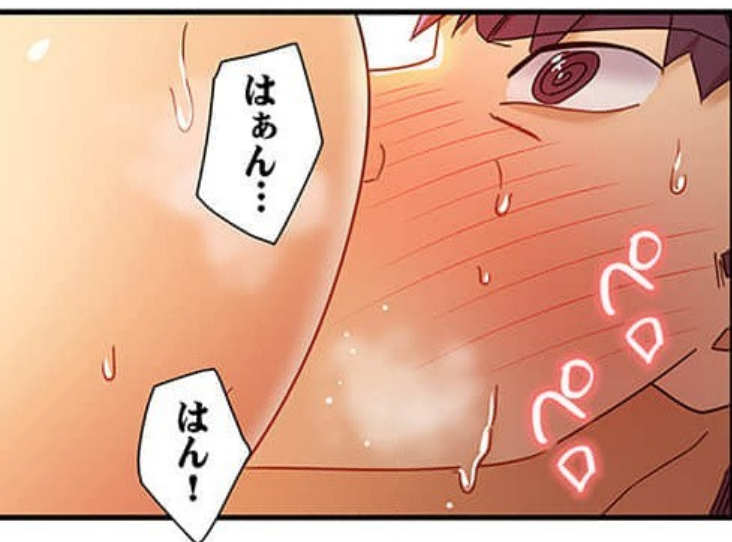


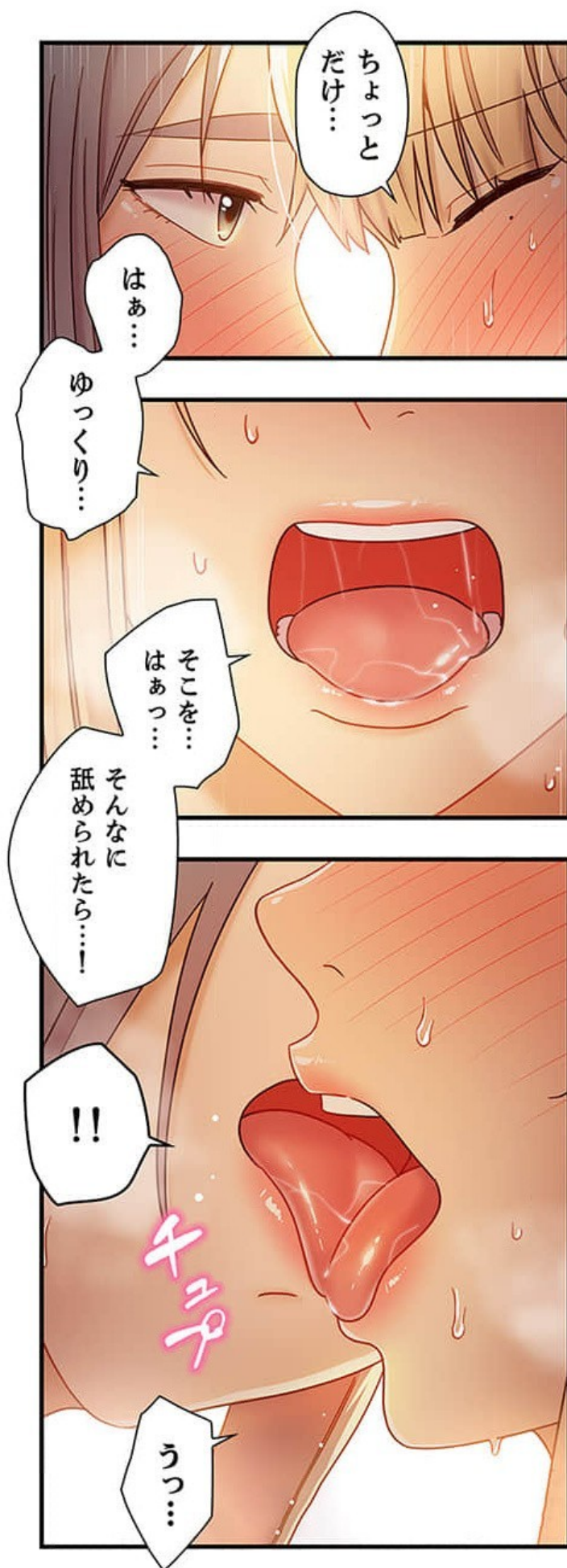


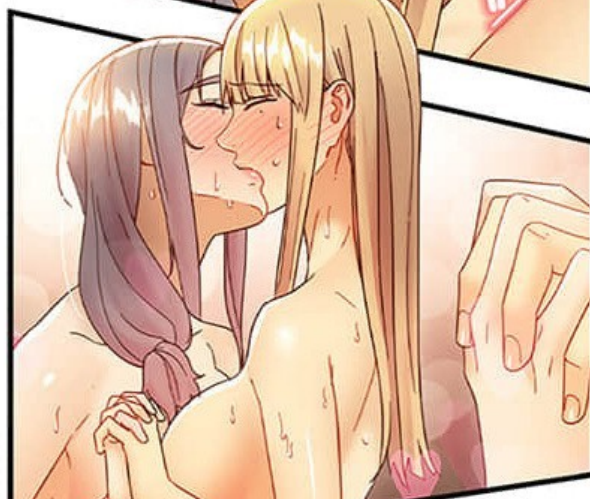
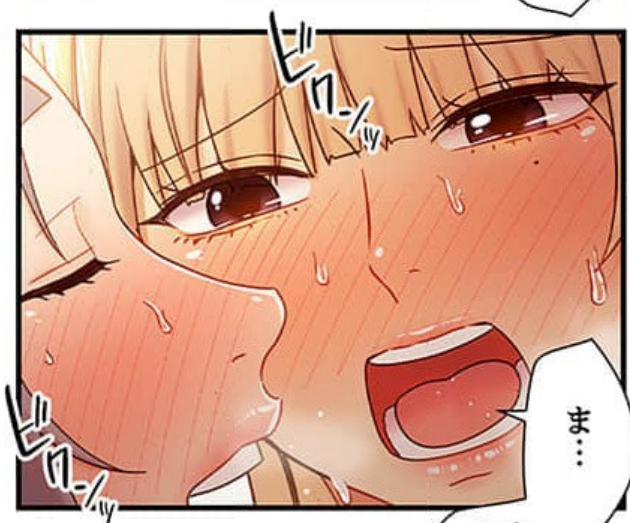
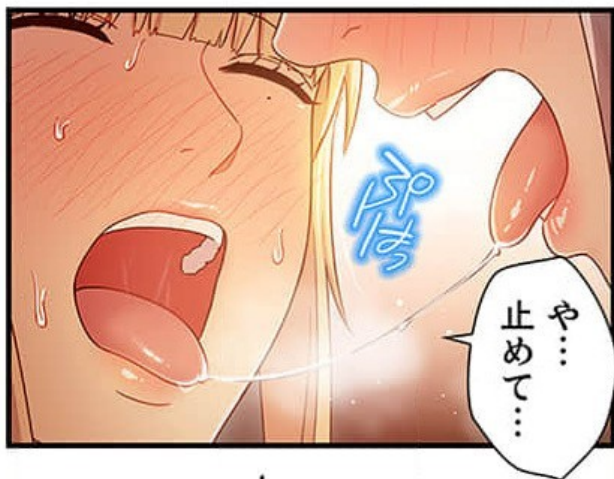








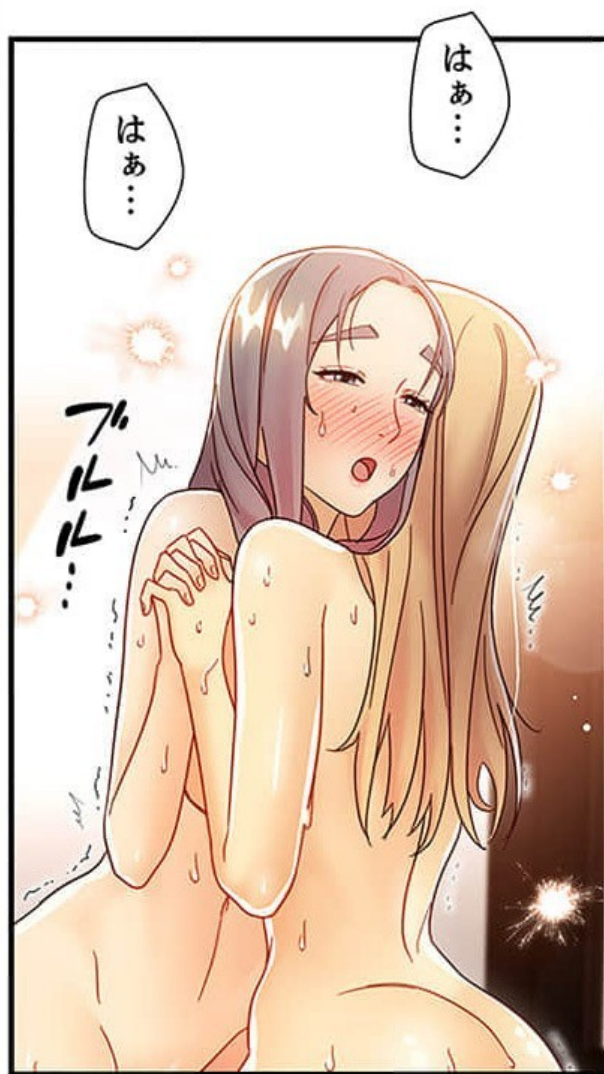


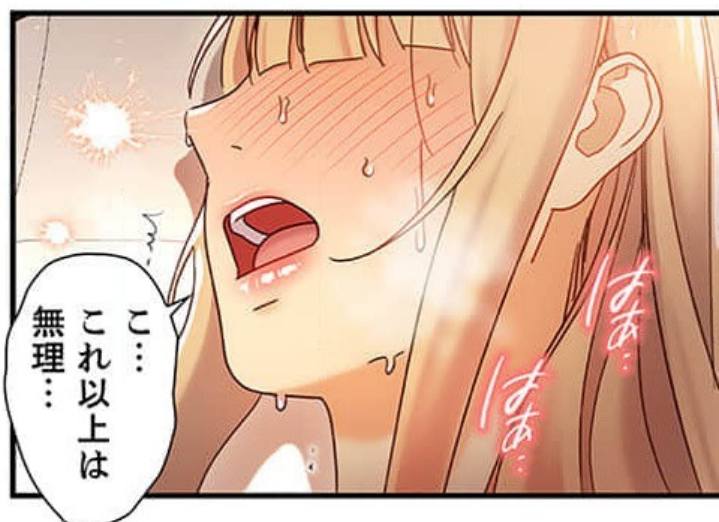














…恥ずかしくない？

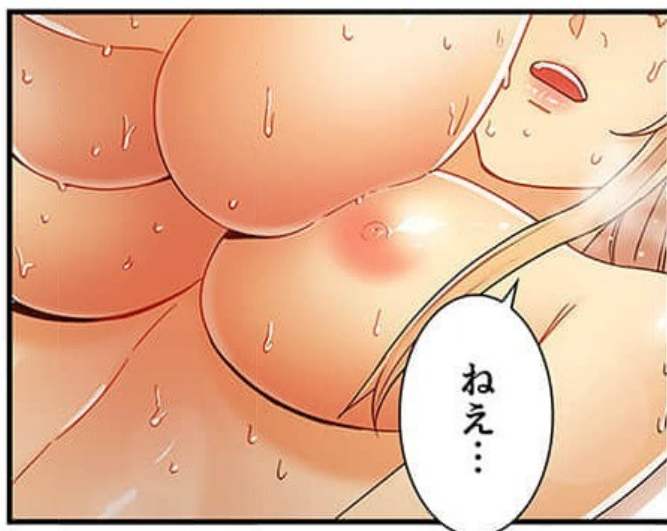


ま…う
まだ
するの？

あら
健康的ね



え…
本気の…？



ねえ…



これは
さすがに…



ハーレム×ハーレム 【電子単行本版】 4

著者 Red-A & 首枕

発行 Rush!

表紙デザイン CoCo.Design

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©Red-A/Kubimakura 2022